

令和2（2020）年度
学生による授業評価アンケート
分析報告書

令和4年1月31日

國學院大學

教育開発推進機構 教育開発センター

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

令和2年度 学生による授業評価アンケート 分析報告書の刊行に寄せて

教育開発推進機構長 石川則夫

教職員の方々におかれましては常日頃から教育開発推進機構・教育開発センターへ多々ご協力、ご支援を賜りまして誠に有難うございます。

さて、令和2(2020)年度の学生による授業評価アンケート分析報告書をお届けいたします。先生方にはご担当授業の成果のひとつともなりますので、ご参照の上、受講生からの反応についてご検討いただき、来年度授業の展開方法についての参考資料として役立てていただければ幸いです。

既にご承知の通り、新型コロナウイルス感染状況は昨年末にはいったん落ち着いた状況に見えましたが、さらなる変異ウイルスによって新たな流行期を迎えております。昨年度から試行錯誤を繰り返しながら実施しましたオンライン、オンデマンド方式による授業形態も、ここに来て再び活用せざるを得ないことになり、これに伴い、多様な授業形態についての授業評価の指標も従来の通りでは対応できない事態を招いております。授業担当の先生方には大変なご苦労ご苦心をおかけしております上に、それぞれの授業方法が十全に評価されないのではないかという疑念もお持ちになっていることと思います。教育開発センターといたしましては、少しでもそうしたご懸念を払拭すべく評価指標の検討も毎年繰り返しておりますが、実情に対応出来ていないところも多々あるかと思われまます。そうした点がございましたら、どうかご遠慮なく教育開発センターへお申し付けいただきたく、お願い申し上げます。

また、改めて申し上げることではございませんが、学生による授業評価アンケートの趣旨、目的はあくまでも授業の成果の向上にあります。このこともお含み置きいただきまして今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年1月31日

目次

令和2年度学生による授業評価アンケート分析報告書の刊行に寄せて	3
1. 調査の概要	7
1-1 調査目的	9
1-2 調査方法	9
1-3 調査対象科目	9
1-4 調査期間	9
1-5 回答率	10
1-6 回答した学生の内訳	10
1-7 設問	11
2. 前期集計結果	15
2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計) [設問1~19] ※設問17は4章で扱うため除外	17
3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)	33
○オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q18・19)	35
2. 遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応(Q11×Q12)	45
3. 遠隔授業・動画配信の長さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q18・19)	46
4. 課題の量の多さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q13×Q18・19)	47
5. 予復習・課題にかけた時間が学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q17×Q18・19)	48
○学生の到達目標達成度・総合満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q3×Q18・19)	49
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q5×Q18・19)	50
3. 機器・ツールを使ってスムーズにオンライン授業を進行できていたか(Q6×Q18・19)	51
4. 遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q18・19)	52
5. 教員が提供した教材・資料はわかりやすかったか(Q8×Q18・19)	53
6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q9×Q18・19)	54
7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q10×Q18・19)	55
8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q14×Q18・19)	56
9. 毎回の授業内容が関連づけられて授業が進められていたか(Q15×Q18・19)	57
4. 考察(2)本学学士課程教育の学修時間の現状(前期)	59
4-1 学士課程全体における学修時間の分布	61
4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	62
4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	63
4-4 回答学生の学年と所属学部別に見た学修時間の分布	64
4-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た学修時間の分布	65
5. 自由記述設問の検討(前期)	69
5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	71
5-2 代表的な肯定的意見	72
5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	73
5-4 代表的な消極的意見	74

6. 後期集計結果	75
6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計) [設問1~20] ※設問18は8章で扱うため除外	77
7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)	93
○オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について	
1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q19・20)	95
2. 遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応(Q12×Q13)	105
3. 遠隔授業・動画配信の長さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q13×Q19・20)	106
4. 課題の量の多さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q14×Q19・20)	107
5. 予復習・課題にかけた時間が学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q18×Q19・20)	108
○学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証	
1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q4×Q19・20)	109
2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q6×Q19・20)	110
3. スムーズな授業運営ができていたかどうか(Q7×Q19・20)	111
4. 遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q8×Q19・20)	112
5. 教員が提供した教材・資料はわかりやすかったか(Q9×Q19・20)	113
6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q10×Q19・20)	114
7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q11×Q19・20)	115
8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q15×Q19・20)	116
9. 毎回の授業内容が関連づけられて授業が進められていたか(Q16×Q19・20)	117
8. 考察(2)本学学士課程教育の学修時間の現状(後期)	119
8-1 学士課程全体における学修時間の分布	121
8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布	122
8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布	123
8-4 回答学生の学年と所属学部別に見た学修時間の分布	124
8-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た学修時間の分布	125
9. 自由記述設問の検討(後期)	129
9-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係	131
9-2 代表的な肯定的意見	132
9-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係	133
9-4 代表的な消極的意見	134
10. 教員ベスト30 ～専任及び兼任教員の「到達目標達成度」に基づく～	135
11. 全体総括(まとめ)	139
資料編	153
集計データ	155
奥付	182

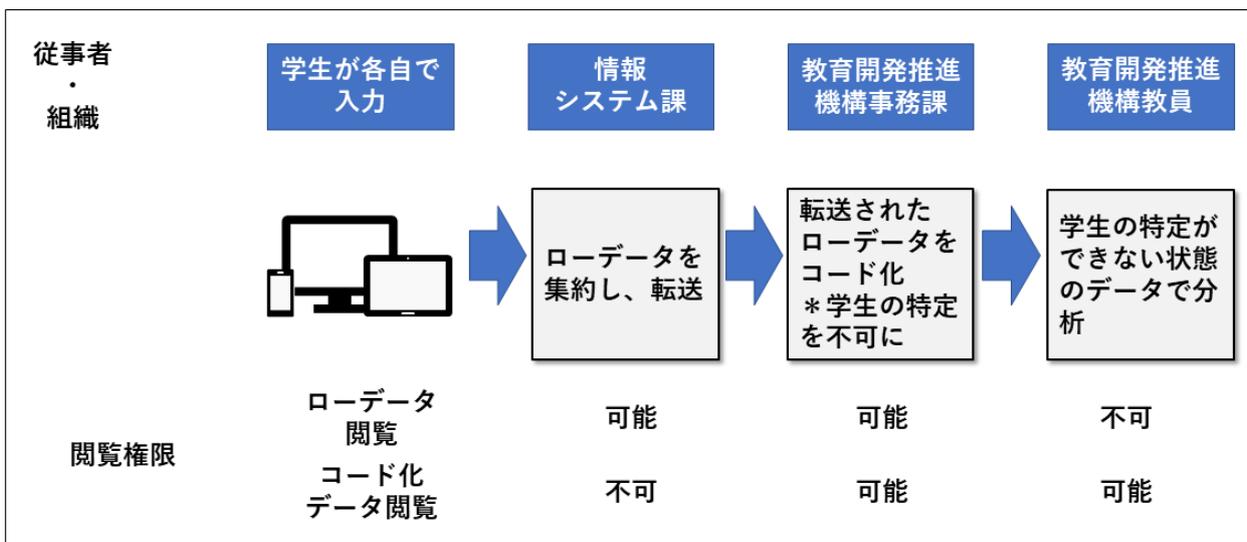
1. 調査の概要

1-1 調査目的

「学生による授業評価アンケート」は、本学学生の授業に対する取り組みの実態を把握し、授業改善の基礎資料とすること、さらには基礎資料の活用により教員に自らの授業運営を振り返る機会を提供することで、学修効果を改善させ、本学学士課程教育の質保証を達成することを目的とする。

1-2 調査方法

- 本学の学生支援システムである K-SMAPY II を用いて、WEB 上で実施
- K-SMAPY II での実施に伴い配慮すべき学生に関する個人情報の管理については、教育開発センター委員会で議論に従い、細心の注意を払う体制を構築する。
- 具体的な調査手順、体制は、以下のとおり。



「学生による授業評価アンケート」実施方法と、各課職員および教員の役割

1-3 調査対象科目

原則、全授業科目を対象とするが、下記の授業科目については調査・分析対象から除外した。

- 卒業論文指導科目
- 政治インターンシップ
- インターンシップ II
- 教育実習 I B(事後指導)
- 博物館実習 III(実地見学)
- 保育実習
- 認定科目
- 神道学専攻科・別科の科目
- 履修登録者数 10 名以下の科目
- その他、サマーセッション等の集中講義科目

1-4 調査期間

前期： 令和 2 年 7 月 22 日(水) ～ 令和 2 年 8 月 5 日(水)
後期： 令和 2 年 12 月 18 日(金) ～ 令和 3 年 1 月 23 日(土)

1-5 回答率

前期回答件数	37,080 件
前期履修登録者数	99,619 件
前期回答率	37.2 %

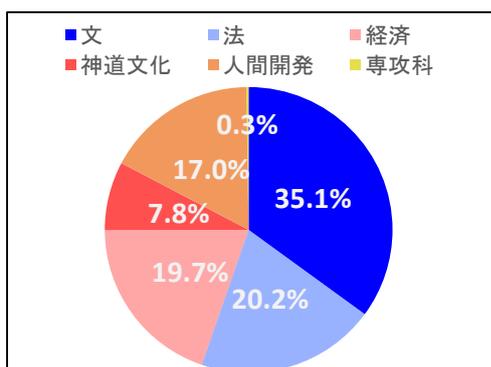
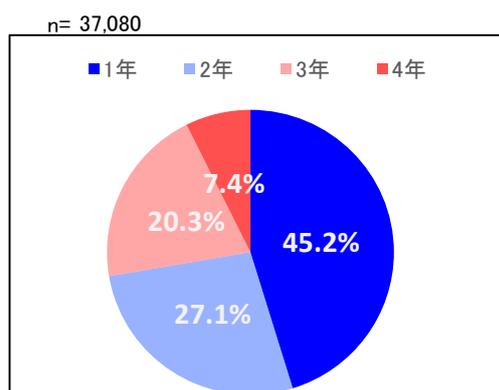
後期回答件数	18,753 件
後期履修登録者数	82,569 件
後期回答率	22.7 %

1-6 回答した学生の内訳

【前期】

回答した学生の内訳	
1年生	16,772 件
2年生	10,037 件
3年生	7,545 件
4年生	2,726 件

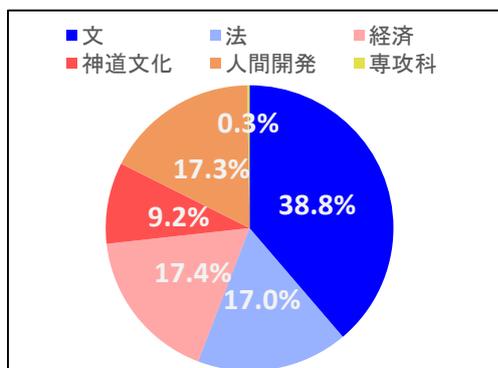
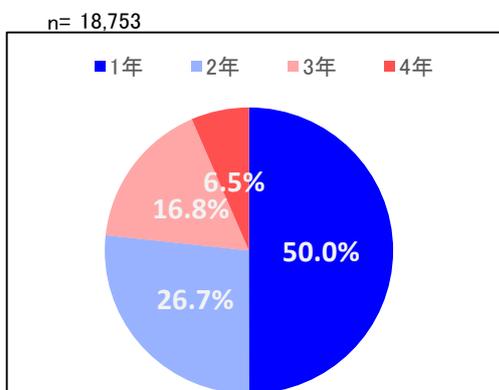
回答した学生の所属学部	
文学部	12,998 件
法学部	7,502 件
経済学部	7,294 件
神道文化学部	2,884 件
人間開発学部	6,307 件
専攻科	95 件



【後期】

回答した学生の内訳	
1年生	9,372 件
2年生	5,013 件
3年生	3,151 件
4年生	1,217 件

回答した学生の所属学部	
文学部	7,271 件
法学部	3,197 件
経済学部	3,267 件
神道文化学部	1,727 件
人間開発学部	3,242 件
専攻科	49 件



※注記: 回答した学生の所属学部について

「専攻科」(神道学専攻科)生は本報告書での集計対象外であるが、神道文化学部の授業を合同で受講してアンケートに回答した者については、当該授業の回答者にカウントして集計・分析の対象としている。

1-7 設問項目

■令和2年度 前期「学生による授業評価アンケート」設問項目一覧

番号	設問	設問形式	選択肢・入力欄
1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください	単一選択	ライブ配信(リアルタイム) オンデマンド配信(配信動画視聴) ライブ配信・オンデマンド配信の併用 K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)
2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Web サービス等)を、すべて選択してください	複数選択	K-SMAPY II ZOOM Microsoft Teams Google (Classroom・Meet など) YouTube Skype メール(PC・スマホ・携帯) LINE その他
3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
9	教員は、課題や小テスト等を出题することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	4 件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない

11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	単一選択	ライブ or オンデマンド配信なし・10分未満・10分以上～20分未満・20分以上～30分未満・30分以上～40分未満・40分以上～50分未満・50分以上～60分未満・60分以上～75分未満・75分以上～90分未満・90分以上
12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	単一選択	長すぎる、やや長い、ちょうどよい、やや短い、短すぎる
13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	単一選択	多すぎる、やや多い、ちょうどよい、やや少ない、少なすぎる
14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか(およその感覚で構いません)。	単一選択	学修時間ゼロ・10分未満・10分以上～20分未満・20分以上～30分未満・30分以上～40分未満・40分以上～50分未満・50分以上～60分未満・60分以上～75分未満・75分以上～90分未満・90分以上～120分未満・120分以上～150分未満・150分以上～180分未満・180分以上～240分未満・240分以上～300分
18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。(自由記述・400字以内)	自由記述	(400字以内・任意回答)
21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。(自由記述・400字以内)	自由記述	(400字以内・任意回答)

■令和2年度 後期「学生による授業評価アンケート」設問項目一覧

番号	設問	設問形	選択肢・入力欄
1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	単一選択	対面のみ 対面・遠隔配信の併用(ハイブリッド授業) 遠隔のみ:ライブ配信(リアルタイム) 遠隔のみ:オンデマンド配信(配信動画視聴) 遠隔のみ:ライブ・オンデマンド配信の併用 遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)
2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	単一選択	自宅 大学(一般教室) 大学(PC教室) Wi-Fi環境のある商業施設 その他
3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Web サービス等)を、すべて選択してください。	複数選択	K-SMAPY II ZOOM Microsoft Teams Google (Classroom・Meet など) YouTube Skype メール(PC・スマホ・携帯) LINE その他
4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
8	授業における教員の講義・解説は、わかりやすかったですか。(※資料配布・課題のみの授業だった場合は「全くそう思わない」を教えてください)	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
10	教員は、課題や小テスト等を出题することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない

11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	単一選択	ライブ or オンデマンド配信なし・10分未満・10分以上～20分未満・20分以上～30分未満・30分以上～40分未満・40分以上～50分未満・50分以上～60分未満・60分以上～75分未満・75分以上～90分未満・90分以上
13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。	単一選択	長すぎる、やや長い、ちょうどよい、やや短い、短すぎる
14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	単一選択	多すぎる、やや多い、ちょうどよい、やや少ない、少なすぎる
15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか(およその感覚で構いません)。	単一選択	学修時間ゼロ・10分未満・10分以上～20分未満・20分以上～30分未満・30分以上～40分未満・40分以上～50分未満・50分以上～60分未満・60分以上～75分未満・75分以上～90分未満・90分以上～120分未満・120分以上～150分未満・150分以上～180分未満・180分以上～240分未満・240分以上～300分
19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	4件法	強くそう思う、そう思う、あまりそう思わない、全くそう思わない
21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。	自由記述	(400字以内・任意回答)
22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。	自由記述	(400字以内・任意回答)

※注記: 設問8について

設問8「授業における教員の講義・解説は、わかりやすかったですか」の回答については、資料配布・課題のみの学生については便宜上「そう思わない」を回答するよう指示している。しかし、設問の設定の仕方として問題があったとの判断により、報告書本編の当該設問分析箇所においては、設問1で「資料配布・課題のみ」と回答した回答者数を、あらかじめ除外して集計することとした。

2. 前期集計結果

2-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。

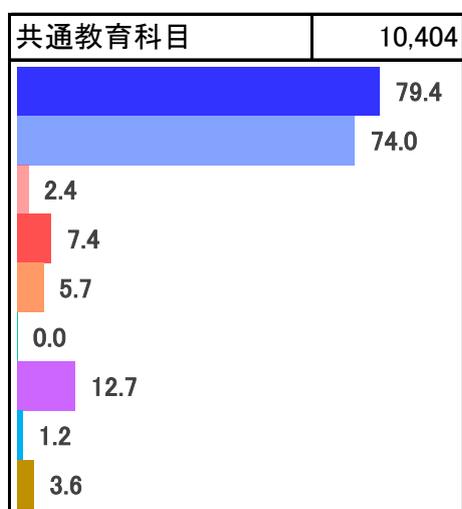
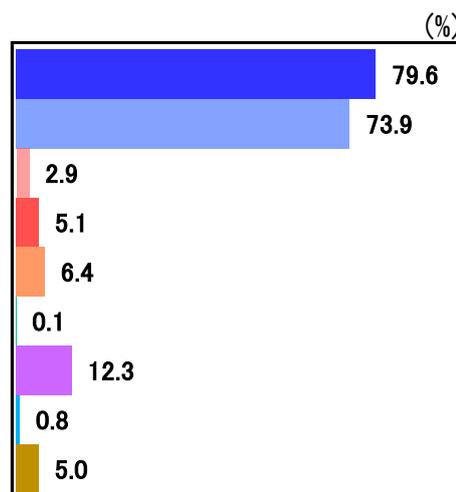
■ ライブ配信 ■ オンデマンド ■ 併用 ■ K-SMAPY II + 課題

	n=	(%)			
学士課程全体	36,985	48.9	25.2	9.5	16.3
共通教育科目	10,404	50.4	20.4	8.2	20.9
専門教育科目	25,010	48.3	27.7	10.0	14.0
文学部(専門)	7,425	44.7	24.2	7.4	23.7
法学部(専門)	5,700	30.3	40.4	13.2	16.0
経済学部(専門)	5,169	53.3	27.8	11.7	7.2
神道文化学部(専門)	2,149	49.8	36.3	7.4	6.4
人間開発学部(専門)	4,567	70.3	13.3	9.2	7.2
教職・資格課程科目	1,571	49.5	17.1	10.5	22.9

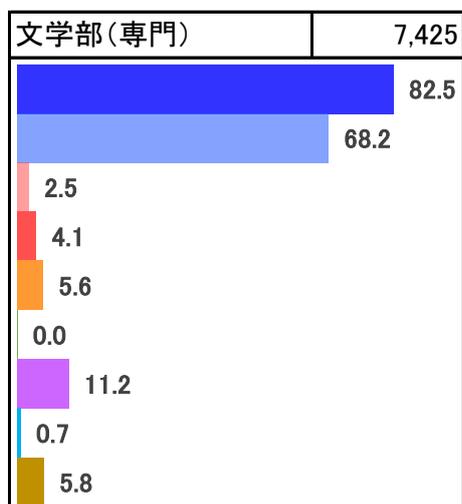
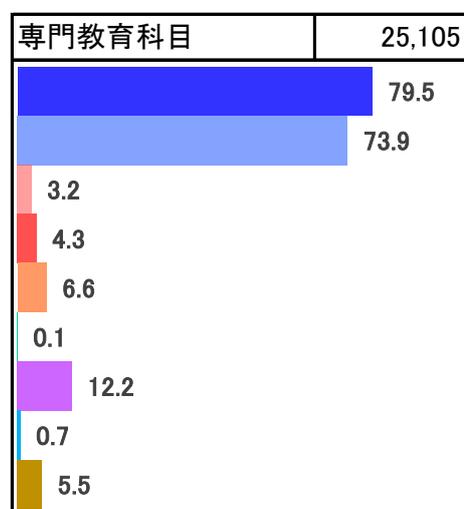
Q2 この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、
すべて選択してください。

	n=
学士課程全体	37,080

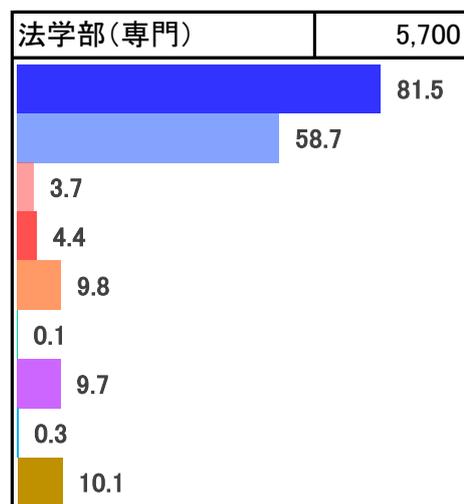
- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

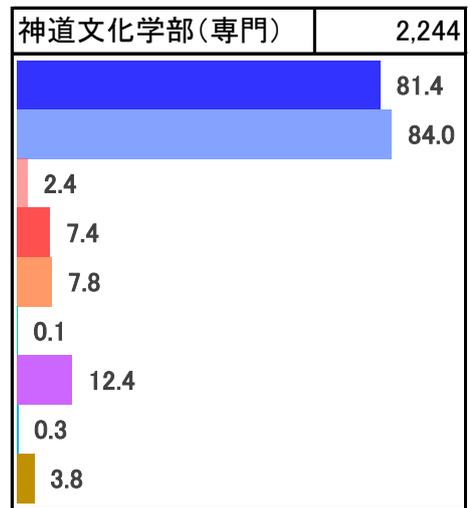
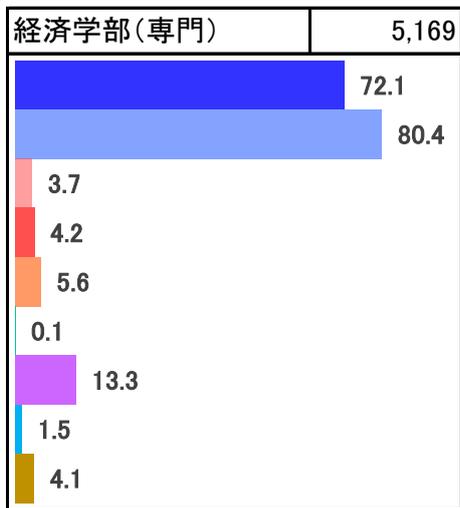


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

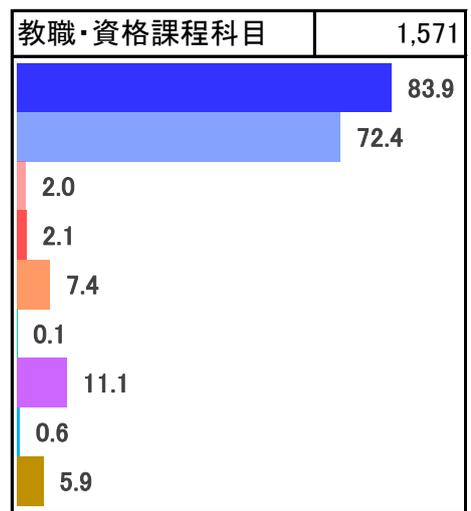
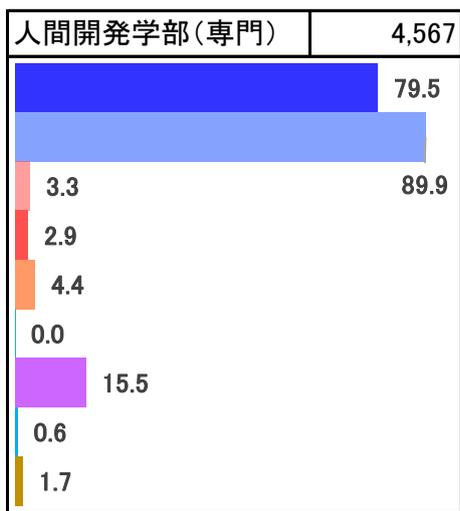


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他



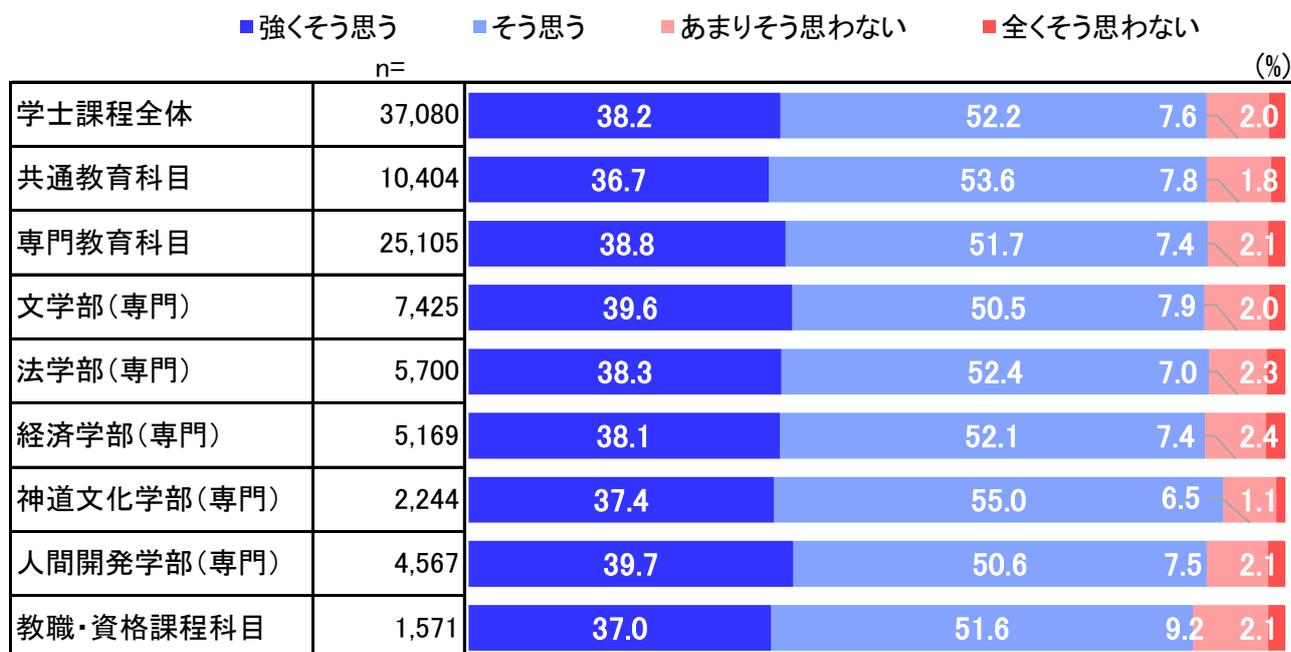


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

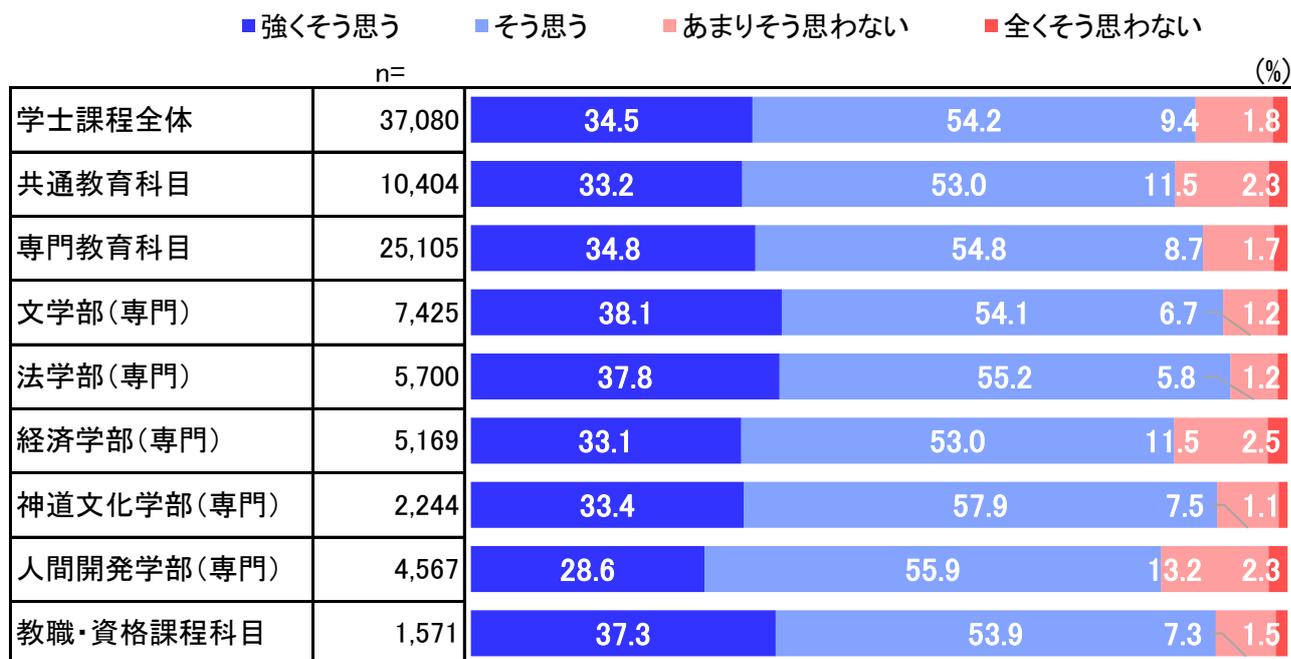


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

Q3 教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、
明確な説明・指示を行っていましたか。



Q4 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



Q5 教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

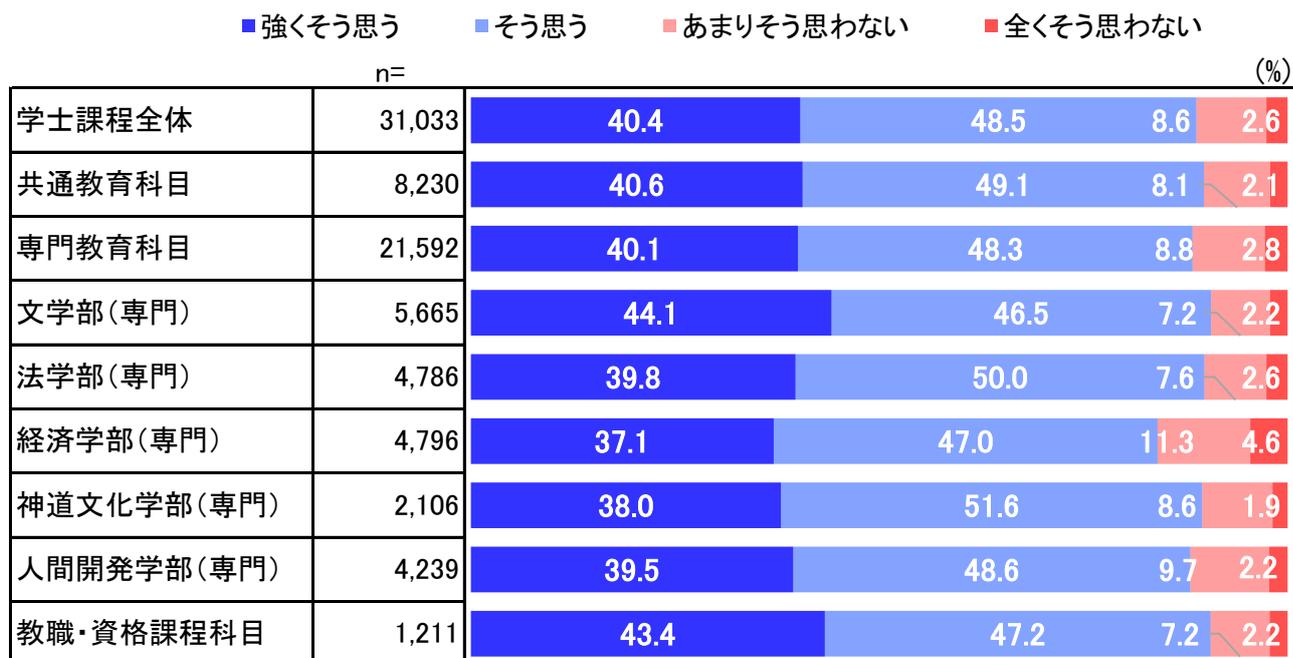
	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	36.2	53.4	8.4	2.0
共通教育科目	10,404	35.4	53.8	8.9	2.0
専門教育科目	25,105	36.5	53.4	8.1	2.0
文学部(専門)	7,425	37.9	52.1	8.2	1.8
法学部(専門)	5,700	36.4	53.8	7.4	2.4
経済学部(専門)	5,169	35.8	53.8	8.3	2.0
神道文化学部(専門)	2,244	36.6	55.8	6.7	0.9
人間開発学部(専門)	4,567	35.1	53.1	9.5	2.2
教職・資格課程科目	1,571	36.5	52.3	8.7	2.6

Q6 教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

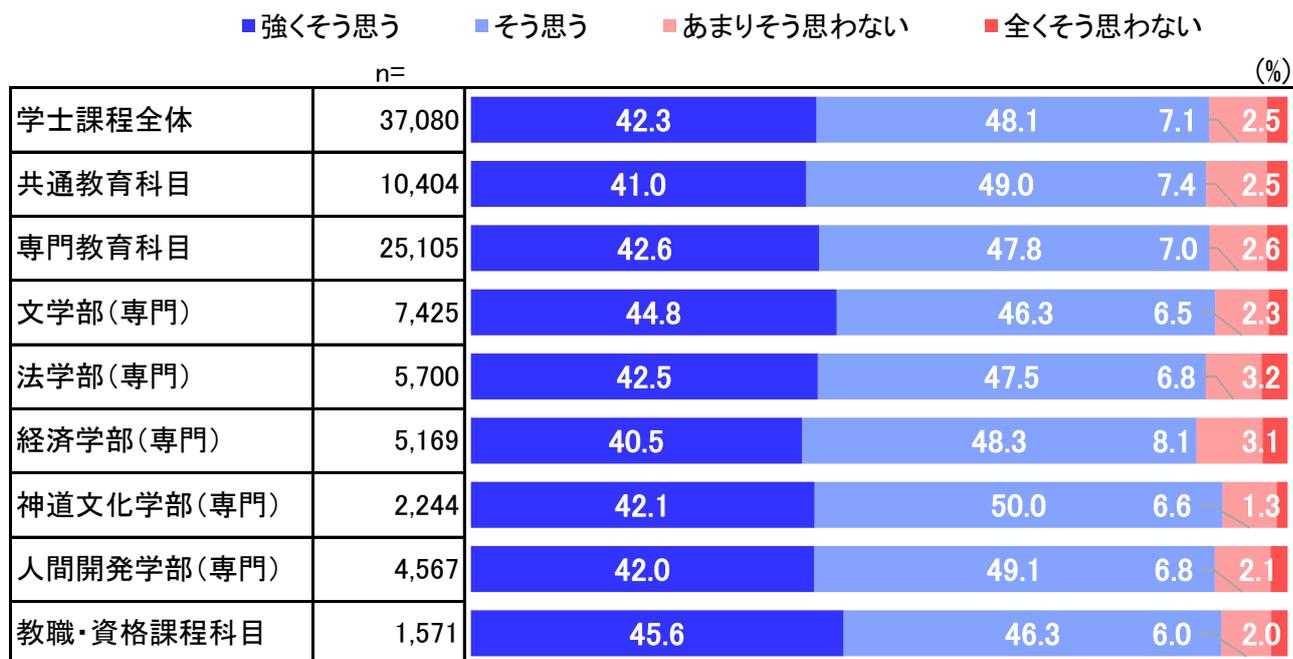
	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	39.9	48.8	7.9	3.4
共通教育科目	10,404	42.2	48.0	6.7	3.0
専門教育科目	25,105	39.1	49.2	8.3	3.4
文学部(専門)	7,425	39.9	48.1	8.6	3.4
法学部(専門)	5,700	39.4	50.4	6.6	3.6
経済学部(専門)	5,169	37.9	47.8	10.4	3.9
神道文化学部(専門)	2,244	39.2	52.5	6.7	1.6
人間開発学部(専門)	4,567	38.6	49.4	8.2	3.7
教職・資格課程科目	1,571	37.6	47.5	10.6	4.3

Q7 リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。



※Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

Q8 教員が提供した教材(スライド・レジюмеなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。



Q9 教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	40.8	50.5	6.6	2.1
共通教育科目	10,404	43.5	48.9	5.6	1.9
専門教育科目	25,105	39.6	51.0	7.1	2.2
文学部(専門)	7,425	40.7	49.7	7.5	2.0
法学部(専門)	5,700	41.8	49.4	6.4	2.5
経済学部(専門)	5,169	37.2	50.8	8.6	3.4
神道文化学部(専門)	2,244	40.4	53.3	5.2	1.1
人間開発学部(専門)	4,567	37.6	54.3	6.5	1.6
教職・資格課程科目	1,571	40.7	51.7	5.9	1.8

Q10 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	36.8	44.9	13.7	4.6
共通教育科目	10,404	37.5	44.5	13.7	4.3
専門教育科目	25,105	36.3	45.2	13.7	4.8
文学部(専門)	7,425	40.2	42.2	13.2	4.4
法学部(専門)	5,700	34.1	48.7	12.8	4.5
経済学部(専門)	5,169	34.7	45.7	13.9	5.7
神道文化学部(専門)	2,244	34.8	46.5	15.9	2.8
人間開発学部(専門)	4,567	34.9	44.5	14.6	5.9
教職・資格課程科目	1,571	39.8	43.0	13.6	3.6

Q11 この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

- ライブorオンデマンド配信なし
- 30分未満
- 30分以上～40分未満
- 40分以上～50分未満
- 50分以上～60分未満
- 60分以上～75分未満
- 75分以上

	n=	(%)						
学士課程全体	37,080	11.4	5.8	7.8	14.2	18.1	18.1	24.5
共通教育科目	10,404	15.5	10.7	11.7	13.9	15.2	14.5	18.5
専門教育科目	25,105	9.4	3.9	6.4	14.5	19.2	19.4	27.2
文学部(専門)	7,425	16.2	3.9	5.2	13.9	17.2	18.1	25.5
法学部(専門)	5,700	9.5	3.8	8.6	14.0	17.1	16.6	30.3
経済学部(専門)	5,169	5.3	5.0	6.7	13.0	15.6	18.6	35.8
神道文化学部(専門)	2,244	4.8	4.0	5.5	15.9	24.6	19.9	25.4
人間開発学部(専門)	4,567	5.2	2.8	5.8	17.0	26.4	25.7	17.2
教職・資格課程科目	1,571	16.7	4.3	3.3	12.7	20.8	20.6	21.5

Q12 この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。

- ちょうどよい
- やや長い、やや短い
- 長すぎる、短すぎる

	n=	(%)		
学士課程全体	31,033	66.7	26.3	7.0
共通教育科目	8,230	71.5	23.0	5.5
専門教育科目	21,592	64.4	27.9	7.7
文学部(専門)	5,665	68.7	24.4	6.9
法学部(専門)	4,786	63.8	27.6	8.5
経済学部(専門)	4,796	59.5	30.9	9.7
神道文化学部(専門)	2,106	66.9	27.3	5.9
人間開発学部(専門)	4,239	63.7	29.8	6.5
教職・資格課程科目	1,211	75.1	19.2	5.7

※Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

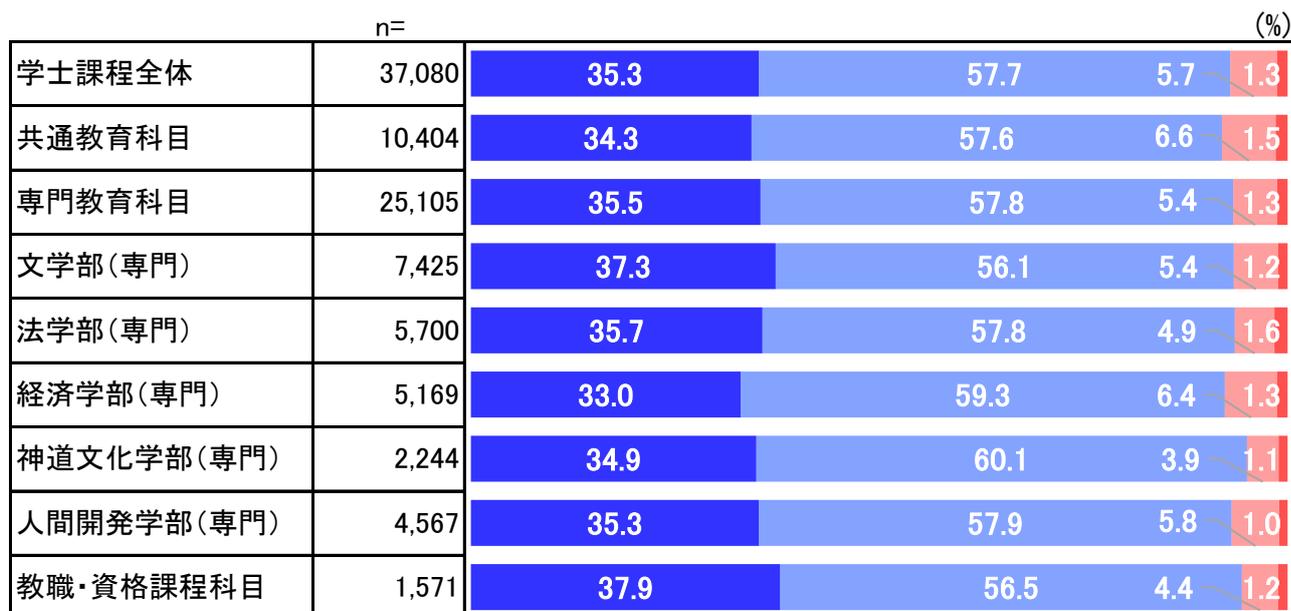
Q13 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。

■ちょうどよい ■ やや多い、やや少ない ■ 多すぎる、少なすぎる



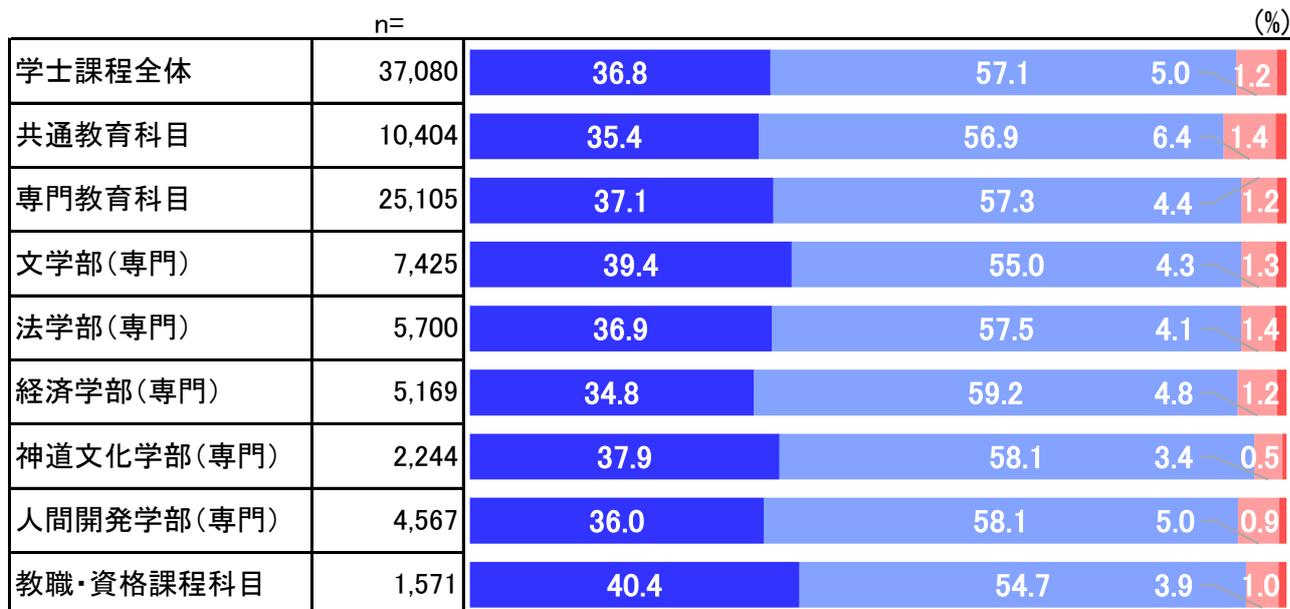
Q14 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。

■強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



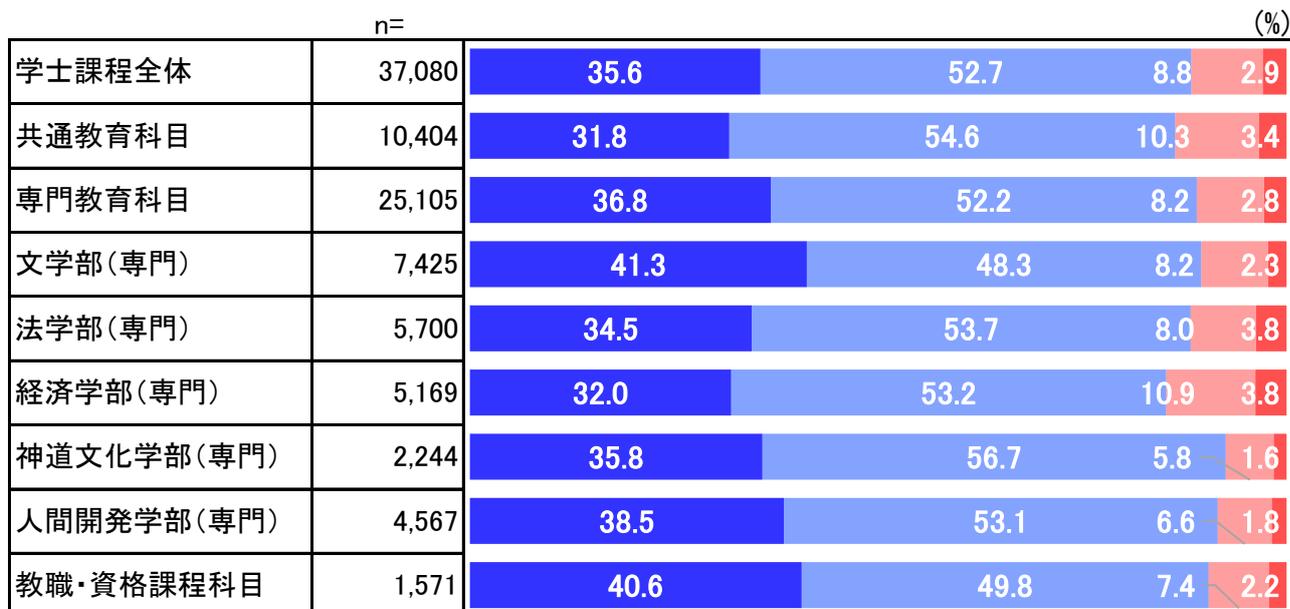
Q15 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q16 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q18 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■強く思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	22.1	64.8	10.9	2.2
共通教育科目	10,404	22.6	64.0	11.4	2.1
専門教育科目	25,105	21.9	65.0	10.8	2.3
文学部(専門)	7,425	21.9	65.1	11.0	2.1
法学部(専門)	5,700	21.8	64.2	11.2	2.8
経済学部(専門)	5,169	23.6	60.8	12.7	3.0
神道文化学部(専門)	2,244	19.4	67.9	11.1	1.6
人間開発学部(専門)	4,567	21.3	69.4	7.8	1.4
教職・資格課程科目	1,571	21.5	67.2	10.0	1.3

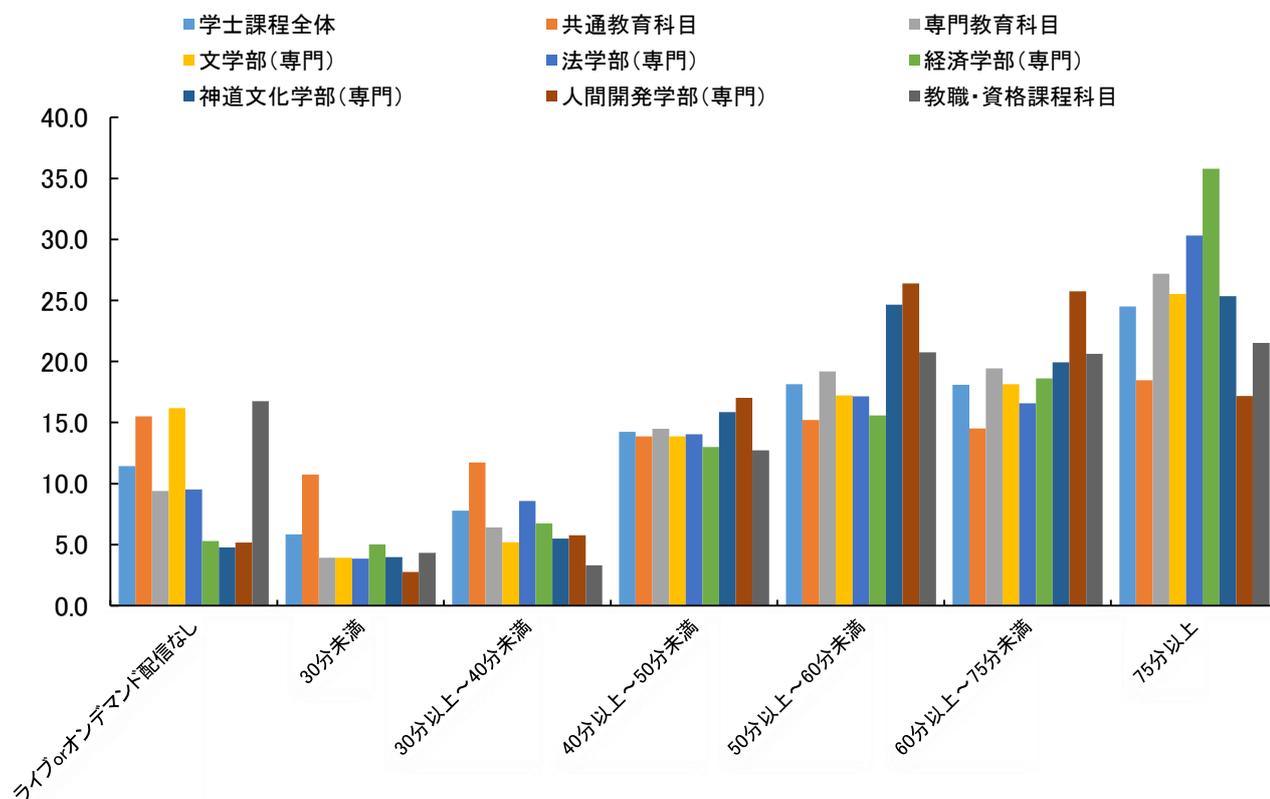
Q19 あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。

■強く思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	37,080	37.8	51.4	7.6	3.3
共通教育科目	10,404	36.8	52.3	7.7	3.2
専門教育科目	25,105	38.0	51.1	7.6	3.3
文学部(専門)	7,425	41.0	48.2	7.9	2.8
法学部(専門)	5,700	35.7	52.9	7.2	4.2
経済学部(専門)	5,169	35.1	51.1	9.0	4.8
神道文化学部(専門)	2,244	37.9	54.8	5.7	1.6
人間開発学部(専門)	4,567	39.2	51.8	6.8	2.1
教職・資格課程科目	1,571	40.4	49.6	7.1	2.9

Q11 この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

	ライブ orオン デマン ド配信 なし	30分未 満	30分以 上～40 分未満	40分以 上～50 分未満	50分以 上～60 分未満	60分以 上～75 分未満	75分以 上
学士課程全体	11.4	5.8	7.8	14.2	18.1	18.1	24.5
共通教育科目	15.5	10.7	11.7	13.9	15.2	14.5	18.5
専門教育科目	9.4	3.9	6.4	14.5	19.2	19.4	27.2
文学部(専門)	16.2	3.9	5.2	13.9	17.2	18.1	25.5
法学部(専門)	9.5	3.8	8.6	14.0	17.1	16.6	30.3
経済学部(専門)	5.3	5.0	6.7	13.0	15.6	18.6	35.8
神道文化学部(専門)	4.8	4.0	5.5	15.9	24.6	19.9	25.4
人間開発学部(専門)	5.2	2.8	5.8	17.0	26.4	25.7	17.2
教職・資格課程科目	16.7	4.3	3.3	12.7	20.8	20.6	21.5



動画配信時間

●集計結果の総評

- ・ 本学の授業評価アンケートは、従前のおり、全部で21の設問から成り立っています。
- ・ 設問の構成は、大別して2つに区分できます。Q1～Q3とQ5～Q15が「教員の授業運営について尋ねた設問」で、それ以外の設問が「授業を受講した学生の意識について尋ねた設問」となっています。
- ・ それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別に見た専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- ・ Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。全集計区分で動画配信を行う科目は70%を超えており、学士課程全体で83.6%でした。人間開発学部の専門教育科目が全体と比べて「ライブ配信」の割合が7割以上で非常に高くなっています。
- ・ Q2は、「この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください」です。全集計区分において、K-SMAPYⅡおよびZOOMの利用が大半を占めており、学士課程全体では前者が79.6%、後者が73.9%でした。文学部、法学部は、他の区分に比べ、ZOOM利用の割合が7割以下となっています。専門教育科目の中でも人間開発学部は、ZOOM利用が約9割で、他の学部と比べ、高くなっています。
- ・ Q3は、「教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか」です。肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計。以下、同様の記述)は学士課程全体で90.4%でした。また、文学部、法学部、人間開発学部の専門教育科目で、全体と比べ、「強くそう思う」の割合が高くなっています。対して、経済学部、神道文化学部の専門教育科目では全体と比べ、「強くそう思う」の割合が低くなっています。
- ・ Q4は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で88.7%でした。学部別にみると、文学部で92.2%、法学部で93.0%、神道文化学部で91.3%と高くなっています。一方で、経済学部で86.1%、人間開発学部で84.5%は他の学部と比べ、低くなっています。
- ・ Q5は、「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は、全ての集計区分で、肯定回答が90%前後であり、学士課程全体で89.6%でした。また、文学部、法学部、神道文化学部の専門教育科目で、全体と比べ、「強くそう思う」の割合が高くなっています。

- Q6は、「教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で88.7%でした。共通教育科目は専門教育科目及び教職・資格課程科目に比べ、肯定回答の割合が高くなっています。専門教育科目の中でも神道文化学部肯定回答の割合は91.7%と他の学部と比べ、高くなっています。
- Q7は、「リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で88.9%でした。学部別では、文学部(専門)、教職・資格課程科目の肯定回答が9割を上回る結果となっています。
- Q8は、「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で90.4%でした。全ての集計区分で肯定回答が9割程度で高い結果となっています。
- Q9は、「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.3%でした。また、これもQ8と同様に、全ての集計区分で肯定回答が9割程度の高い結果となっています。
- Q10は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で81.7%でした。学部別に結果を見ると、文学部で82.4%、法学部で82.8%、経済学部で80.4%、神道文化学部で81.3%、人間開発学部で79.4%という結果になり、法学部が他の学部と比べ、やや高い傾向にあります。
- Q11は、「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」です。学修あり(60分以上)の回答は、学士課程全体で60.7%でした。学部別にみると、経済学部、神道文化学部、人間開発学部の学修あり(60分以上)の回答の割合が他に比べてやや高い結果となっています。
- Q12は、「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で66.7%でした。教職・資格課程科目の「ちょうどよい」の回答割合が75.1%と他の学部と比べて高く、経済学部のみ6割未満で他の学部と比べて、やや低い結果となっています。
- Q13は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で76.4%でした。学部別では文学部、神道文化学部で、「ちょうどよい」の回答割合が8割を上回る結果となっています。

- ・ Q14は、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.0%でした。学部別に見ると、すべての学部で肯定回答割合が9割以上となっています。
- ・ Q15は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で93.9%でした。全ての集計区分で肯定回答の割合が9割以上となっています。
- ・ Q16は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。」です。肯定回答は、学士課程全体で88.3%でした。共通教育科目及び専門教育科目のうち経済学部以外で肯定回答の割合が9割以上となっています。
- ・ Q18は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で86.9%でした。学部別に見ると、すべての学部で肯定回答の割合が8割以上となっています。
- ・ Q19は、「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.2%でした。学部別に見ると、神道文化学部が肯定回答割合が92.7%でもっとも高くなっています。

- ・ 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。令和2年度前期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
- ・ 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、全ての集計区分で肯定回答が85%を下回った設問は、Q10「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」です。また、学士課程全体で消極的な回答が10%以上となっている設問はQ4、Q5、Q6、Q7、Q10、Q16、Q18、Q19となります。

3. 考察(1)設問間のクロス表分析(前期)

3-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q18・19)

【全体】

- 下の図は、学士課程教育全体について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.9%以上が到達目標を達成したと認識し、89.8%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は80.2%、後者は82.6%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	18,101	87.9	12.1
		89.8	10.2
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	9,325	88.9	11.1
		91.7	8.3
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	3,512	88.1	11.9
		90.1	9.9
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	6,047	80.2	19.8
		82.6	17.4

【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.9%以上が到達目標を達成したと認識し、90.4%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は80.2%、後者は84.5%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	5,823	87.9	12.1
		90.4	9.6
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	3,091	89.3	10.7
		93.0	7.0
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	1,108	88.4	11.6
		90.5	9.5
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	2,976	80.2	19.8
		84.5	15.5

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.9%以上が到達目標を達成したと認識し、89.9%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は79.6%、後者は80.3%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	2,479	90.1	9.9
		91.4	8.6
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	2,819	88.3	11.7
		90.1	9.9
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	867	87.9	12.1
		89.9	10.1
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	1,337	79.6	20.4
		80.3	19.7

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、84.6%以上が到達目標を達成したと認識し、86.2%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者後者ともに75.6%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	4,521	84.6	15.4
		86.2	13.8
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,676	88.1	11.9
		90.4	9.6
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	650	89.1	10.9
		91.4	8.6
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	447	75.6	24.4
		75.6	24.4

【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、82.0%以上が到達目標を達成したと認識し、88.2%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は78.1%、後者は81.7%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	1,404	86.7	13.3
		91.4	8.6
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	863	87.6	12.4
		93.9	6.1
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	228	82.0	18.0
		88.2	11.8
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	389	78.1	21.9
		81.7	18.3

【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、89.1%以上が到達目標を達成したと認識し、89.4%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は84.5%、後者は83.2%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度がやや高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	3,874	90.9	9.1
		91.6	8.4
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	876	92.0	8.0
		92.8	7.2
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	659	89.1	10.9
		89.4	10.6
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	898	84.5	15.5
		83.2	16.8

【1年生】

- 下の図は、1年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.8%以上が到達目標を達成したと認識し、90.4%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は81.1%、後者は83.9%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度がやや高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	9,228	87.8	12.2
		90.4	9.6
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	3,820	89.0	11.0
		91.5	8.5
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	1,428	88.2	11.8
		91.8	8.2
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	2,201	81.1	18.9
		83.9	16.1

【2年生】

- 下の図は、2年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、88.0%以上が到達目標を達成したと認識し、89.2%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は80.5%、後者は81.7%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	4,455	88.3	11.7
		89.8	10.2
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	2,783	88.0	12.0
		91.8	8.2
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	1,047	88.3	11.7
		89.2	10.8
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	1,752	80.5	19.5
		81.7	18.3

【3年生】

- 下の図は、3年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.0%以上が到達目標を達成したと認識し、87.2%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は79.6%、後者は82.0%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度がやや高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	3,358	87.9	12.1
		88.6	11.4
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,916	89.8	10.2
		91.9	8.1
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	679	87.0	13.0
		87.2	12.8
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	1,592	79.6	20.4
		82.0	18.0

【4年生】

- 下の図は、4年生の回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.5%以上が到達目標を達成したと認識し、89.0%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は77.5%、後者は81.7%にとどまります。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的に対面授業に近い環境を整えることで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が顕著に高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ライブ配信 (リアルタイム)	1,060	87.5	12.5
		89.0	11.0
オンデマンド配信 (配信動画視聴)	806	89.0	11.0
		91.8	8.2
ライブ配信・オンデマンド配信 の併用	358	89.7	10.3
		91.9	8.1
K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	502	77.5	22.5
		81.7	18.3

3-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応(Q11×Q12)

- 下の図は、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」と、Q12「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「30分以上～40分未満」および「40分以上～50分未満」の授業において、ちょうどよいと回答した割合は80%超となっています。一方で「60分以上～75分未満」および「75分以上」の授業においては65%未満となっています。
- 上記のことから、特に動画配信時間が75分を超える授業では、内容の詰め込みすぎや進行速度に問題がないかの確認が必要と言えます。

■ ちょうどよい ■ やや長い、やや短い ■ 長すぎる、短すぎる

	n=	(%)		
ライブorオンデマンド配信なし	304	66.8	15.5	17.8
30分未満	1,787	74.4	19.7	5.9
30分以上～40分未満	2,462	83.8	13.8	2.4
40分以上～50分未満	4,919	86.2	12.4	1.3
50分以上～60分未満	6,360	78.5	19.4	2.0
60分以上～75分未満	6,408	62.4	32.5	5.1
75分以上	8,793	44.0	39.6	16.4

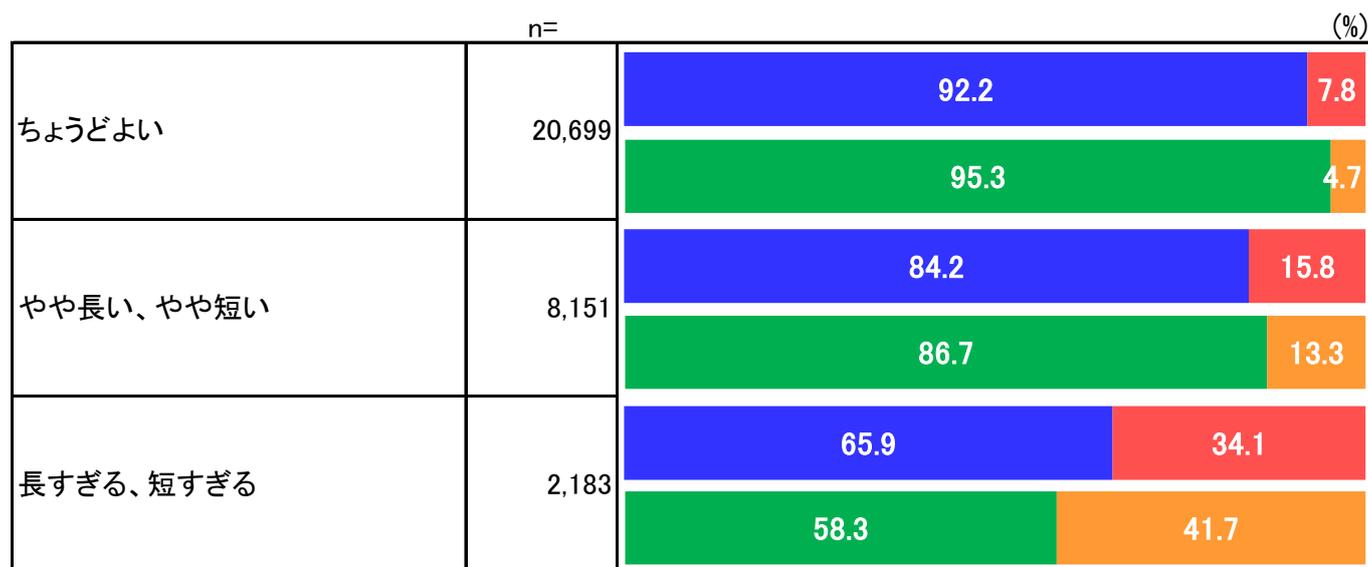
※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

3-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 遠隔授業・動画配信の長さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q12×Q18・19)

- 下の図は、Q12「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、92.2%が到達目標を達成したと認識、95.3%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合には、前者は65.9%、後者は58.3%にとどまります。
- 上記のことから、「遠隔授業・動画配信の長さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

3-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

4. 課題の量の多さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q13×Q18・19)

- 下の図は、Q13「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、90.4%が到達目標を達成したと認識、93.5%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は60.9%、後者は52.9%にとどまります。
- 上記のことから、「課題の量の多さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
ちょうどよい	28,314	90.4	9.6
		93.5	6.5
やや多い、やや少ない	6,638	80.4	19.6
		82.2	17.8
多すぎる、少なすぎる	2,128	60.9	39.1
		52.9	47.1

3-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

5. 予復習・課題にかけた時間が学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q17×Q18-19)

- 下の図は、Q17「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」と回答した場合には、35.5%が到達目標を達成していないと認識、33.2%がこの授業を履修して良かったと感じなかったと答えています。「学修あり」と比べ否定回答が多くなっています。
- 上記のことから、予復習・課題にかけた時間と学生の到達目標の達成度には大きな関連があるといえます。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
学修無し	885	64.5	35.5
		66.8	33.2
10分未満	1,262	77.7	22.3
		82.6	17.4
10分以上 30分未満	8,595	86.9	13.1
		90.0	10.0
30分以上 60分未満	16,584	89.8	10.2
		92.0	8.0
60分以上 90分未満	5,903	87.1	12.9
		89.3	10.7
90分以上 180分未満	3,022	83.8	16.2
		84.3	15.7
180分以上 300分	829	76.7	23.3
		73.8	26.2

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q3×Q18・19)

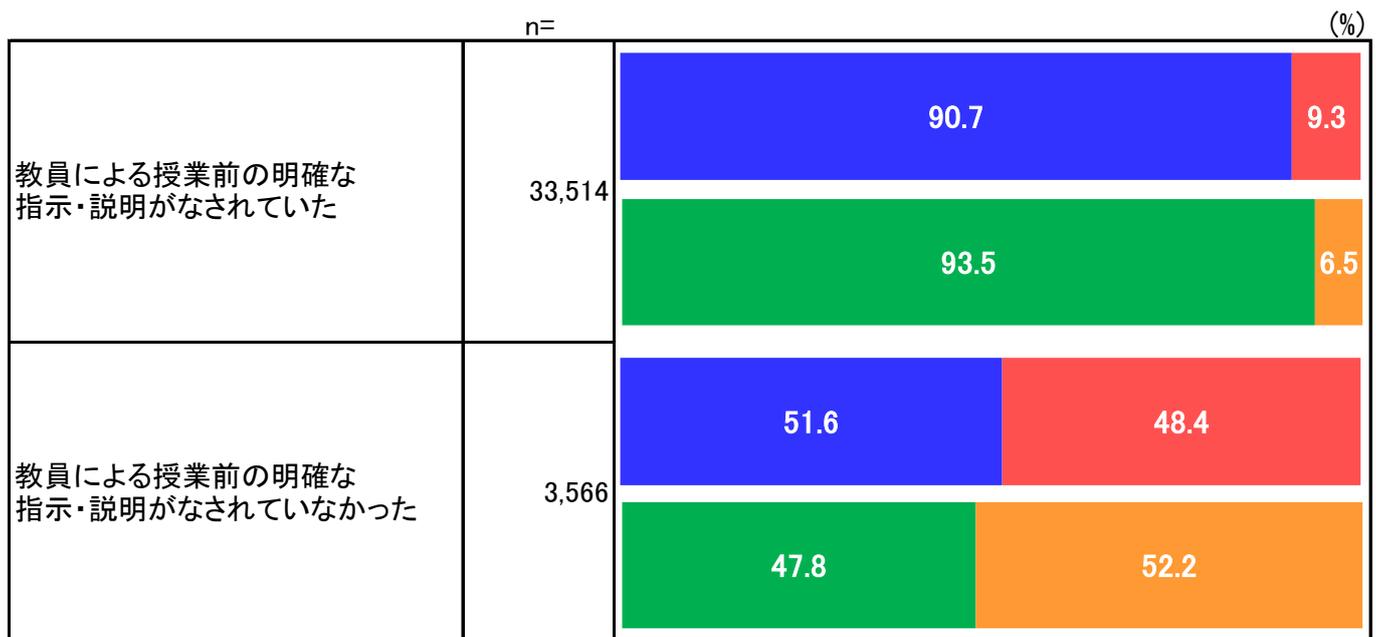
- 下の図は、Q3「教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業前の明確な指示・説明がなされていた」と回答した場合には、90.7%が到達目標を達成したと認識、93.5%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「明確な指示・説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は51.6%、後者は47.8%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業前に明確な指示・説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q5×Q18・19)

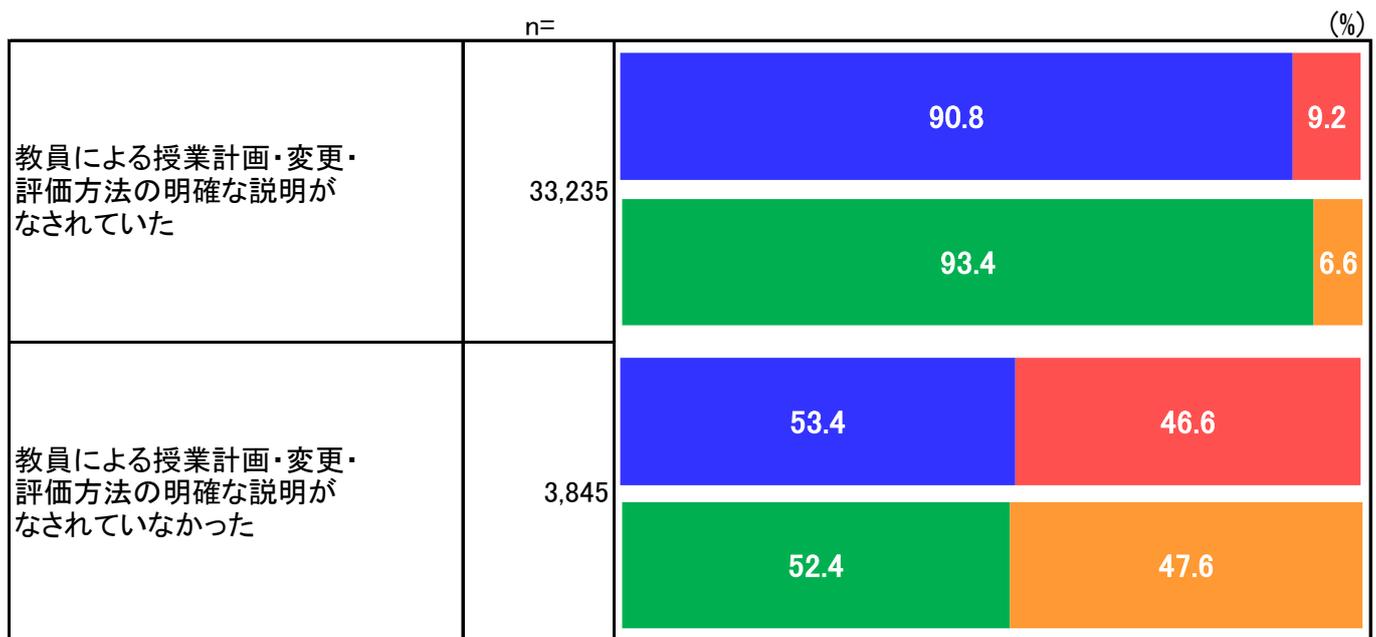
- 下の図は、Q5「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、90.8%が到達目標を達成したと認識、93.4%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は53.4%、後者は52.4%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

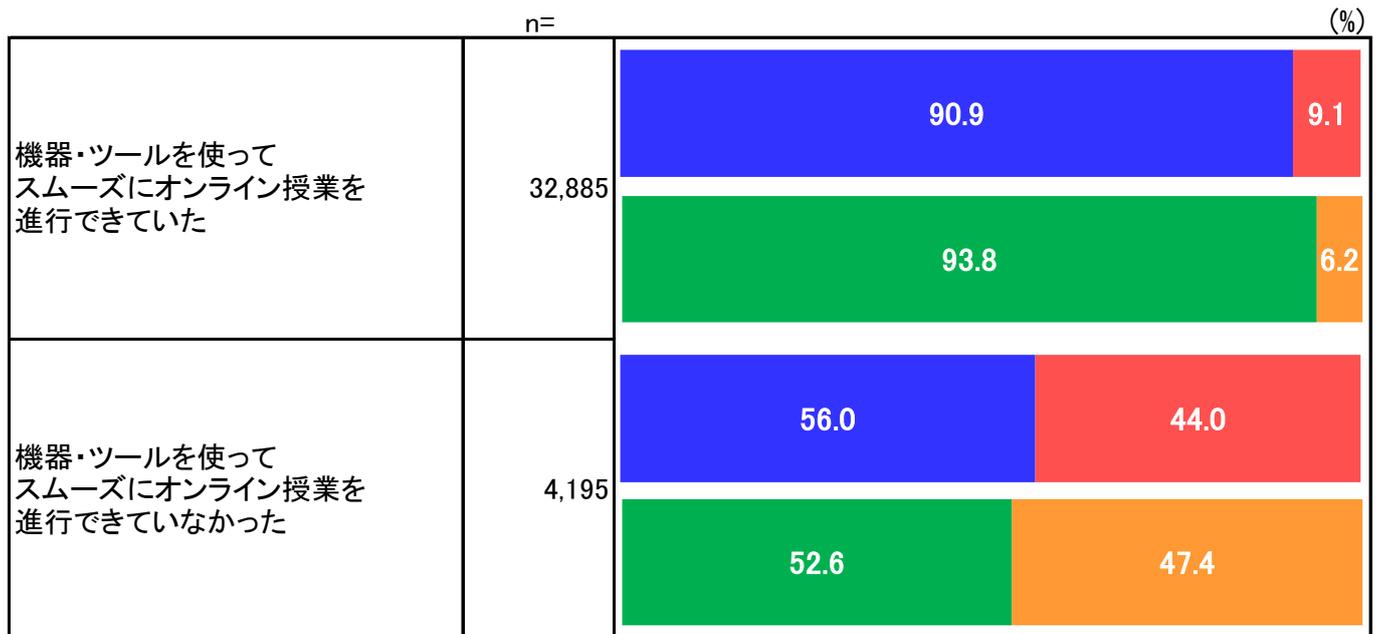


3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. 機器・ツールを使ってスムーズにオンライン授業を進行できていたか(Q6×Q18・19)

- 下の図は、Q6「教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「機器・ツールを使ってスムーズにオンライン授業を進行できていた」と回答した場合には、90.9%が到達目標を達成したと認識、93.8%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「スムーズにオンライン授業を進行できていなかった」と回答した場合には、前者は56.0%、後者は52.6%にとどまります。
- 上記のことから、機器・ツールを使ってスムーズに進行することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

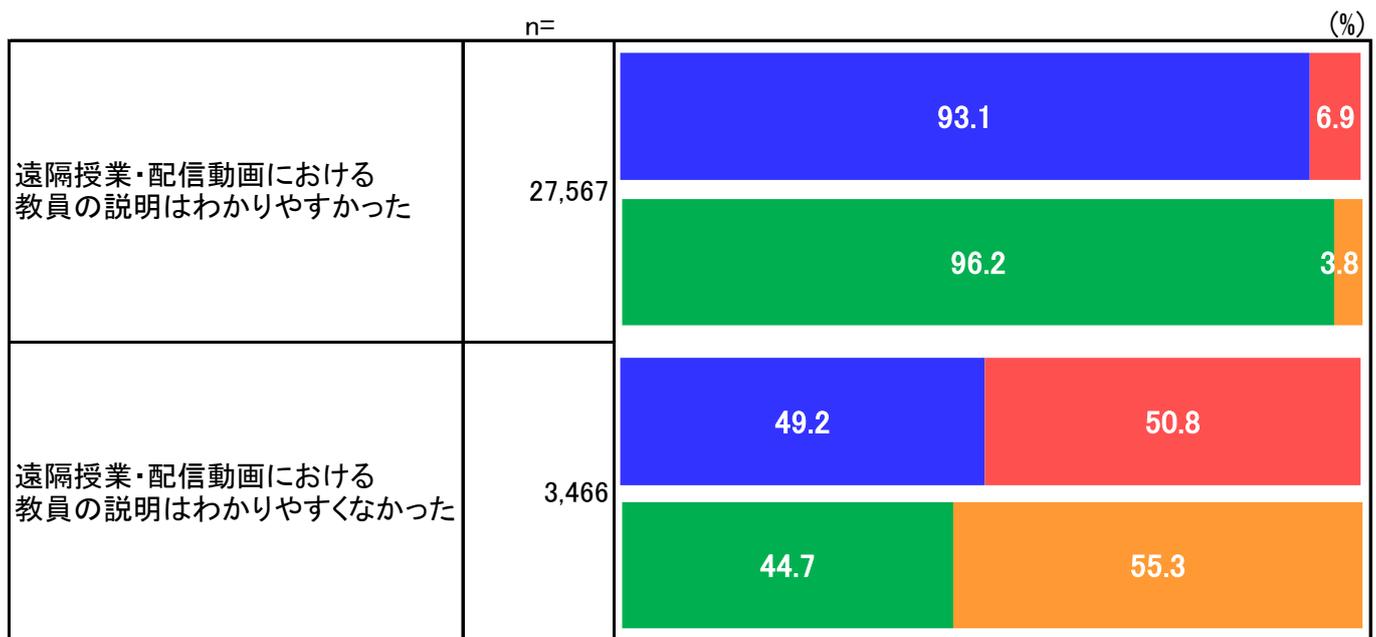


3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q7×Q18・19)

- 下の図は、Q7「リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「遠隔授業・配信動画における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、93.1%が到達目標を達成したと認識、96.2%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は49.2%、後者は44.7%にとどまります。
- 上記のことから、わかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 教員が提供した教材・資料はわかりやすかったか(Q8×Q18・19)

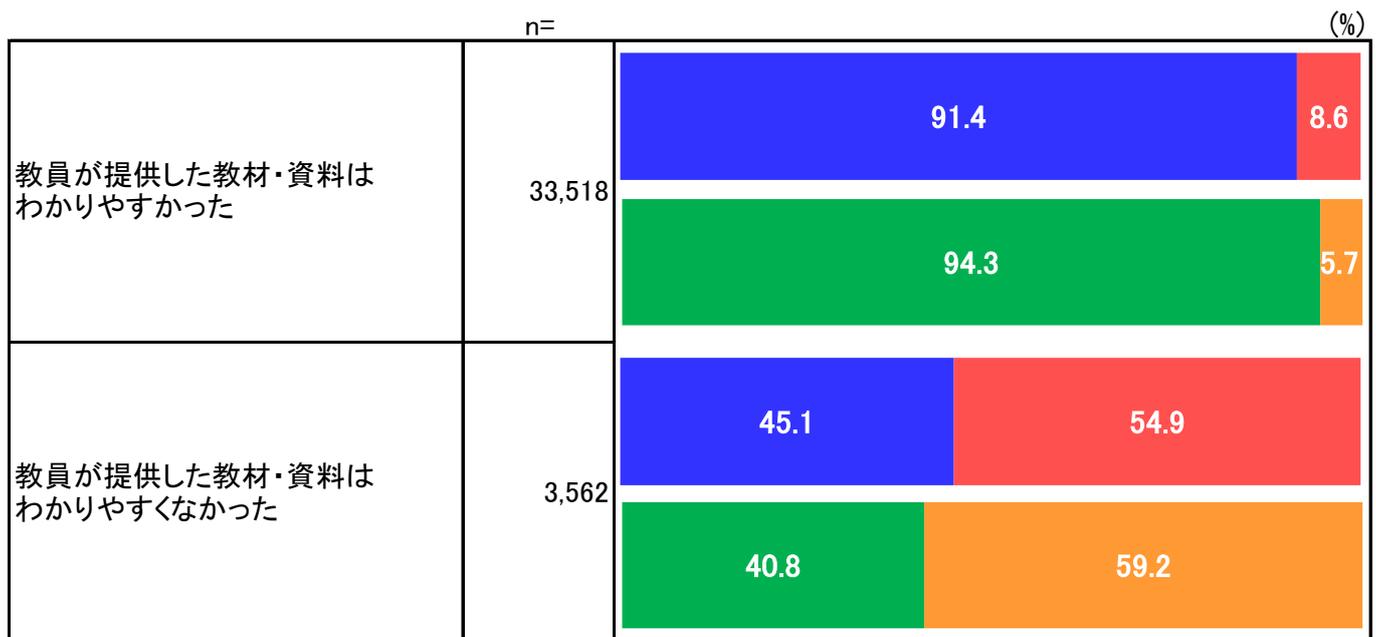
- 下の図は、Q8「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材・資料はわかりやすかった」と回答した場合には、91.4%が到達目標を達成したと認識、94.3%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「教材・資料はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は45.1%、後者は40.8%にとどまります。
- 上記のことから、わかりやすい教材・資料を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q9×Q18・19)

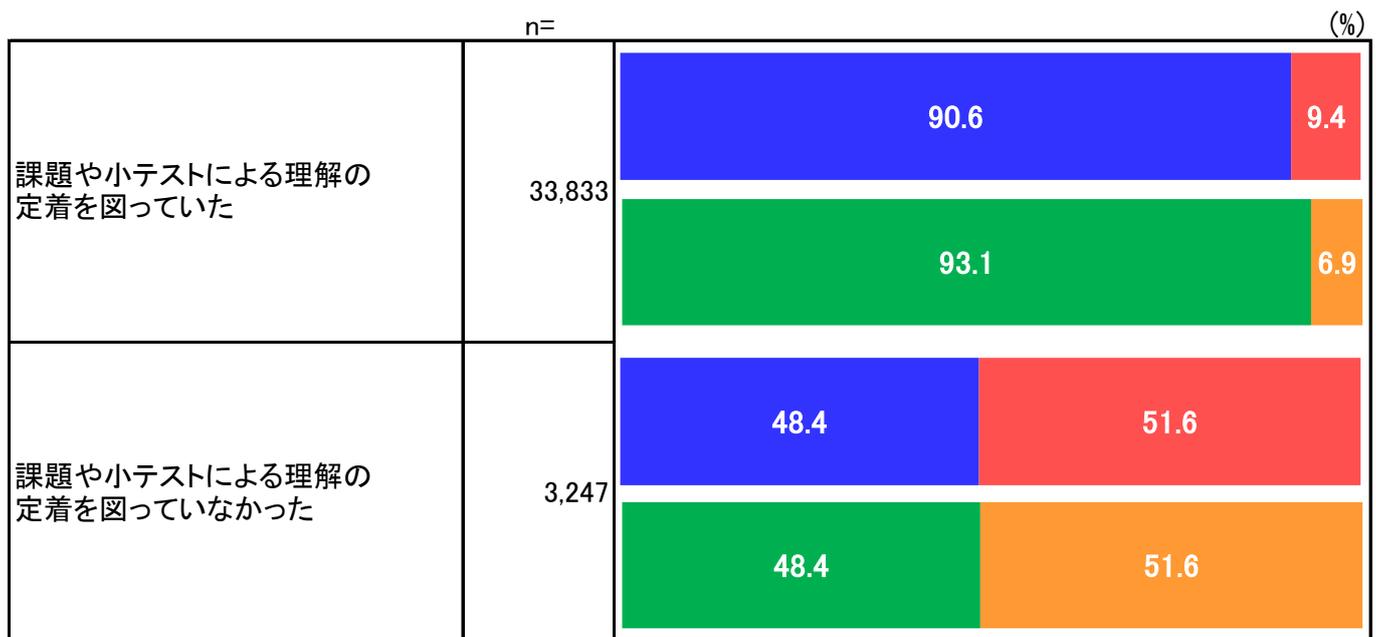
- 下の図は、Q9「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「課題や小テストによる理解の定着を図っていた」と回答した場合には、90.6%が到達目標を達成したと認識、93.1%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「理解の定着を図っていなかった」と回答した場合には、前者後者ともに48.4%にとどまります。
- 上記のことから、教員が課題や小テストによる理解の定着を図ることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q10×Q18・19)

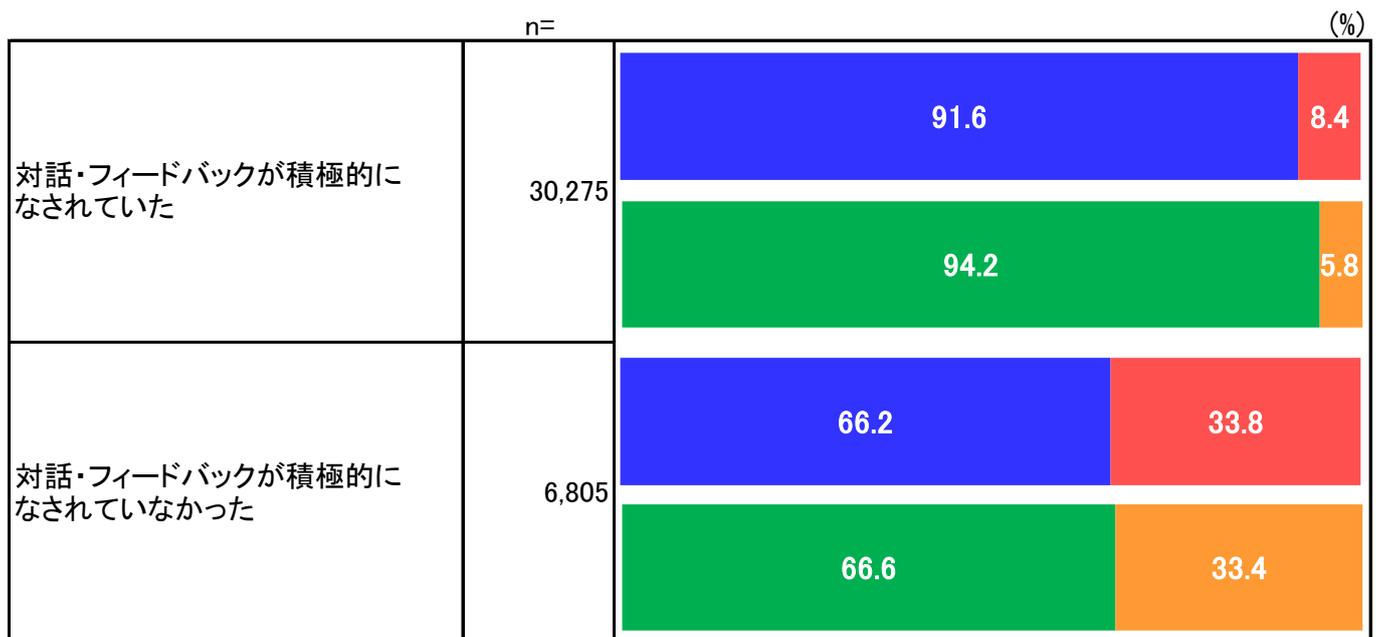
- 下の図は、Q10「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、91.6%が到達目標を達成したと認識、94.2%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は66.2%、後者は66.6%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q14×Q18・19)

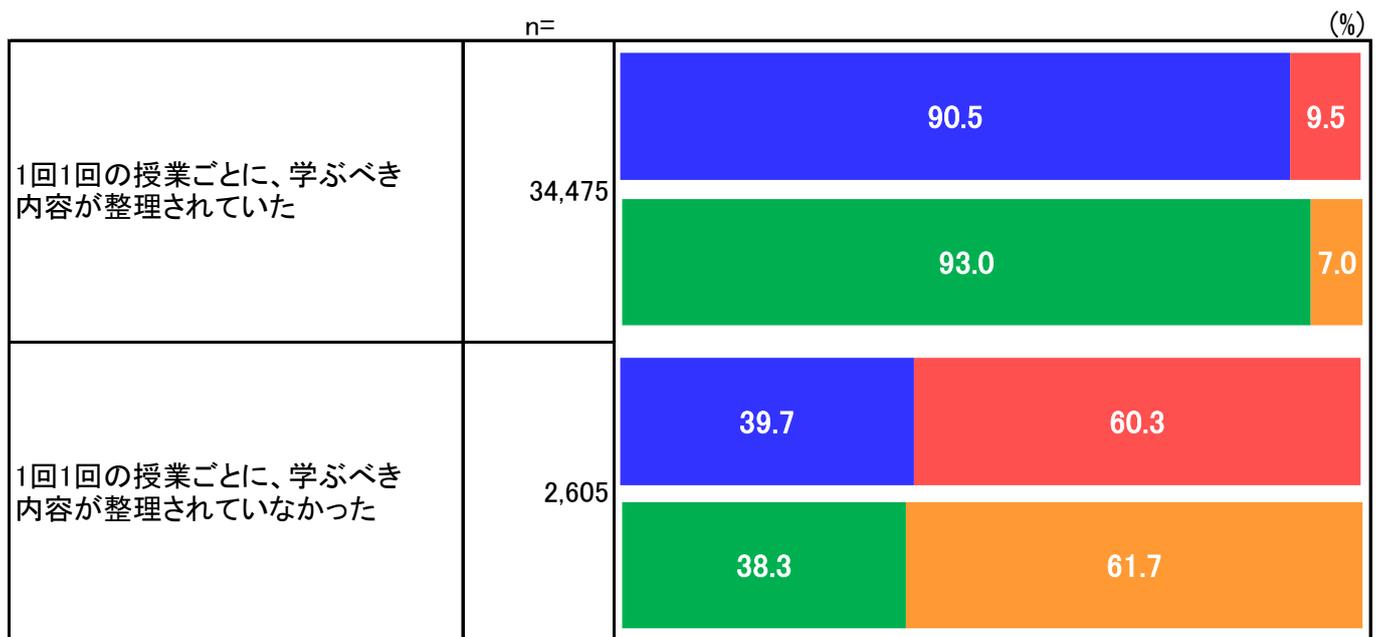
- 下の図は、Q14「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容が整理されていた」と回答した場合には、90.5%が到達目標を達成したと認識、93.0%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「学ぶべき内容が整理されていなかった」と回答した場合には、前者は39.7%、後者は38.3%にとどまります。
- 上記のことから、学ぶべき内容が整理されていることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



3-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q15×Q18-19)

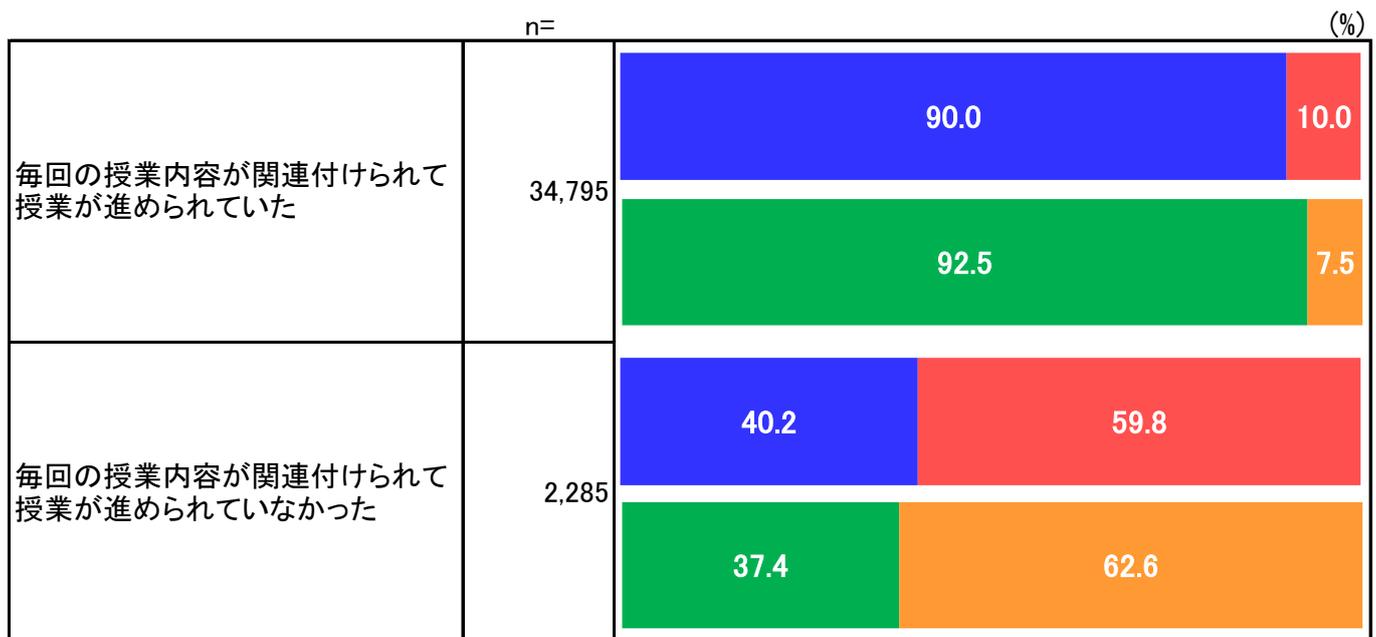
- 下の図は、Q15「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか」と、Q18「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q19「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、90.0%が到達目標を達成したと認識、92.5%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は40.2%、後者は37.4%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

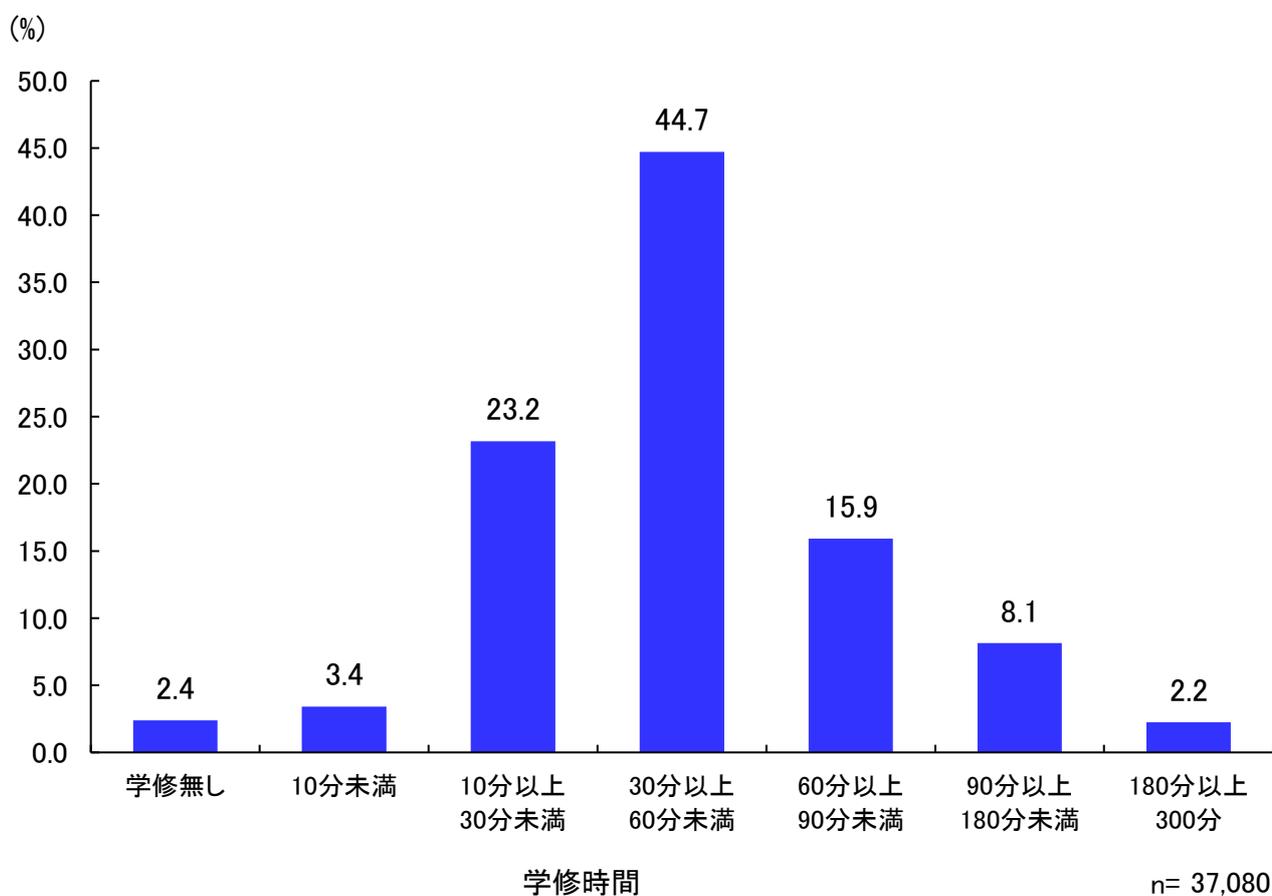
■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



4. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(前期)

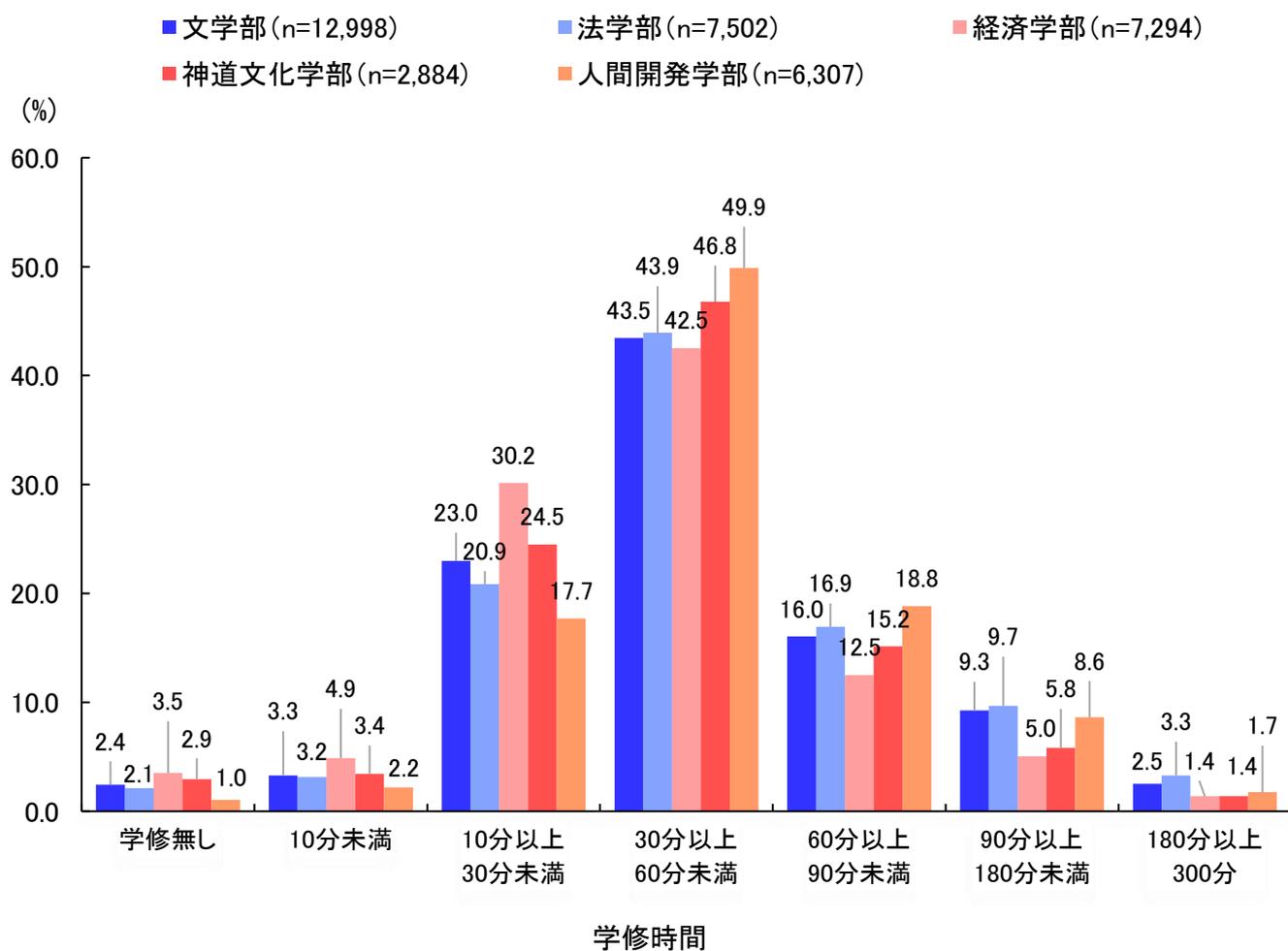
4-1 学士課程全体における学修時間の分布

- ・ 下の図は、Q17「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- ・ 学士課程教育全体の授業外学修時間としては、「学修なし」が2.4%、「学修あり(60分未満)」で71.3%、「学修あり(60分以上)」で26.2%となっています。



4-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての所属学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、経済学部において、「学修なし」の割合が3%を超え、他と比べて高くなっています。



4-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。特に初等教育学科および子ども支援学科の割合が80%を超え、他と比べて高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	4,640	1.5	3.2	23.2	42.6	16.4	10.3	2.8
中国文学科	933	5.0	3.0	24.3	39.3	15.3	9.5	3.4
外国語文化学科	2,134	2.1	3.7	26.5	46.8	12.3	6.5	2.1
史学科	4,206	3.3	3.3	20.6	43.7	17.1	9.4	2.5
哲学科	1,085	1.8	3.1	22.9	43.4	18.2	9.3	1.3
法律専攻	6,132	2.3	3.3	20.2	43.4	17.3	10.2	3.4
法律専門職専攻	624	2.1	2.4	21.8	48.1	15.7	7.4	2.6
政治専攻	746	1.2	2.7	25.6	45.2	15.3	7.4	2.7
経済学科	3,324	3.1	4.7	29.8	41.2	13.1	6.1	2.0
経済ネットワーク学科	1,238	3.9	3.2	29.0	43.6	13.2	5.3	1.9
経営学科	2,732	3.8	5.9	31.2	43.6	11.5	3.6	0.4
神道文化学科	2,884	2.9	3.4	24.5	46.8	15.2	5.8	1.4
初等教育学科	2,046	0.9	2.3	15.7	49.3	19.6	10.0	2.2
健康体育学科	2,322	1.4	2.5	20.5	52.0	16.2	6.7	0.7
子ども支援学科	1,939	0.7	1.7	16.6	47.9	21.1	9.5	2.5

4-4 回答学生の学年と所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部・学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学部・学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また法学部4年生および神道文化学部4年生において、「学修無し」の割合が6%を超え、他と比べてやや高くなっています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

		n=	(%)						
文学部	1年生	5,606	1.3	2.5	21.6	45.9	16.7	9.3	2.7
	2年生	3,588	3.7	3.8	23.0	43.4	15.0	9.0	2.1
	3年生	2,824	2.5	3.6	23.8	40.5	16.4	10.5	2.5
	4年生	980	4.3	4.9	28.3	37.9	15.1	6.9	2.7
法学部	1年生	3,513	1.4	1.9	15.5	44.7	20.2	12.3	4.0
	2年生	2,050	2.2	3.8	24.3	45.9	13.9	6.8	3.2
	3年生	1,450	2.5	4.8	26.3	42.0	14.1	8.2	2.1
	4年生	489	6.1	5.1	28.8	36.2	14.9	7.2	1.6
経済学部	1年生	3,252	2.3	4.2	29.0	44.6	12.7	5.7	1.5
	2年生	1,779	4.1	5.6	30.7	42.4	11.7	4.3	1.1
	3年生	1,645	5.0	5.0	30.4	38.8	13.7	5.3	1.8
	4年生	618	4.0	6.3	34.0	41.6	10.7	3.2	0.2
神道文化学部	1年生	1,387	1.5	2.6	19.8	49.4	18.7	6.0	1.9
	2年生	734	4.0	5.3	33.4	43.1	9.8	4.1	0.4
	3年生	446	2.0	3.6	25.3	47.3	13.9	7.2	0.7
	4年生	317	8.2	2.5	23.0	43.2	13.6	7.3	2.2
人間開発学部	1年生	2,919	0.8	1.9	13.4	48.5	21.7	11.0	2.6
	2年生	1,886	1.2	2.6	20.9	51.8	15.9	6.8	0.9
	3年生	1,180	1.4	1.6	18.9	52.3	18.6	6.4	0.9
	4年生	322	0.9	4.7	33.5	41.9	11.2	6.2	1.6

4-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(1年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科および経営学科の割合が2%を超え、他と比べてやや高くなっています。
なお経済ネットワーク学科は1年生の回答がありませんでした。
(令和2年度より募集停止のため)

■ 学修無し ■ 10分未満 ■ 10分以上～30分未満 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満 ■ 90分以上～180分未満 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	2,017	0.9	1.8	21.6	44.7	17.5	10.3	3.2
中国文学科	424	3.1	2.6	25.2	43.6	16.3	6.6	2.6
外国語文化学科	890	1.5	3.1	26.3	47.3	12.0	6.4	3.4
史学科	1,808	1.2	3.2	18.4	47.5	18.4	9.1	2.3
哲学科	467	1.7	1.7	21.6	44.5	15.8	13.5	1.1
法律専攻	2,836	1.5	1.8	14.8	43.2	20.8	13.4	4.4
法律専門職専攻	331	1.5	2.7	18.7	52.3	16.3	6.3	2.1
政治専攻	346	0.6	1.4	17.9	49.4	18.8	9.2	2.6
経済学科	1,603	1.9	3.2	26.9	42.4	15.1	7.9	2.7
経済ネットワーク学科	-	0.0						
経営学科	1,649	2.8	5.1	31.0	46.8	10.3	3.5	0.4
神道文化学科	1,387	1.5	2.6	19.8	49.4	18.7	6.0	1.9
初等教育学科	887	1.6	2.6	12.2	40.1	25.3	14.5	3.7
健康体育学科	1,127	0.3	1.5	14.5	52.6	19.3	10.4	1.4
子ども支援学科	905	0.8	1.7	13.4	51.6	21.2	8.3	3.1

【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(2年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、子ども支援学科における「学修あり(60分以上)」の割合が、30%を超え、他と比べて高くなっています。また、中国文学科、史学科、経営学科における「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	1,190	1.8	3.6	23.4	43.4	15.9	10.2	1.8
中国文学科	267	9.4	4.1	22.5	34.5	12.0	11.6	6.0
外国語文化学科	672	2.1	4.3	25.7	50.0	11.5	5.8	0.6
史学科	1,090	6.0	3.0	21.4	40.8	16.1	9.9	2.8
哲学科	369	1.6	5.4	22.2	45.3	17.9	6.2	1.4
法律専攻	1,702	2.6	4.3	22.7	46.4	14.1	6.9	3.1
法律専門職専攻	211	0.5	0.0	25.6	45.5	15.6	9.0	3.8
政治専攻	137	0.0	2.9	42.3	40.1	8.0	2.9	3.6
経済学科	726	4.1	5.9	31.4	42.4	12.0	3.2	1.0
経済ネットワーク学科	520	2.3	2.5	27.7	46.7	12.1	6.7	1.9
経営学科	533	5.8	8.3	32.6	38.3	11.1	3.6	0.4
神道文化学科	734	4.0	5.3	33.4	43.1	9.8	4.1	0.4
初等教育学科	548	0.5	1.8	17.5	58.2	12.8	8.2	0.9
健康体育学科	683	1.9	4.0	24.2	54.5	13.3	2.2	0.0
子ども支援学科	655	0.9	1.8	20.3	43.7	21.1	10.4	1.8

【3年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(3年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科、史学科、子ども支援学科における「学修あり(60分以上)」の割合が、30%を超え、他と比べて高くなっています。また、法律専門職専攻、経済学科、経営学科における「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	1,093	1.7	4.5	25.3	38.6	15.8	11.3	2.7
中国文学科	169	3.6	2.4	20.1	42.0	17.8	11.8	2.4
外国語文化学科	418	2.4	2.4	27.0	43.3	13.9	9.1	1.9
史学科	981	3.5	3.9	21.0	41.0	17.2	10.5	3.0
哲学科	163	1.8	1.2	25.8	42.3	20.9	6.7	1.2
法律専攻	1,199	2.3	4.9	26.4	42.0	14.2	8.1	2.1
法律専門職専攻	56	7.1	8.9	30.4	33.9	10.7	8.9	0.0
政治専攻	195	2.1	3.1	24.1	44.6	14.4	8.7	3.1
経済学科	743	5.2	5.9	33.1	36.6	11.0	6.2	1.9
経済ネットワーク学科	527	4.0	3.0	29.4	42.3	14.0	4.7	2.5
経営学科	375	5.9	5.9	26.4	38.4	18.4	4.3	0.8
神道文化学科	446	2.0	3.6	25.3	47.3	13.9	7.2	0.7
初等教育学科	489	0.0	1.4	17.0	57.9	17.8	5.3	0.6
健康体育学科	393	4.1	2.0	25.4	48.6	15.3	4.6	0.0
子ども支援学科	298	0.0	1.3	13.4	48.0	24.2	10.4	2.7

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(4年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科、哲学科における「学修あり(60分以上)」の割合が、30%を超え、他と比べて高くなっています。また、法律専門職専攻における「学修無し」の割合が10%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	340	3.5	5.3	25.6	39.4	13.8	7.9	4.4
中国文学科	73	4.1	2.7	35.6	26.0	16.4	13.7	1.4
外国語文化学科	154	4.5	8.4	29.9	39.0	13.6	3.2	1.3
史学科	327	5.5	3.4	29.1	40.1	13.5	6.7	1.8
哲学科	86	2.3	4.7	26.7	31.4	27.9	4.7	2.3
法律専攻	395	6.1	4.8	28.9	35.7	14.7	8.1	1.8
法律専門職専攻	26	11.5	3.8	11.5	46.2	19.2	3.8	3.8
政治専攻	68	4.4	7.4	35.3	35.3	14.7	2.9	0.0
経済学科	252	2.0	7.5	32.9	44.0	9.5	3.6	0.4
経済ネットワーク学科	191	7.9	5.2	31.4	38.7	13.6	3.1	0.0
経営学科	175	2.9	5.7	38.3	41.1	9.1	2.9	0.0
神道文化学科	317	8.2	2.5	23.0	43.2	13.6	7.3	2.2
初等教育学科	122	1.6	6.6	27.9	41.0	17.2	3.3	2.5
健康体育学科	119	0.0	4.2	39.5	43.7	6.7	5.0	0.8
子ども支援学科	81	1.2	2.5	33.3	40.7	8.6	12.3	1.2

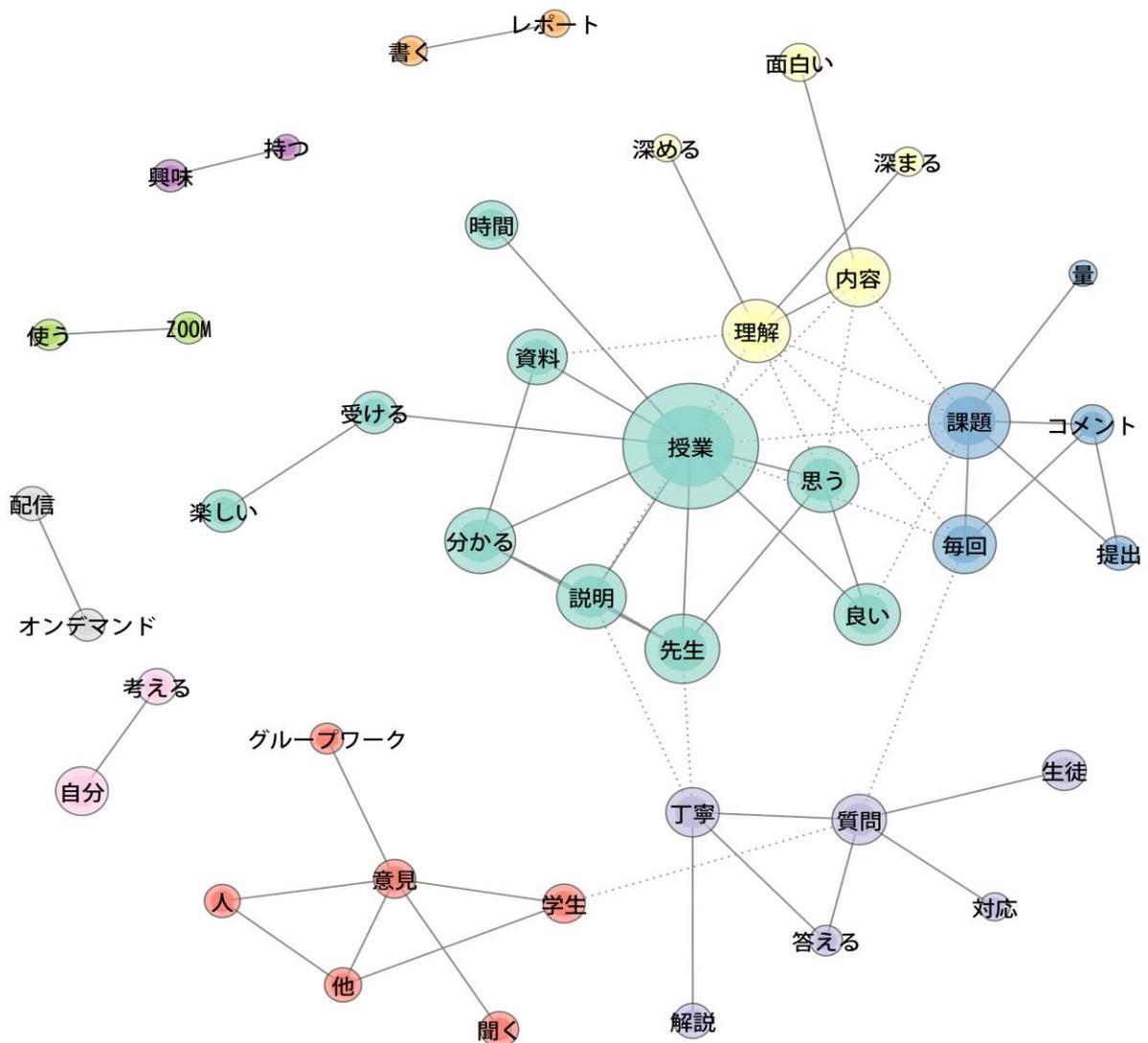
5. 自由記述設問の検討(前期)

5-1 肯定的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q20 この授業でとても良いと思ったこと】

- 下の図は、Q20「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語等を見ると「わかりやすい授業で、受けるのが楽しい」、「毎回の課題で理解が深まった」、「質問にも丁寧に対応」、「いろいろな人とグループワークできてコミュニケーションがとれた」といった意見が多く挙げられています。
- その他にも「オンデマンドと、ライブ配信の併用をしている」、「zoomの機能を使った授業が新鮮」といった遠隔授業ならではの意見もありました。

※KH Coderを用いて分析



5-2 代表的な肯定的意見

【Q20 この授業についてとても良いと思ったこと】

- ・ 下記は、Q20「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- ・ たくさんの意見が寄せられましたが「授業内容」、「課題」、「実施形態」、「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- ・ 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

予習課題・予習動画があることで、授業内容の理解がスムーズにできた
毎回の授業でやることが明確に記載されていた
例を挙げて細かく説明してくれたので、興味を持ちやすかった
臨機応変にツールを使って説明をしてくれた
情報や必要とされるスキルなどを習得できる良い授業だった

【課題について】

自分で調べるという課題形式については、勉強になるので良いと思った
提出課題にコメントをもらえるので、モチベーションを維持できた
練習問題があり、知識の定着に役立った

【実施形態について】

録画配信のアップロードが早く、見逃した部分や分かりにくかった部分をすぐに見直せた
対面とほぼ変わらない質の授業を受けられた
録画動画や課題提出フォームをまとめて掲示いただいたので、自分のペースで進められた
優秀フォルダを設けてくれたため、他受講者のレポートを読むことができ刺激になった
ペアワークのおかげで遠隔授業でも友達ができた

【教員について】

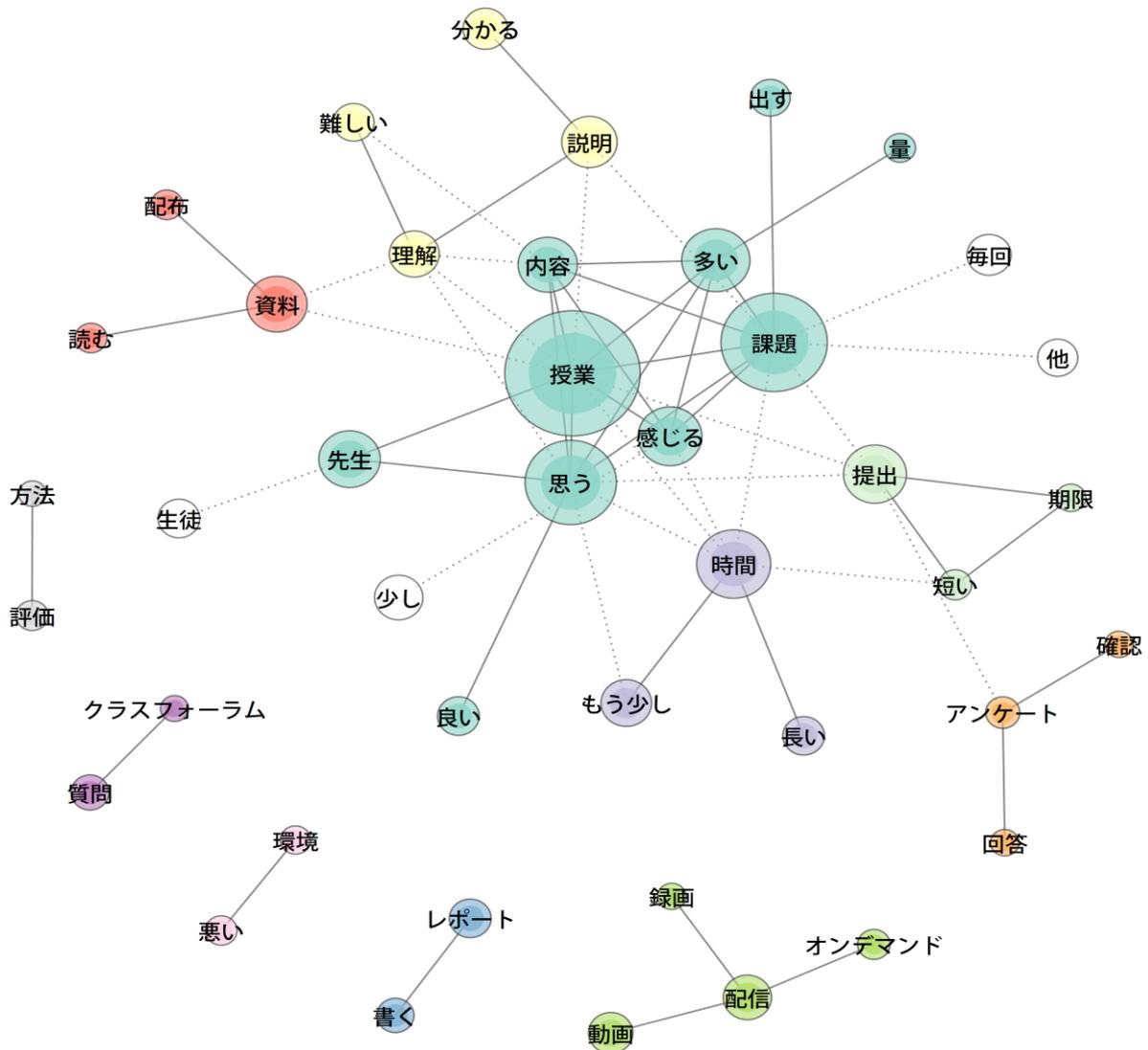
違った部分を指摘や参考文献を掲示などとても丁寧に見てくれた
現状で困っていることなど、学生の生の声を親身になって聞いてくださった
話も面白く、配信用に授業時間を工夫してくれた

5-3 消極的意見に見られた頻出語と共起関係

【Q21 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- 下の図は、Q21「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」についてテキスト分析を行い、その自由記述の中に見られた頻出語の共起関係を示したものです。
- 図の共起関係や頻出単語等を見ると「課題が多かったように感じる」、「もう少し授業時間を長くし、より深く学べたらよかった」、「資料配布が不十分」、「レジュメだけで理解することは難しい」、「動画を配信してほしい」、「アンケート機能の課題提出だと、回答の確認ができない」といった意見が多く挙げられています。

※KH Coderを用いて分析



5-4 代表的な消極的意見

【Q21 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- ・ 下記は、Q21「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- ・ たくさんの意見が寄せられましたが「教員」、「授業内容」、「学生」、「実施形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- ・ 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

環境が整っていなかったり、ネットワークが不安定な生徒への配慮がないと感じた
顔を一度も見たことがないので、心が開けず、質問したいことがあっても出来なかった
良い先生と良くない先生の差がひどかった。
授業中の発言やクラスフォーラムでの書き込みが高圧的だった
お知らせや課題に関する情報が急に出されて、学生同士混乱することもあった

【授業内容について】

学生との対話がなく、深い学びが出来なかった
全回授業をアンケートで済まされた
話を聞いているだけの授業でつまらなかった
話が整理されていなくて全体的に分かりづらかった

【学生について】

zoomでミュートにせず雑音を流す学生がいた
話し合いの際に参加しない学生が数名いた
オンデマンド授業だったので、受けている学生は受動的になりがちだった

【実施形態について】

対面授業で受講したらもっと楽しいと思うので、機会を作って欲しい
毎回課題もあるのに、一回の授業時間が長い
オンライン授業への対応ができておらず、ほぼ毎回の授業で何かしらの問題が発生していた
問題を解いて送るだけだったのが少々残念だった

6. 後期集計結果

6-1 設問別集計(開講科目の所属別に集計)

Q1 この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。

■ 対面のみ ■ 対面・遠隔 ■ ライブ配信 ■ オンデマンド ■ 併用 ■ K-SMAPY II + 課題

	n=	(%)					
学士課程全体	18,753	2.5	6.8	42.4	22.4	15.2	10.8
共通教育科目	5,111	2.3	4.3	49.0	18.3	10.9	15.2
専門教育科目	12,741	2.6	7.5	39.9	24.7	16.9	8.5
文学部(専門)	4,242	1.2	4.1	45.4	20.6	13.4	15.2
法学部(専門)	2,671	0.3	3.1	26.4	39.2	24.4	6.6
経済学部(専門)	2,127	1.7	5.1	42.2	28.7	19.9	2.4
神道文化学部(専門)	1,240	0.8	12.7	41.4	24.7	19.4	1.0
人間開発学部(専門)	2,461	9.2	17.3	42.3	12.6	10.8	7.8
教職・資格課程科目	901	2.7	11.2	39.7	13.9	14.5	18.0

Q2 この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。

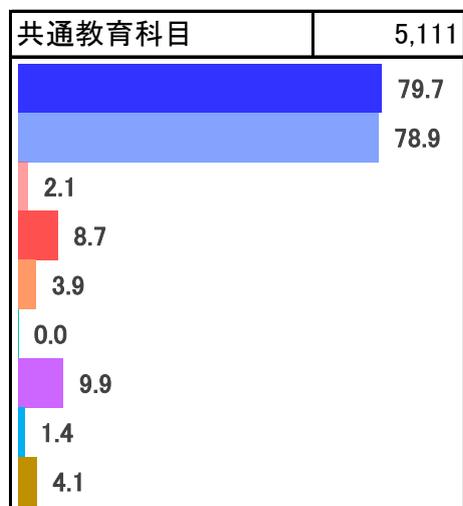
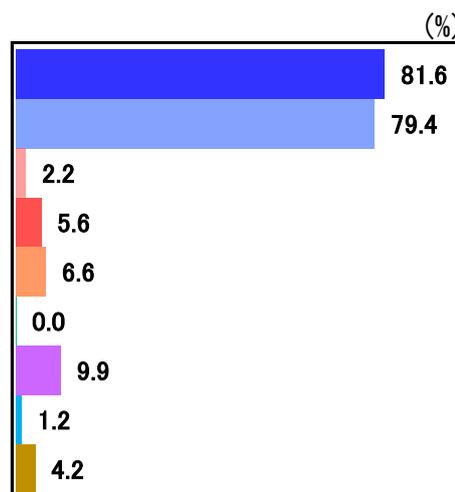
■ 自宅 ■ 大学(一般教室) ■ 大学(PC教室) ■ Wi-Fi環境のある商業施設 ■ その他

	n=	(%)				
学士課程全体	18,753	93.1	4.8	0.5	0.4	1.3
共通教育科目	5,111	95.2	3.1	0.2	0.3	1.3
専門教育科目	12,741	92.5	5.2	0.6	0.4	1.3
文学部(専門)	4,242	96.6	2.4	0.3	0.4	0.4
法学部(専門)	2,671	98.6	0.4	0.0	0.7	0.3
経済学部(専門)	2,127	97.2	0.7	1.5	0.3	0.4
神道文化学部(専門)	1,240	95.0	3.5	0.5	0.3	0.7
人間開発学部(専門)	2,461	73.4	20.1	1.0	0.4	5.1
教職・資格課程科目	901	91.0	7.9	0.4	0.2	0.4

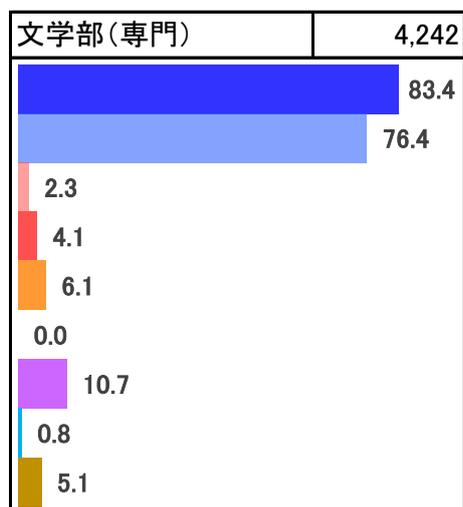
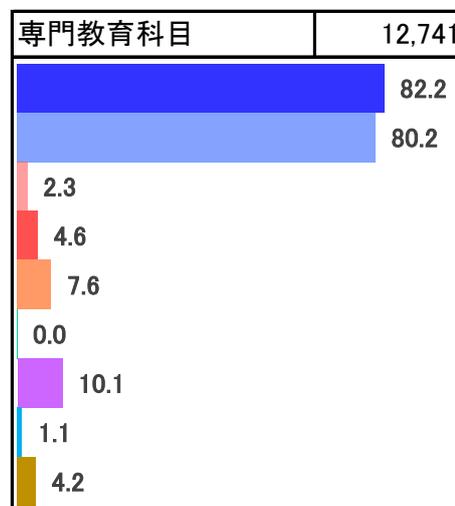
Q3 この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。

	n=
学士課程全体	18,753

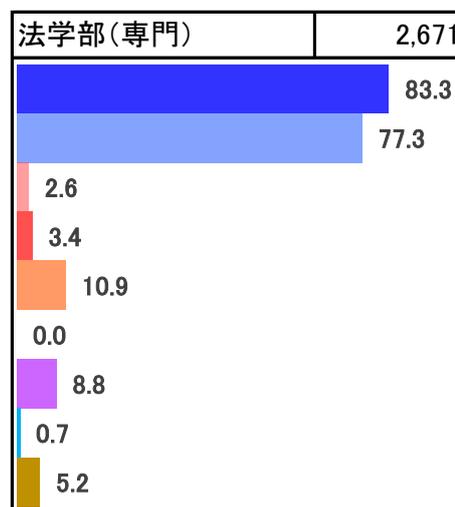
- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

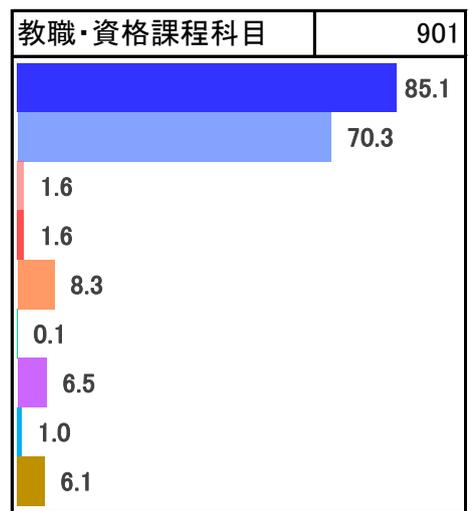
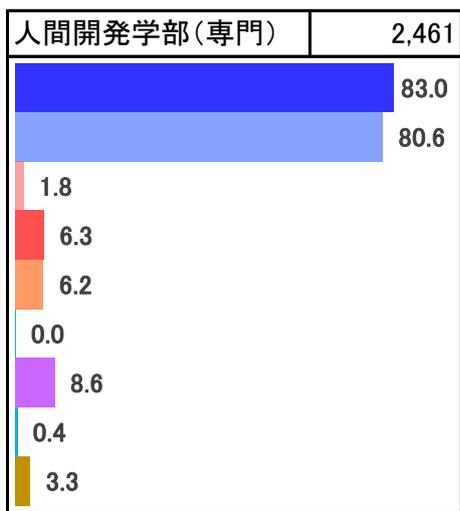
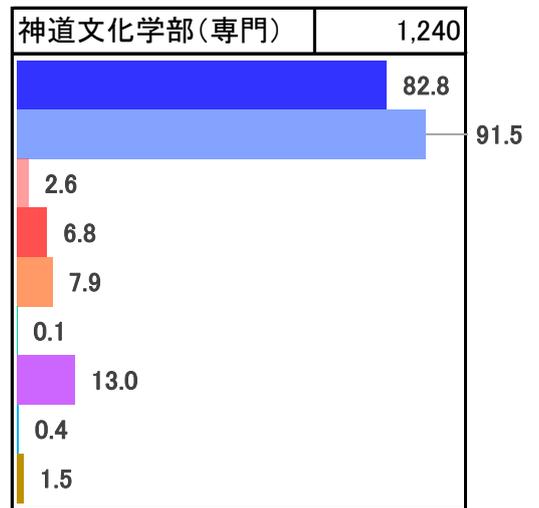
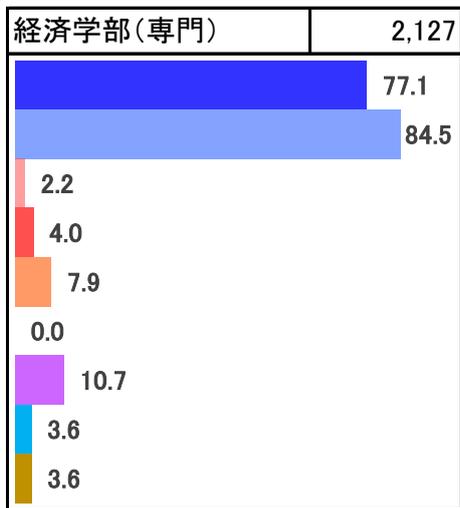


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

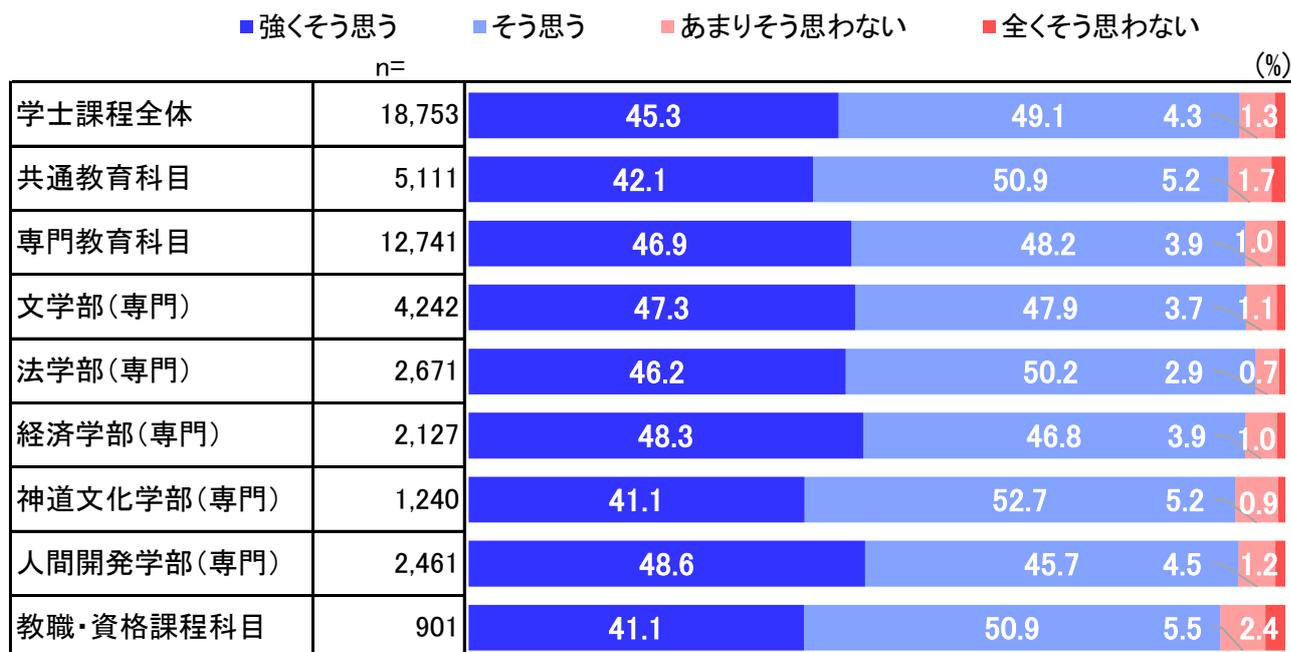


- K-SMAPY II
- ZOOM
- MicrosoftTeams
- Google
- YouTube
- Skype
- メール
- LINE
- その他

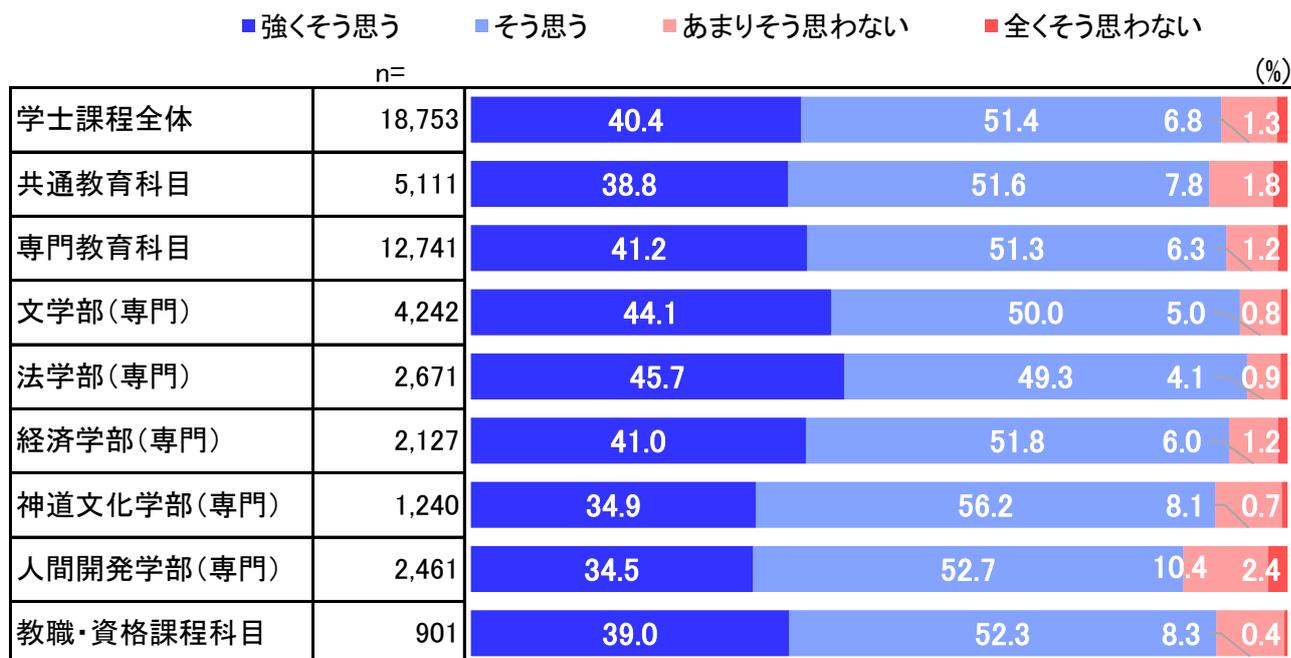




Q4 この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。

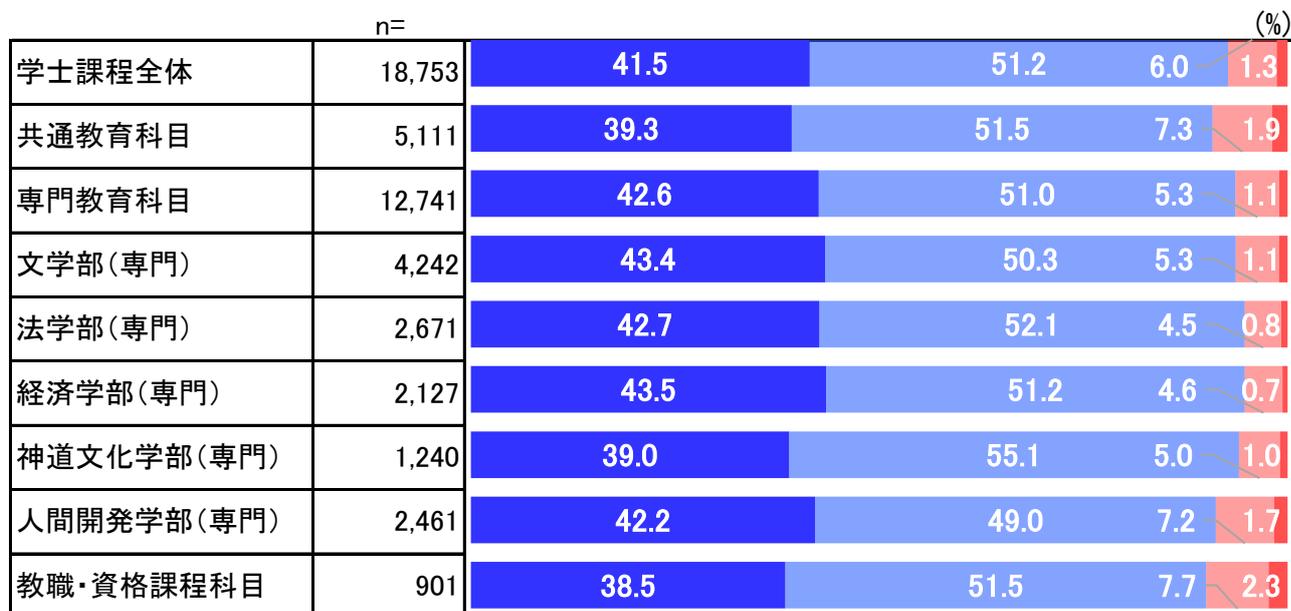


Q5 あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。



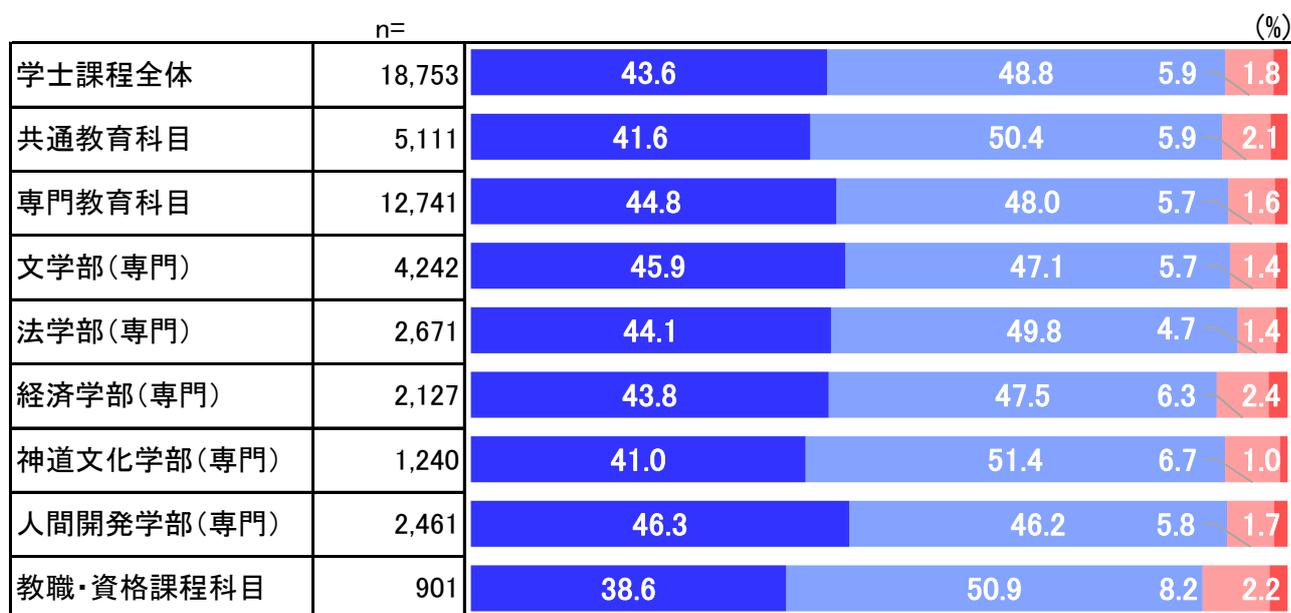
Q6 教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q7 教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q8 授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	16,735	43.4	47.8	7.0	1.9
共通教育科目	4,333	41.5	49.5	7.2	1.9
専門教育科目	11,663	44.3	47.0	6.8	1.8
文学部(専門)	3,596	47.6	45.2	6.0	1.2
法学部(専門)	2,496	42.5	49.3	6.5	1.6
経済学部(専門)	2,075	41.8	47.6	7.2	3.3
神道文化学部(専門)	1,227	41.3	49.8	6.8	2.1
人間開発学部(専門)	2,269	44.9	45.4	8.3	1.4
教職・資格課程科目	739	39.5	49.8	8.4	2.3

※Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

Q9 教員が提供した教材(スライド・レジюмеなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	44.2	47.5	6.3	2.0
共通教育科目	5,111	39.5	49.1	8.3	3.1
専門教育科目	12,741	46.3	46.8	5.3	1.6
文学部(専門)	4,242	48.9	44.6	5.0	1.5
法学部(専門)	2,671	46.2	47.2	5.2	1.4
経済学部(専門)	2,127	43.6	48.2	6.0	2.1
神道文化学部(専門)	1,240	44.1	49.9	4.4	1.6
人間開発学部(専門)	83	45.4	47.2	6.0	1.4
教職・資格課程科目	901	40.1	49.1	8.9	2.0

Q10 教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	43.0	49.0	6.3	1.7
共通教育科目	5,111	43.6	49.0	5.6	1.9
専門教育科目	12,741	43.4	48.7	6.4	1.6
文学部(専門)	4,242	42.5	47.9	7.5	2.1
法学部(専門)	2,671	45.4	48.4	4.9	1.3
経済学部(専門)	2,127	42.3	49.3	6.5	1.9
神道文化学部(専門)	1,240	41.6	51.2	6.1	1.0
人間開発学部(専門)	2,461	44.5	48.6	6.0	1.0
教職・資格課程科目	901	35.3	53.5	8.5	2.7

Q11 教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	39.3	44.3	12.4	4.0
共通教育科目	5,111	37.9	44.8	12.8	4.5
専門教育科目	12,741	39.8	44.2	12.2	3.8
文学部(専門)	4,242	43.9	40.6	11.8	3.7
法学部(専門)	2,671	36.5	46.8	13.4	3.4
経済学部(専門)	2,127	37.4	47.4	11.0	4.2
神道文化学部(専門)	1,240	37.6	47.7	12.3	2.4
人間開発学部(専門)	2,461	39.5	42.8	12.7	5.0
教職・資格課程科目	901	39.4	44.0	12.1	4.6

Q12 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

- ライブorオンデマンド配信なし
- 30分未満
- 30分以上～40分未満
- 40分以上～50分未満
- 50分以上～60分未満
- 60分以上～75分未満
- 75分以上

	n=	(%)						
学士課程全体	18,753	8.8	2.8	7.0	8.8	13.4	23.1	36.1
共通教育科目	5,111	12.2	2.7	12.1	12.1	11.1	20.5	29.2
専門教育科目	12,741	7.0	2.9	5.2	7.8	14.2	23.9	38.9
文学部(専門)	4,242	10.7	2.2	4.1	6.6	12.5	24.0	39.8
法学部(専門)	2,671	4.3	4.1	5.2	9.8	16.4	24.3	35.9
経済学部(専門)	2,127	3.2	3.5	9.5	10.5	15.4	19.4	38.4
神道文化学部(専門)	1,240	1.5	2.6	3.0	4.7	15.5	26.4	46.5
人間開発学部(専門)	2,461	9.7	2.4	4.6	6.8	13.2	26.0	37.4
教職・資格課程科目	901	14.5	2.9	3.4	3.6	15.1	26.6	33.9

Q13 この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。

- ちょうどよい
- やや長い、やや短い
- 長すぎる、短すぎる

	n=	(%)		
学士課程全体	16,735	70.0	24.7	5.3
共通教育科目	4,333	72.7	23.0	4.3
専門教育科目	11,663	68.7	25.5	5.7
文学部(専門)	3,596	73.2	22.6	4.2
法学部(専門)	2,496	68.0	26.0	6.0
経済学部(専門)	2,075	65.3	27.9	6.8
神道文化学部(専門)	1,227	67.9	26.5	5.6
人間開発学部(専門)	2,269	66.0	27.1	6.9
教職・資格課程科目	739	73.6	21.4	5.0

※Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

Q14 この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。

■ちょうどよい ■ やや多い、やや少ない ■ 多すぎる、少なすぎる

	n=	(%)		
学士課程全体	18,753	81.4	14.9	3.8
共通教育科目	5,111	80.8	15.6	3.6
専門教育科目	12,741	81.6	14.6	3.8
文学部(専門)	4,242	85.7	11.8	2.5
法学部(専門)	2,671	80.7	15.2	4.0
経済学部(専門)	2,127	76.0	18.1	5.8
神道文化学部(専門)	1,240	85.2	12.7	2.0
人間開発学部(専門)	2,461	78.4	16.6	5.0
教職・資格課程科目	901	81.2	14.4	4.3

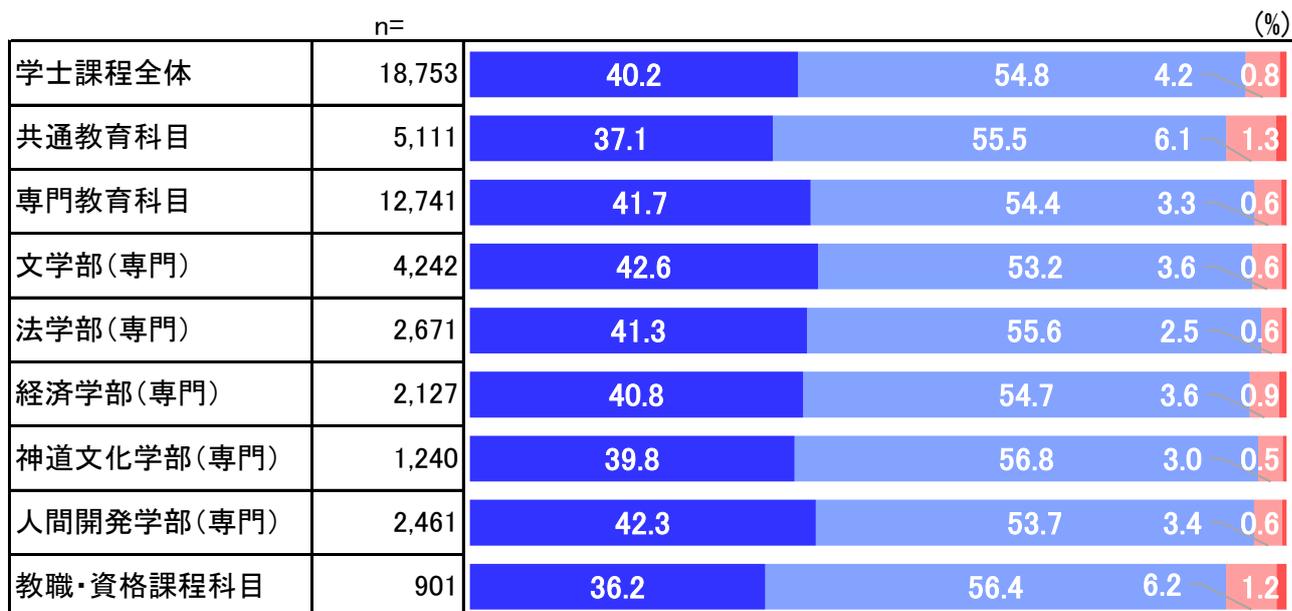
Q15 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。

■強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	38.8	55.8	4.6	0.9
共通教育科目	5,111	36.0	56.5	6.2	1.3
専門教育科目	12,741	40.2	55.3	3.7	0.8
文学部(専門)	4,242	39.5	55.2	4.4	0.8
法学部(専門)	2,671	41.1	56.3	1.8	0.7
経済学部(専門)	2,127	38.9	55.3	4.7	1.0
神道文化学部(専門)	1,240	37.9	58.5	3.0	0.6
人間開発学部(専門)	2,461	42.4	53.0	4.2	0.4
教職・資格課程科目	901	34.9	57.5	6.5	1.1

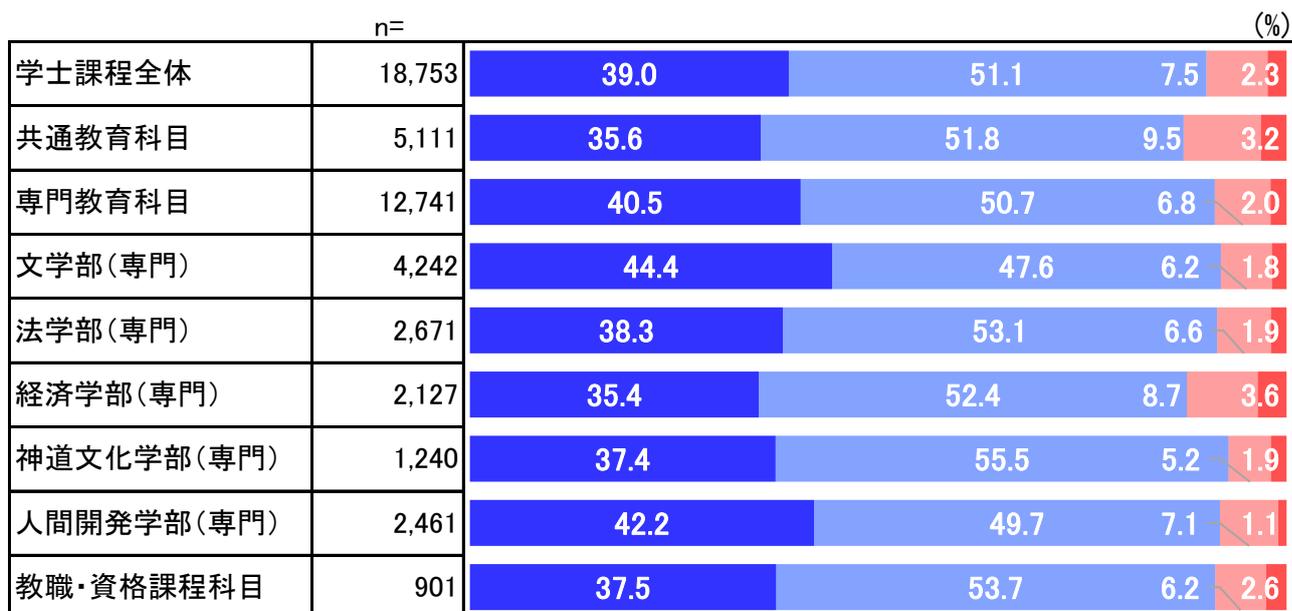
Q16 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q17 この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。

■ 強くそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



Q19 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。

■強く思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	24.3	64.8	9.3	1.6
共通教育科目	5,111	24.3	63.3	10.4	2.0
専門教育科目	12,741	24.4	65.4	8.8	1.4
文学部(専門)	4,242	23.4	66.4	8.8	1.4
法学部(専門)	2,671	24.9	65.9	8.0	1.3
経済学部(専門)	2,127	24.0	63.5	10.2	2.3
神道文化学部(専門)	1,240	22.7	64.8	11.5	1.0
人間開発学部(専門)	2,461	26.9	65.1	7.2	0.8
教職・資格課程科目	901	23.5	64.0	10.5	1.9

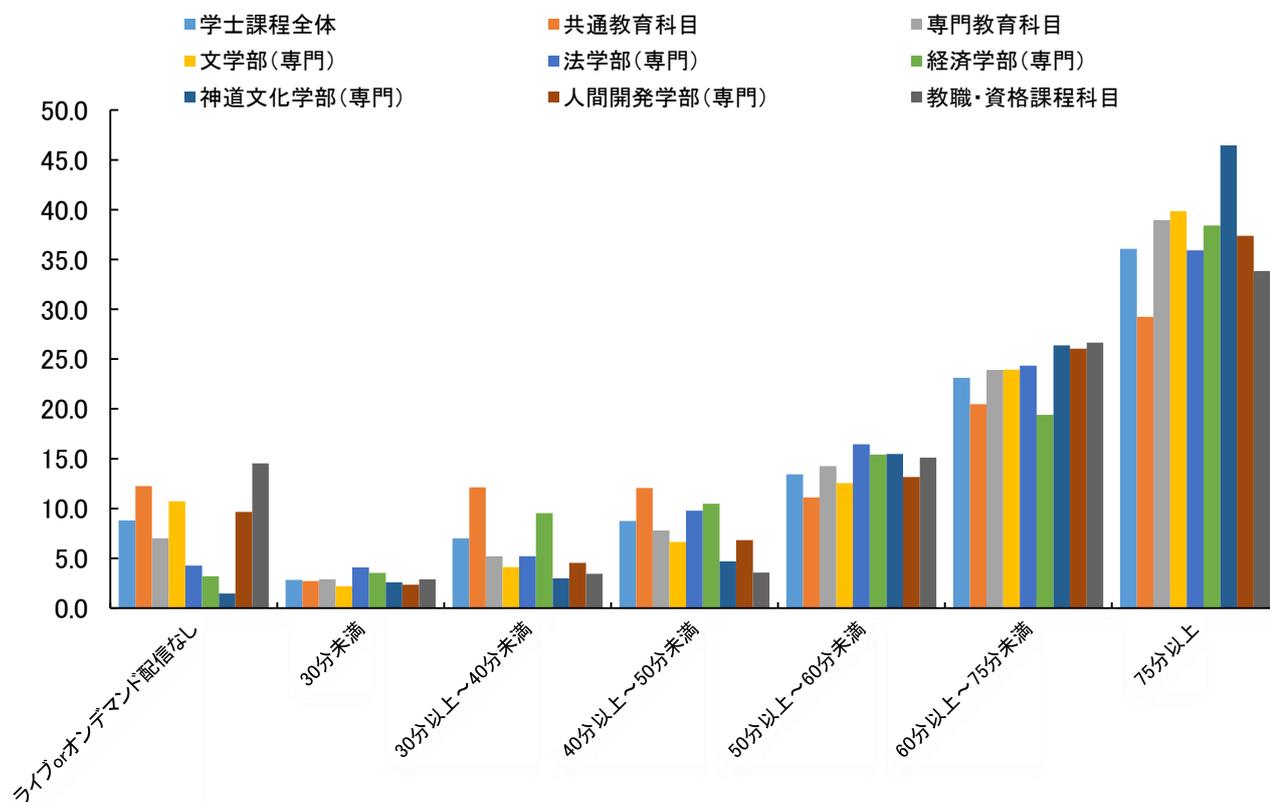
Q20 あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。

■強く思う ■そう思う ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

	n=	(%)			
学士課程全体	18,753	40.9	50.4	6.4	2.4
共通教育科目	5,111	39.1	50.4	7.4	3.2
専門教育科目	12,741	41.7	50.3	5.9	2.0
文学部(専門)	4,242	45.1	48.0	5.2	1.8
法学部(専門)	2,671	40.0	52.5	5.6	1.9
経済学部(専門)	2,127	37.5	51.0	8.2	3.2
神道文化学部(専門)	1,240	39.5	53.5	5.2	1.8
人間開発学部(専門)	2,461	42.6	49.7	6.0	1.7
教職・資格課程科目	901	38.4	51.8	7.2	2.6

Q12 この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。

	ライブ orオン デマ ン ド配 信 な し	30分未 満	30分以 上～40 分未 満	40分以 上～50 分未 満	50分以 上～60 分未 満	60分以 上～75 分未 満	75分以 上
学士課程全体	8.8	2.8	7.0	8.8	13.4	23.1	36.1
共通教育科目	12.2	2.7	12.1	12.1	11.1	20.5	29.2
専門教育科目	7.0	2.9	5.2	7.8	14.2	23.9	38.9
文学部(専門)	10.7	2.2	4.1	6.6	12.5	24.0	39.8
法学部(専門)	4.3	4.1	5.2	9.8	16.4	24.3	35.9
経済学部(専門)	3.2	3.5	9.5	10.5	15.4	19.4	38.4
神道文化学部(専門)	1.5	2.6	3.0	4.7	15.5	26.4	46.5
人間開発学部(専門)	9.7	2.4	4.6	6.8	13.2	26.0	37.4
教職・資格課程科目	14.5	2.9	3.4	3.6	15.1	26.6	33.9



動画配信時間

●集計結果の総評

- それぞれの設問について、授業科目の区分に従い、3つの区分で回答を集計しました。集計区分は、(1)学士課程全体(全回答)、(2)共通教育科目等と専門教育科目と教職・資格課程科目、(3)学部別に見た専門教育科目、です。以下で各設問の結果をまとめます。
- Q1は、「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」です。ハイブリッド型授業を含む遠隔授業の回答割合は、学士課程全体で97.6%で、ほとんどの授業で遠隔授業が実施されています。「対面のみ」で授業を実施している割合は、神道文化学部が9.2%で、他学部と比べ、対面授業のみでの実施割合が高い傾向となっています。
- Q2は、「この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください」です。学士課程全体では、「自宅」が93.1%でもっとも高い結果となりました。また、人間開発学部では、「自宅」が73.4%で、他学部と比べて回答割合が低い傾向となっています。
- Q3は、「この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください」です。全集計区分において、K-SMAPY II およびZOOMの利用が大半を占めており、学士課程全体では前者が81.6%、後者が79.4%でした。専門教育科目の中でも神道文化学部は、ZOOM利用が9割以上で、他の学部と比べ高くなっています。
- Q4は、「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」です。肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計。以下、同様の記述)は学士課程全体で94.4%でした。学部別にみると、文学部で95.2%、法学部で96.4%、経済学部で95.1%、神道文化学部で93.8%、人間開発学部で94.3%となり、法学部はほかの学部と比べやや高く、人間開発学部では他の学部と比べ低くなっています。
- Q5は、「あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.8%でした。学部別では、人間開発学部で肯定回答が9割を下回っており、他の学部と比べやや低い傾向となっています。
- Q6は、「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.7%でした。学部別では、共通教育科目等及び教職・資格課程科目は専門教育科目に比べ、肯定回答の割合が低くなっています。専門教育科目の中でも神道文化学部の「強くそう思う」の回答の割合は39.0%と他の学部と比べ、低くなっています。

- ・ Q7は、「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.4%でした。学部別では経済学部の肯定回答の割合が他の学部と比べて、やや低くなっています。
- ・ Q8は、「授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.2%でした。教職・資格課程科目を除く全ての集計区分で肯定回答の割合が9割を上回る結果となっています。
- ・ Q9は、「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.7%でした。学部別では、共通教育科目及び教職・資格課程科目を除く全ての集計区分で肯定回答が9割を上回る結果となっています。
- ・ Q10は、「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で92.0%でした。また、他の全ての集計区分で、肯定回答が8割を上回る結果となっています。学部別では、文学部で90.4%、法学部で93.8%、経済学部で91.6%、神道文化学部で92.8%、人間開発学部で93.1%という結果となっています。
- ・ Q11は、「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答などを積極的に行っていましたか)です。肯定回答は、学士課程全体で83.6%でした。学部別では、神道文化学部の肯定回答割合が85.3%でもっとも高い結果となっています。
- ・ Q12は、「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」です。「学修あり(60分以上)」の回答は、学士課程全体で72.6%でした。学部別では、神道文化学部の「学修あり(60分以上)」の回答の割合が88.4%と他に比べ高い結果となっています。
- ・ Q13は、「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答の割合は、学士課程全体で70.0%でした。学部別では、共通教育科目、文学部、教職・資格課程科目で7割を上回る結果となっています。

- ・ Q14は、「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」です。「ちょうどよい」の回答は、学士課程全体で81.4%でした。学部別では、経済学部、人間開発学部で「ちょうどよい」の回答割合が8割を下回る結果となっています。
- ・ Q15は、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で94.6%でした。全ての集計区分で肯定回答の割合が9割を上回る結果となっています。
- ・ Q16は、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていきましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で95%でした。全ての集計区分で肯定回答の割合が9割を上回る結果となっています。
- ・ Q17は、「この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか」です。肯定回答は、学士課程全体で90.1%でした。学部別では、共通教育科目、経済学部で肯定回答の割合が8割を下回る結果となっています。
- ・ Q19は、「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で89.1%でした。学部別では、法学部、人間開発学部で肯定回答の割合が9割を上回る結果となっています。
- ・ Q20は、「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」です。肯定回答は、学士課程全体で91.3%でした。学部別では、共通教育科目、経済学部を除く全ての集計区分で肯定回答の割合が9割を上回る結果となっています。

- ・ 以上、各設問について集計結果から明らかになったことを簡潔に整理しました。令和2年度後期の授業評価アンケートの集計結果によれば、本学の授業は概ね肯定回答が多くを占める傾向にありました。
- ・ 概ね肯定回答の割合が多くを占めた中で、全ての集計区分で肯定回答が8割を下回った設問は、ありませんでした。また、学士課程全体で否定回答が1割を上回った設問はQ11「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)積極的に行っていましたか」、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」です。

7. 考察(1)設問間のクロス表分析(後期)

7-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

1. 授業形態ごとに見る学生の到達目標達成度・総合満足度(Q1×Q19・20)

【全体】

- 下の図は、学士課程全体の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、88.9%以上が到達目標を達成したと認識し、91.6%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は82.2%、後者は83.0%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は92.4%、後者は95.1%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期より全体的に肯定割合が増加しています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	474	92.4	7.6
		95.1	4.9
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	1,271	90.6	9.4
		94.1	5.9
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	7,943	89.7	10.3
		91.6	8.4
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	4,205	90.4	9.6
		93.0	7.0
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	2,842	88.9	11.1
		91.7	8.3
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	2,018	82.2	17.8
		83.0	17.0

【文学部】

- 下の図は、文学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.3%以上が到達目標を達成したと認識し、91.5%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は85.3%、後者は86.7%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は88.0%、後者は89.2%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、対面授業の再開や教員の創意工夫により、前期より肯定割合が増加しています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	83	88.0	12.0
		89.2	10.8
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	307	87.3	12.7
		91.5	8.5
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	3,369	88.6	11.4
		92.0	8.0
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,468	90.2	9.8
		93.6	6.4
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	1,027	90.7	9.3
		93.1	6.9
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	1,017	85.3	14.7
		86.7	13.3

【法学部】

- 下の図は、法学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、91.3%以上が到達目標を達成したと認識し、93.4%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者後者ともに82.7%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は88.2%、後者は100%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期より全体的に肯定割合が増加しています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	17	88.2	11.8
		100.0	0.0
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	125	95.2	4.8
		94.4	5.6
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	970	93.6	6.4
		94.2	5.8
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,009	91.3	8.7
		93.4	6.6
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	718	91.6	8.4
		93.9	6.1
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	358	82.7	17.3
		82.7	17.3

【経済学部】

- 下の図は、経済学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、84.6%以上が到達目標を達成したと認識し、86.0%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は80.3%、後者は82.0%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は74.0%、後者は86.0%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期とは大きな違いはありませんでした。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	50	74.0	26.0
		86.0	14.0
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	143	84.6	15.4
		86.0	14.0
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	1,458	89.5	10.5
		89.4	10.6
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	942	88.3	11.7
		90.0	10.0
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	491	84.9	15.1
		87.6	12.4
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	183	80.3	19.7
		82.0	18.0

【神道文化学部】

- 下の図は、神道文化学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、82.4%以上が到達目標を達成したと認識し、89.4%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は63.7%、後者は69.4%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は74.0%、後者は86.0%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、資料配布と課題提出のみににおいては前期よりも肯定割合が減少しています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	14	92.9	7.1
		92.9	7.1
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	162	87.7	12.3
		96.9	3.1
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	743	88.4	11.6
		92.7	7.3
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	350	88.3	11.7
		94.3	5.7
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	301	82.4	17.6
		89.4	10.6
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	157	63.7	36.3
		69.4	30.6

【人間開発学部】

- 下の図は、人間開発学部の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、90.6%以上が到達目標を達成したと認識し、90.2%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は81.8%、後者は78.5%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は96.8%、後者は98.1%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期とは大きな違いはありませんでした。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	310	96.8	3.2
		98.1	1.9
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	526	93.9	6.1
		96.8	3.2
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	1,388	90.8	9.2
		90.2	9.8
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	428	95.3	4.7
		95.6	4.4
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	288	90.6	9.4
		91.7	8.3
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	302	81.8	18.2
		78.5	21.5

【1年生】

- 下の図は、1年生の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、89.7%以上が到達目標を達成したと認識し、91.8%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は80.2%、後者は81.5%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は90.8%、後者は95.6%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期とは大きな違いはありませんでした。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	250	90.8	9.2
		95.6	4.4
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	536	90.1	9.9
		93.5	6.5
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	4,393	89.7	10.3
		91.8	8.2
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,859	90.8	9.2
		93.8	6.2
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	1,497	90.6	9.4
		93.2	6.8
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	837	80.2	19.8
		81.5	18.5

【2年生】

- 下の図は、2年生の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、85.7%以上が到達目標を達成したと認識し、88.5%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者後者ともに83.6%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は96.7%、後者は98.4%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期とは大きな違いはありませんでした。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	123	96.7	3.3
		98.4	1.6
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	348	89.1	10.9
		94.0	6.0
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	1,942	89.3	10.7
		89.9	10.1
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	1,268	89.7	10.3
		92.1	7.9
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	740	85.7	14.3
		88.5	11.5
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	592	83.6	16.4
		83.6	16.4

【3年生】

- 下の図は、3年生の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、87.5%以上が到達目標を達成したと認識し、91.6%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は84.3%、後者は87.2%にとどまります。また「対面のみ」においては前者は87.0%、後者は85.2%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期より全体的に肯定割合が増加しています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	54	87.0	13.0
		85.2	14.8
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	245	92.2	7.8
		93.5	6.5
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	1,138	90.4	9.6
		93.1	6.9
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	835	90.4	9.6
		92.5	7.5
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	440	87.5	12.5
		91.6	8.4
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	439	84.3	15.7
		87.2	12.8

【4年生】

- 下の図は、4年生の学生回答について、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、配信を伴う実施形態の場合には、89.8%以上が到達目標を達成したと認識し、92.1%以上がこの授業を履修して良かったと感じたと答えています。一方で資料配布と課題提出のみの場合には、前者は81.3%、後者は76.7%にとどまります。また「対面のみ」においては前者後者ともに95.7%となりました。
- 上記のことから、視覚的・聴覚的な環境の整備により、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期より肯定割合が増加していますが、資料配布と課題提出のみにおいては満足度が減少しています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	(%)	
対面のみ	47	95.7	4.3
		95.7	4.3
対面・遠隔配信の併用 (ハイブリッド授業)	142	93.7	6.3
		97.9	2.1
遠隔のみ:ライブ配信 (リアルタイム)	470	89.8	10.2
		92.6	7.4
遠隔のみ:オンデマンド配信 (配信動画視聴)	243	90.9	9.1
		93.4	6.6
遠隔のみ:ライブ・オンデマンド 配信の併用	165	92.1	7.9
		92.1	7.9
遠隔のみ:K-SMAPY II + 課題 (資料配布と課題提出のみ)	150	81.3	18.7
		76.7	23.3

7-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

2. 遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応(Q12×Q13)

- 下の図は、Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」と、Q12「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「30分以上～40分未満」および「40分以上～50分未満」の授業において、ちょうどよいと回答した割合は80%超となっています。一方で「75分以上」の授業においては60%未満となっています。
- 上記のことから、特に動画配信時間が75分を超える授業では、内容の詰め込みすぎや進行速度に問題がないかの確認が必要と言えます。尚、前期より肯定割合が増加していますが、「40分以上～50分未満」においては肯定割合が若干減少しています。

■ ちょうどよい ■ やや長い、やや短い ■ 長すぎる、短すぎる

	n=	(%)		
ライブorオンデマンド配信なし	260	78.1	15.0	6.9
30分未満	418	77.3	17.9	4.8
30分以上～40分未満	1,182	85.4	12.9	1.7
40分以上～50分未満	1,536	85.6	12.5	1.9
50分以上～60分未満	2,415	83.8	14.7	1.5
60分以上～75分未満	4,231	74.2	23.5	2.3
75分以上	6,693	55.2	34.8	10.0

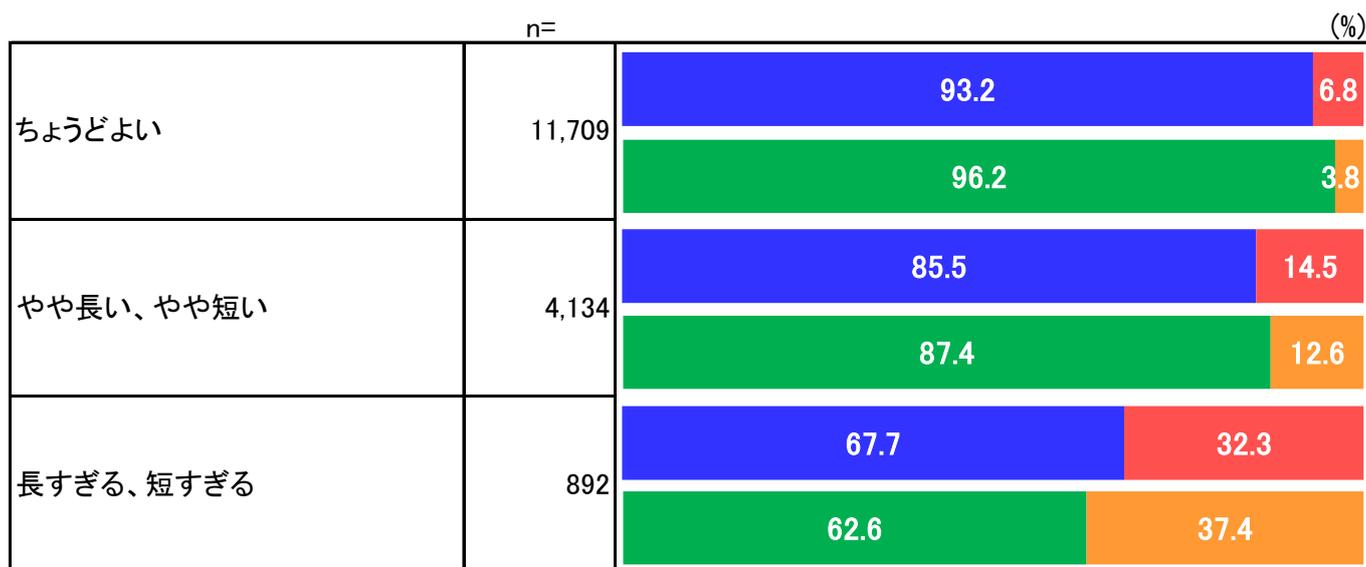
※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

7-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

3. 遠隔授業・動画配信の長さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q13×Q19・20)

- 下の図は、Q13「この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、93.2%が到達目標を達成したと認識、96.2%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合には、前者は67.7%、後者は62.6%にとどまります。
- 上記のことから、「遠隔授業・動画配信の長さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

7-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

4. 課題の量の多さが学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q14×Q19・20)

- 下の図は、Q14「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「ちょうどよい」と回答した場合には、91.5%が到達目標を達成したと認識、94.5%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合には、前者は63.7%、後者は57.5%にとどまります。
- 上記のことから、「課題の量の多さ」が適切であれば、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

	n=	91.5		8.5	
ちょうどよい	15,258	91.5		8.5	
		94.5		5.5	
やや多い、やや少ない	2,787	82.2		17.8	
		82.1		17.9	
多すぎる、少なすぎる	708	63.7		36.3	
		57.5		42.5	

7-1 オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について

5. 予復習・課題にかけた時間が学生の到達目標達成度・総合満足度に及ぼす影響(Q18×Q19・20)

- 下の図は、Q18「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「学修無し」、「10分未満」、「180分以上300分」の項目は、到達目標を達成していないと認識、この授業を履修して良かったと感じなかったと答えている割合が、他の項目と比べ多くなっています。
- 尚、前期と比べると、全ての項目で「到達目標を達成していないと認識」と「この授業を履修して良かったと感じなかった」の否定回答の割合が減っています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

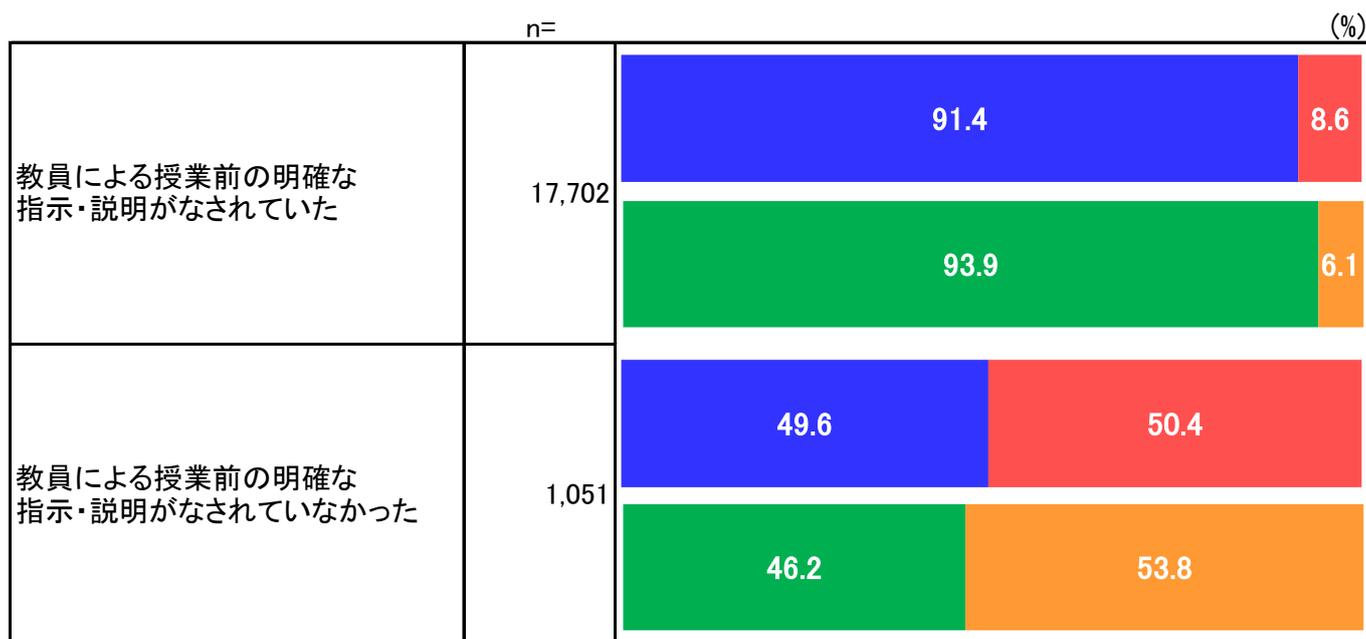
	n=	(%)	
学修無し	510	77.6	22.4
		82.4	17.6
10分未満	693	81.0	19.0
		86.1	13.9
10分以上 30分未満	4,640	88.5	11.5
		91.3	8.7
30分以上 60分未満	8,609	91.2	8.8
		93.0	7.0
60分以上 90分未満	2,734	89.8	10.2
		91.1	8.9
90分以上 180分未満	1,232	86.4	13.6
		87.7	12.3
180分以上 300分	335	80.3	19.7
		82.4	17.6

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

1. 教員による授業前の明確な指示・説明がなされていたか(Q4×Q19・20)

- 下の図は、Q4「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できましたか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業前の明確な指示・説明がなされていた」と回答した場合には、91.4%が到達目標を達成したと認識、93.9%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「教員による授業前の明確な指示・説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は49.6%、後者は46.2%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業前に明確な指示・説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

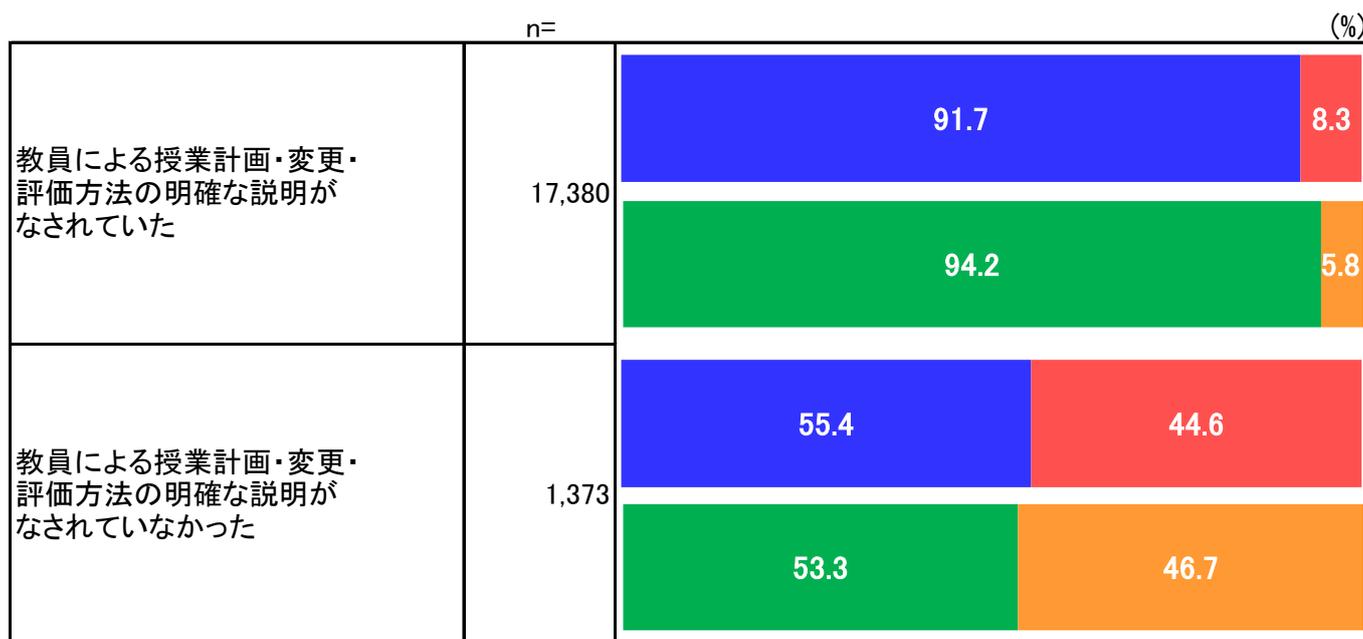


7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

2. 教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていたか(Q6×Q19・20)

- 下の図は、Q6「教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていた」と回答した場合には、91.7%が到達目標を達成したと認識、94.2%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明がなされていなかった」と回答した場合には、前者は55.4%、後者は53.3%にとどまります。
- 上記のことから、教員が授業計画・変更・評価方法の明確な説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

3. スムーズな授業運営ができていたかどうか(Q7×Q19・20)

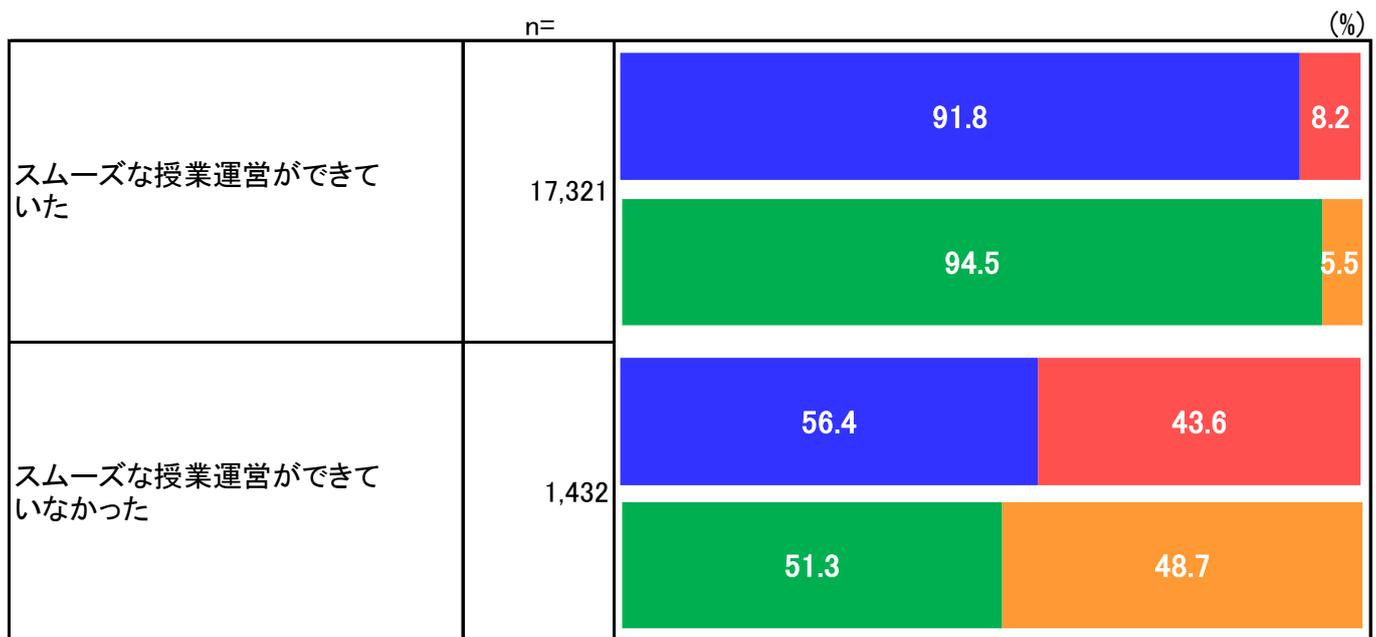
- 下の図は、Q7「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「スムーズな授業運営ができていた」と回答した場合には、91.8%が到達目標を達成したと認識、94.5%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「スムーズな授業運営ができていなかった」と回答した場合には、前者は56.4%、後者は51.3%にとどまります。
- 上記のことから、スムーズな授業運営を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

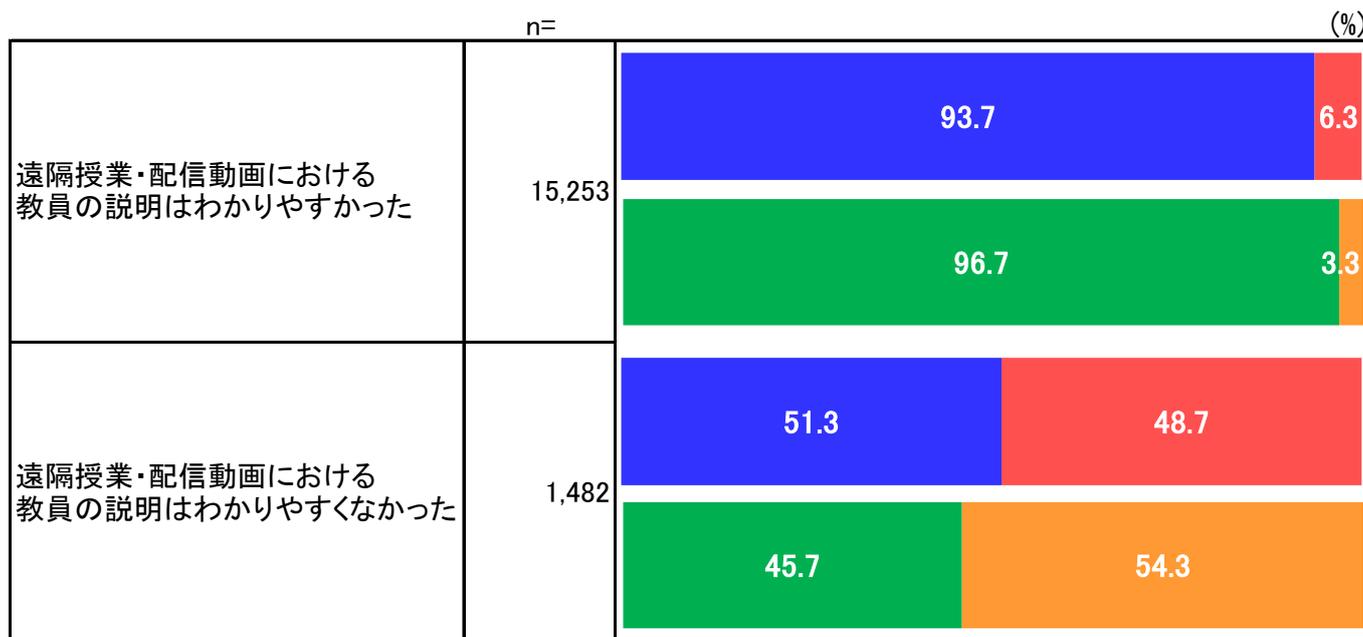


7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

4. 遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすかったかどうか(Q8×Q19・20)

- 下の図は、Q8「授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「遠隔授業・配信動画における教員の説明はわかりやすかった」と回答した場合には、93.7%が到達目標を達成したと認識、96.7%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「遠隔授業・配信動画における教員の説明はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は51.3%、後者は45.7%にとどまります。
- 上記のことから、教員がわかりやすい説明を行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

5. 教員が提供した教材・資料はわかりやすかったか(Q9×Q19・20)

- 下の図は、Q9「教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「教員が提供した教材・資料はわかりやすかった」と回答した場合には、92.6%が到達目標を達成したと認識、95.4%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「教員が提供した教材・資料はわかりやすくなかった」と回答した場合には、前者は50.0%、後者は45.0%にとどまります。
- 上記のことから、わかりやすい教材・資料を提供することにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

6. 課題や小テストによる理解の定着を図っていたか(Q10×Q19・20)

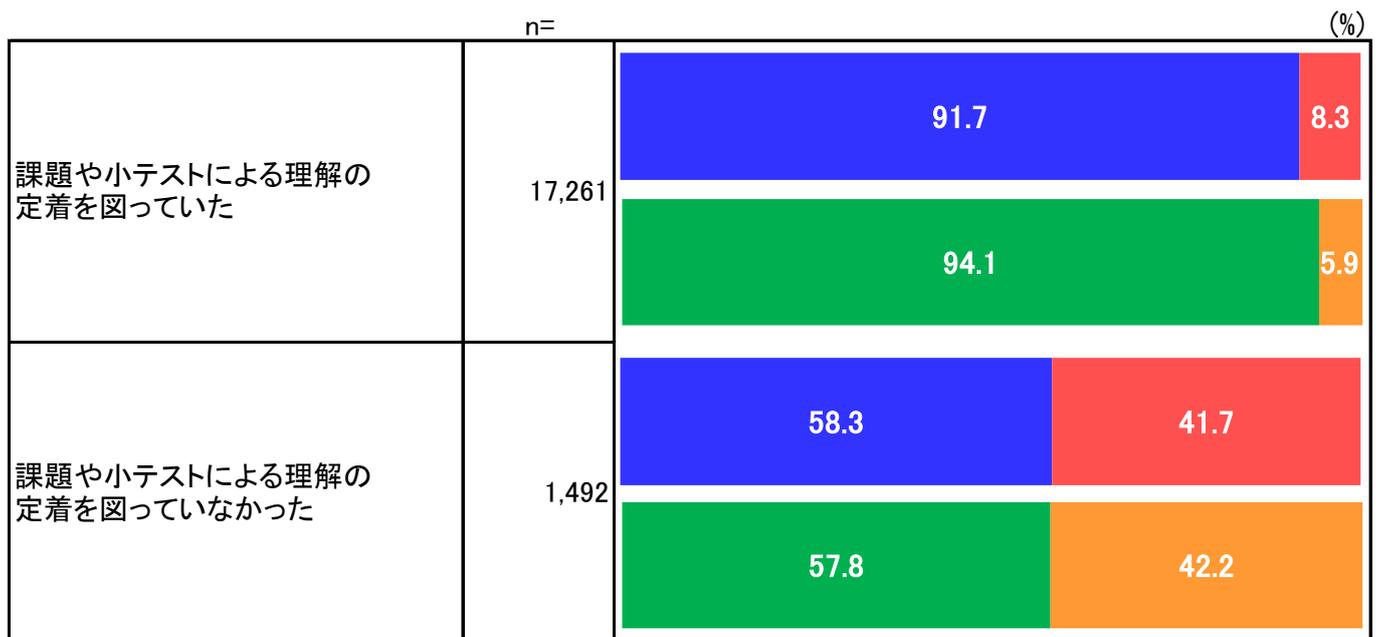
- 下の図は、Q10「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「課題や小テストによる理解の定着を図っていた」と回答した場合には、91.7%が到達目標を達成したと認識、94.1%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「課題や小テストによる理解の定着を図っていなかった」と回答した場合には、前者は58.3%、後者は57.8%にとどまります。
- 上記のことから、教員が課題や小テストによる理解の定着を図ることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

■ 学生は授業の到達目標を達成したと認識

■ 学生は授業の到達目標を達成していないと認識

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じた

■ 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

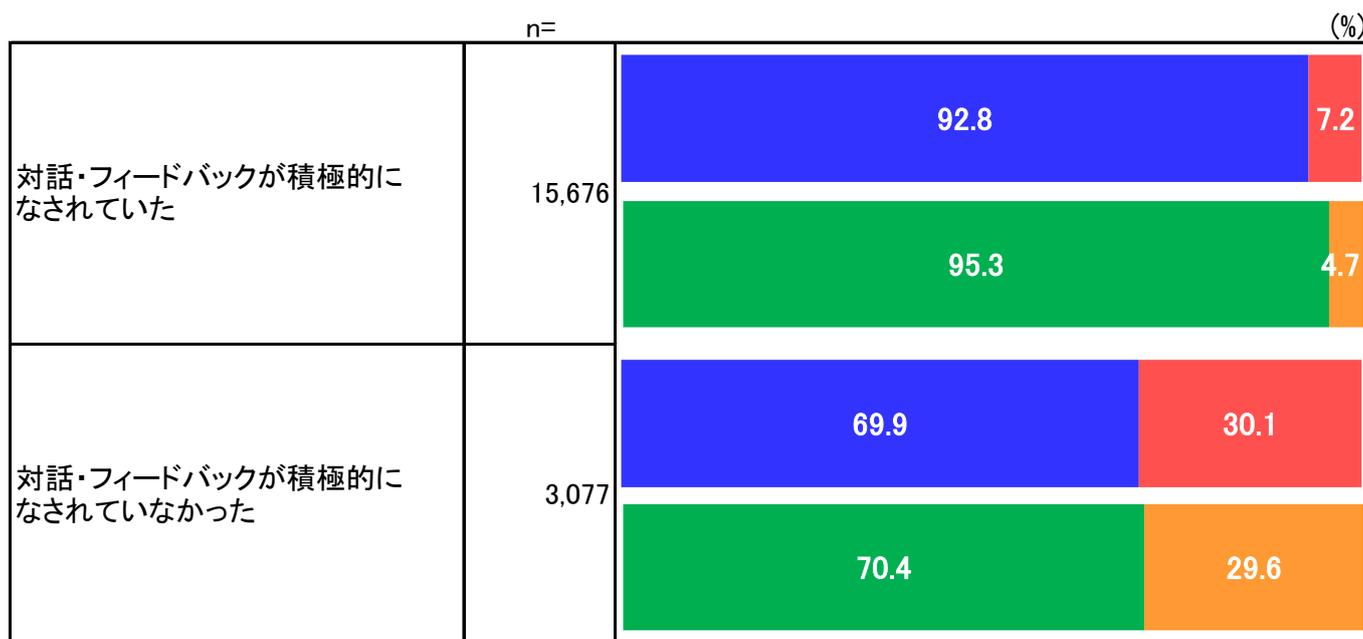


7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

7. 対話・フィードバックが積極的になされていたか(Q11×Q19・20)

- 下の図は、Q11「教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「対話・フィードバックが積極的になされていた」と回答した場合には、92.8%が到達目標を達成したと認識、95.3%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「対話・フィードバックが積極的になされていなかった」と回答した場合には、前者は69.9%、後者は70.4%にとどまります。
- 上記のことから、教員が対話・フィードバックを積極的に行うことにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

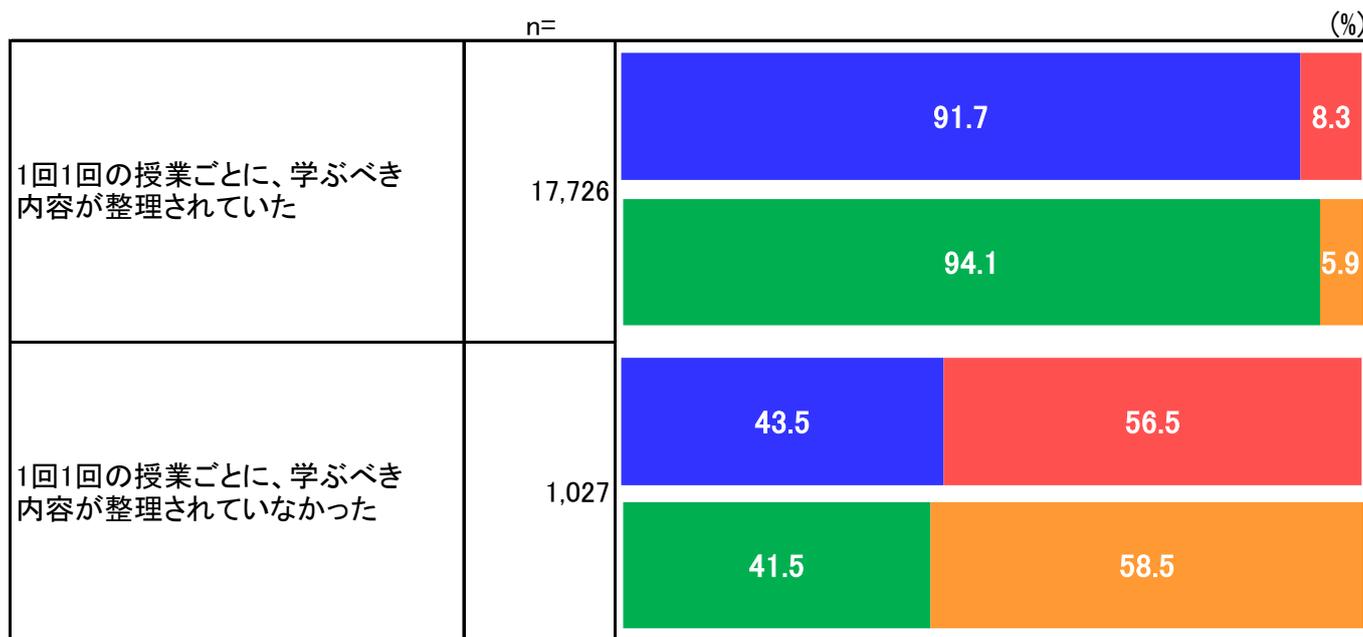


7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

8. 1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていたか(Q15×Q19・20)

- 下の図は、Q15「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容が整理されていた」と回答した場合には、91.7%が到達目標を達成したと認識、94.1%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容が整理されていなかった」と回答した場合には、前者は43.5%、後者は41.5%にとどまります。
- 上記のことから、学ぶべき内容が整理されていることにより、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった

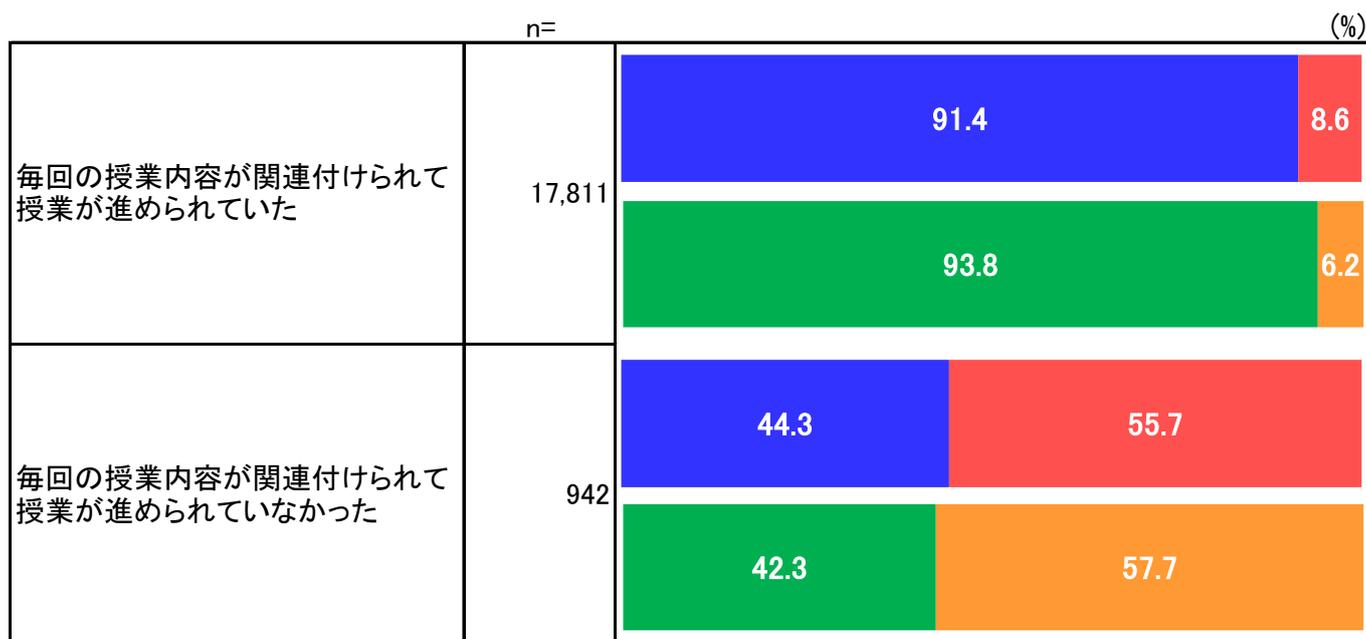


7-2 学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証

9. 毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていたか(Q16×Q19-20)

- 下の図は、Q16「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。」と、Q19「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」、Q20「あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。」との関係性を、図で示したものです。
- これによると、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていた」と回答した場合には、91.4%が到達目標を達成したと認識、93.8%がこの授業を履修して良かったと答えています。一方で、「毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていなかった」と回答した場合には、前者は44.3%、後者は42.3%にとどまります。
- 上記のことから、教員が毎回の授業内容を関連付けて授業を実施することで、学生の到達目標達成度や授業の満足度が高くなる傾向があります。尚、前期と同じ傾向となっています。

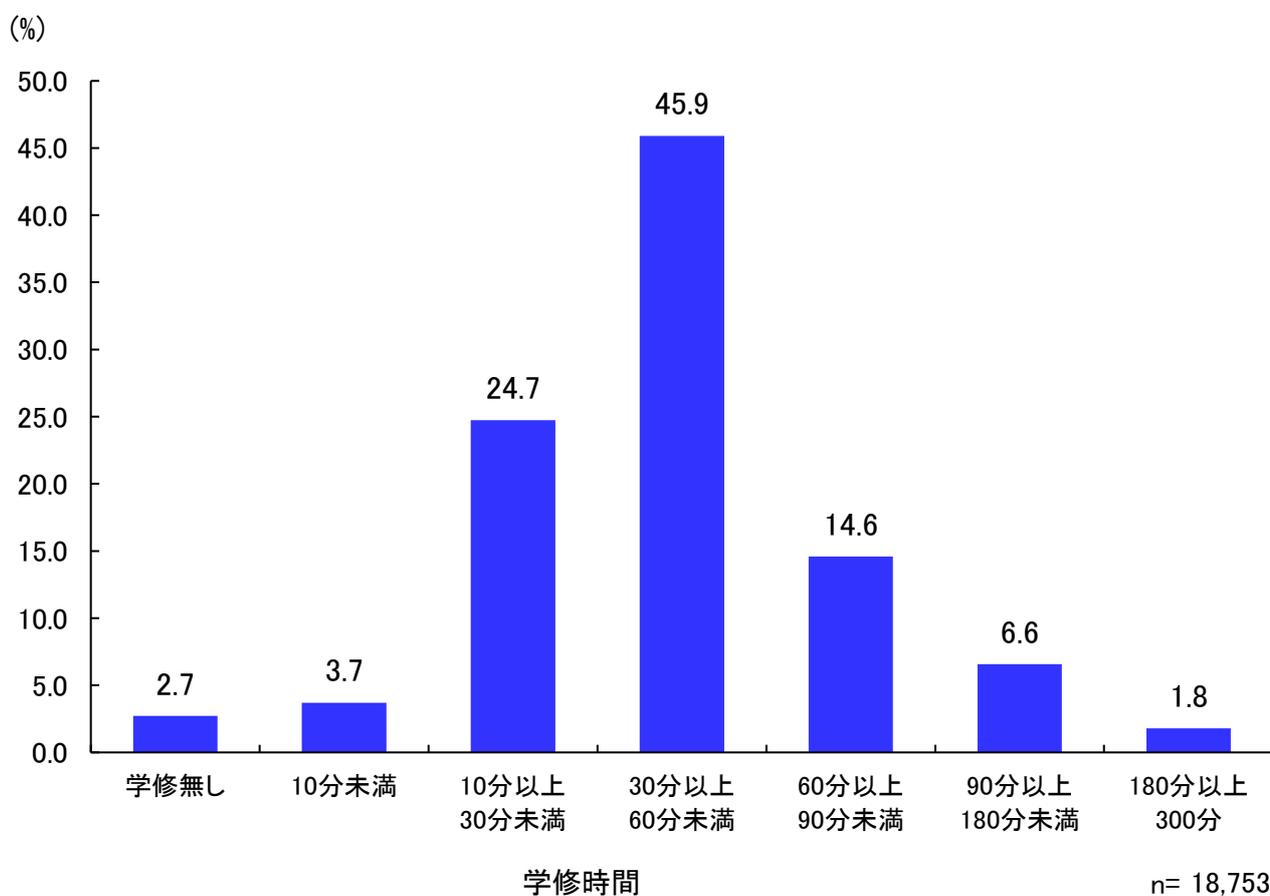
- 学生は授業の到達目標を達成したと認識
- 学生は授業の到達目標を達成していないと認識
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じた
- 学生はこの授業を履修して良かったと感じなかった



8. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(後期)

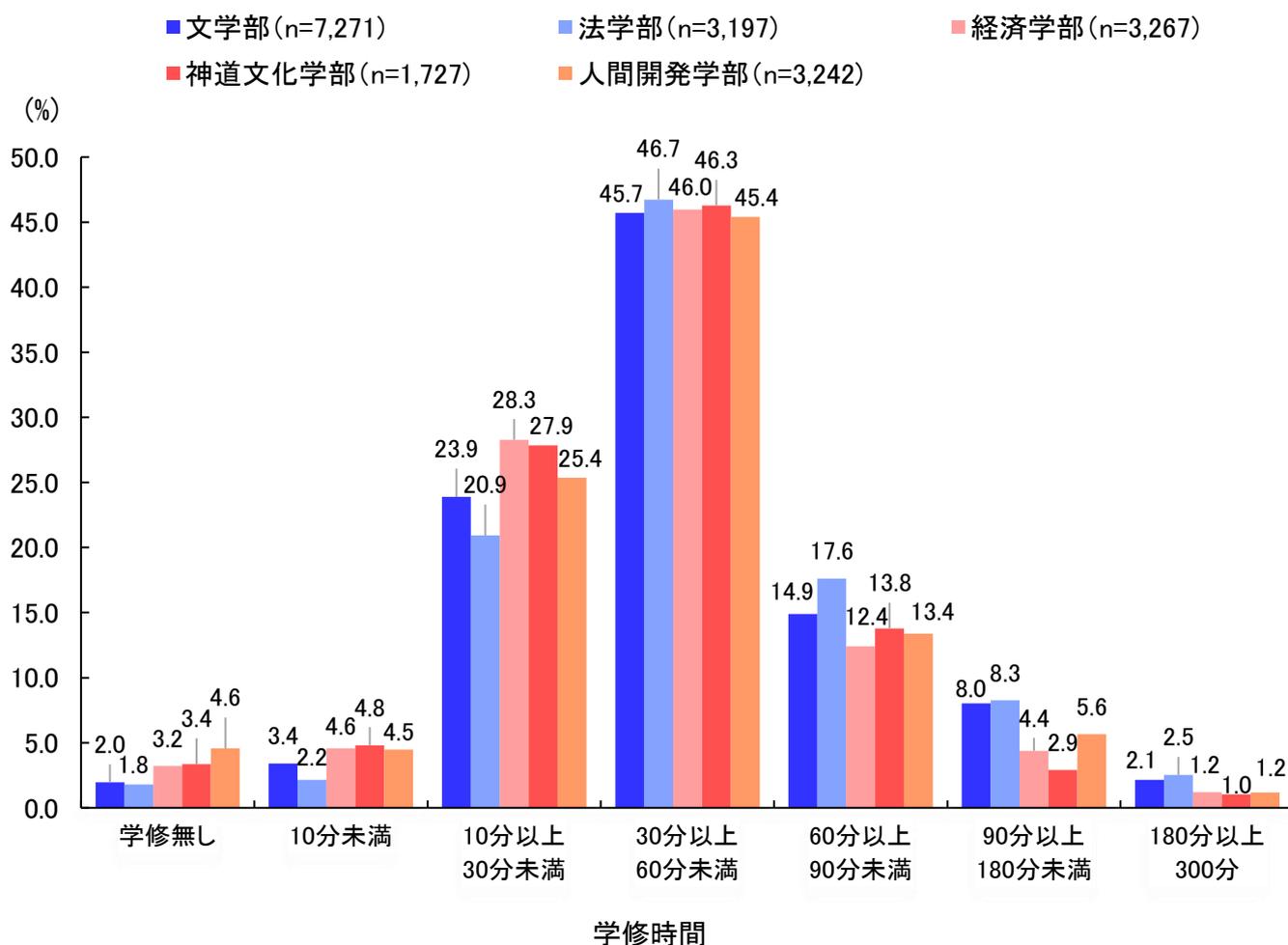
8-1 学士課程全体における学修時間の分布

- 下の図は、Q17「あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか」の回答結果の分布を示したものです。
- 学士課程教育全体の授業外学修時間としては、「学修無し」が2.7%、「学修あり(60分未満)」で74.3%、「学修あり(60分以上)」で23.0%となっています。尚、前期と同じ傾向となっています。



8-2 回答学生の所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部で区分して示したものです。
- 全ての所属学部において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、人間開発学部において、「学修無し」の割合が4%を超え、他と比べて高くなっています。尚、前期と同じ傾向となっています。



8-3 回答学生の所属学科・専攻別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科で区分して示したものです。
- 全ての所属学科・専攻において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また中国文学科および法律専門職専攻において、「学修あり(60分以上)」の割合が30%を超え、他と比べて高くなっています。尚、ほとんどの学科が前期と同様の傾向だったが、初等教育学科、健康体育学科、子ども支援学科においては「学修あり(30分以上)」の割合が減少しています。



	n=	(%)						
日本文学科	2,554	1.9	3.3	24.3	44.3	14.2	9.4	2.6
中国文学科	486	2.1	2.3	22.0	39.7	19.1	10.5	4.3
外国語文化学科	1,138	2.9	4.3	27.5	44.9	13.9	5.6	0.9
史学科	2,567	1.7	3.2	22.0	48.2	15.3	7.6	2.1
哲学科	526	1.1	4.0	25.1	47.5	14.6	6.5	1.1
法律専攻	2,542	1.8	2.4	20.5	46.7	18.1	7.9	2.5
法律専門職専攻	323	2.2	0.9	21.4	39.6	17.3	14.9	3.7
政治専攻	332	1.5	1.2	23.5	53.6	13.9	4.8	1.5
経済学科	1,574	3.3	4.3	30.2	48.0	11.0	2.7	0.5
経済ネットワーク学科	467	3.2	5.8	30.6	40.3	13.3	5.6	1.3
経営学科	1,226	3.1	4.4	24.9	45.6	13.9	6.1	2.0
神道文化学科	1,727	3.4	4.8	27.9	46.3	13.8	2.9	1.0
初等教育学科	1,093	3.5	3.9	25.5	44.4	15.8	5.5	1.4
健康体育学科	1,212	8.0	6.7	24.8	42.8	10.7	5.9	1.0
子ども支援学科	937	1.4	2.2	25.8	49.9	14.0	5.4	1.2

8-4 回答学生の学年と所属学部別に見た学修時間の分布

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学部・学年で区分して示したものです。
- 全ての所属学部・学年において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また神道文化学部4年生および人間開発学部4年生において、「学修無し」の割合が6%を超え、他と比べてやや高くなっています。尚、神道文化学部の1・3・4年生および人間開発学部の1・3年生においては「学修あり(30分以上)」の割合が減少しています。

■ 学修無し ■ 10分未満 ■ 10分以上～30分未満 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満 ■ 90分以上～180分未満 ■ 180分以上～300分

		n=	(%)						
文学部	1年生	3,637	1.4	2.7	20.1	49.4	16.5	8.1	1.8
	2年生	1,919	2.4	3.7	28.2	43.3	13.3	7.7	1.4
	3年生	1,186	2.1	3.7	27.8	41.9	13.7	8.1	2.7
	4年生	529	3.6	6.0	25.5	38.0	12.3	8.5	6.0
法学部	1年生	1,715	1.5	1.4	16.9	49.0	19.0	9.4	2.9
	2年生	740	1.9	3.1	23.5	43.8	16.5	8.6	2.6
	3年生	568	2.3	2.8	27.1	43.8	16.7	5.3	1.9
	4年生	174	2.3	3.4	29.9	46.6	11.5	5.2	1.1
経済学部	1年生	1,659	2.8	4.0	27.5	45.9	13.2	4.9	1.7
	2年生	797	3.0	3.3	29.1	49.9	10.8	3.4	0.5
	3年生	624	4.0	7.5	27.1	44.4	12.0	4.0	1.0
	4年生	187	4.8	5.3	35.3	35.3	13.4	5.3	0.5
神道文化学部	1年生	814	3.7	4.2	21.4	47.5	18.7	3.2	1.4
	2年生	520	3.1	4.4	31.3	46.3	11.7	2.3	0.8
	3年生	245	0.4	4.9	40.4	44.1	6.9	2.9	0.4
	4年生	148	7.4	9.5	30.4	42.6	5.4	3.4	1.4
人間開発学部	1年生	1,498	4.2	3.5	23.4	44.5	16.2	7.1	1.1
	2年生	1,037	4.3	5.0	25.6	47.2	11.6	5.2	1.2
	3年生	528	5.5	4.4	29.7	46.0	9.3	3.6	1.5
	4年生	179	6.1	9.5	27.4	41.3	12.3	2.2	1.1

8-5 回答学生の所属学科・専攻と学年別に見た学修時間の分布

【1年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(1年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、健康体育学科において、「学修無し」の割合が8%を超え、他と比べてやや高くなっています。なお経済ネットワーク学科は1年生の回答がありませんでした。(令和2年度より募集停止のため)
- 前期と比べると、神道文化学科、初等教育学科、健康体育学科、子ども支援学科においては「学修あり(30分以上)」の割合が減少しています。

■ 学修無し
 ■ 10分未満
 ■ 10分以上～30分未満
 ■ 30分以上～60分未満
■ 60分以上～90分未満
 ■ 90分以上～180分未満
 ■ 180分以上～300分

	n=	(%)						
日本文学科	1,324	1.1	2.2	20.1	47.3	16.7	10.2	2.5
中国文学科	270	1.9	1.5	19.6	42.2	20.7	9.3	4.8
外国語文化学科	506	2.2	5.1	24.9	47.4	13.4	6.1	0.8
史学科	1,276	1.3	2.5	18.0	52.8	17.6	6.8	0.9
哲学科	261	1.5	3.4	21.1	54.0	12.3	6.1	1.5
法律専攻	1,400	1.4	1.5	16.5	48.9	20.1	8.6	3.1
法律専門職専攻	170	3.5	1.2	16.5	48.2	10.6	18.8	1.2
政治専攻	145	0.7	0.7	20.7	51.0	17.9	6.2	2.8
経済学科	842	2.3	4.3	30.8	48.0	11.5	2.6	0.6
経済ネットワーク学科	-	0.0						
経営学科	817	3.4	3.7	24.2	43.7	14.9	7.2	2.8
神道文化学科	814	3.7	4.2	21.4	47.5	18.7	3.2	1.4
初等教育学科	473	3.4	2.1	20.1	46.9	20.3	6.3	0.8
健康体育学科	503	8.0	5.8	24.1	40.0	12.1	9.1	1.0
子ども支援学科	522	1.3	2.7	25.9	46.6	16.5	5.7	1.3

【2年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(2年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科および法律専門職専攻における「学修あり(60分以上)」の割合が、30%を超え、他と比べて高くなっています。また、健康体育学科における「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	622	2.1	4.0	26.5	43.6	12.5	9.8	1.4
中国文学科	129	2.3	3.1	32.6	31.8	13.2	13.2	3.9
外国語文化学科	394	3.6	3.0	31.5	42.4	13.5	5.6	0.5
史学科	616	2.4	3.9	27.4	46.1	12.5	6.2	1.5
哲学科	158	1.3	3.8	26.6	42.4	19.0	6.3	0.6
法律専攻	560	2.0	3.8	22.0	46.1	16.1	8.6	1.6
法律専門職専攻	105	1.0	1.0	28.6	26.7	24.8	9.5	8.6
政治専攻	75	2.7	1.3	28.0	50.7	8.0	8.0	1.3
経済学科	365	4.1	2.7	32.1	49.6	9.3	1.9	0.3
経済ネットワーク学科	218	1.8	1.4	25.2	48.6	15.6	6.0	1.4
経営学科	214	2.3	6.1	28.0	51.9	8.4	3.3	0.0
神道文化学科	520	3.1	4.4	31.3	46.3	11.7	2.3	0.8
初等教育学科	329	2.7	5.2	27.4	44.1	12.8	6.1	1.8
健康体育学科	405	7.7	7.4	23.0	45.7	11.1	4.7	0.5
子ども支援学科	303	1.7	1.7	27.1	52.5	10.9	5.0	1.3

【3年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(3年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科、法律専門職専攻における「学修あり(60分以上)」の割合が、40%を超え、他と比べて高くなっています。また、経済学科、健康体育学科における「学修無し」の割合が5%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	425	4.0	3.8	32.2	38.4	10.8	7.3	3.5
中国文学科	45	0.0	0.0	11.1	46.7	28.9	11.1	2.2
外国語文化学科	152	2.6	2.6	24.3	44.7	15.8	7.2	2.6
史学科	487	0.8	3.9	26.3	44.1	13.6	8.8	2.5
哲学科	77	0.0	6.5	29.9	39.0	16.9	7.8	0.0
法律専攻	437	2.5	3.2	27.7	42.1	16.5	5.7	2.3
法律専門職専攻	41	0.0	0.0	24.4	31.7	29.3	12.2	2.4
政治専攻	90	2.2	2.2	25.6	57.8	12.2	0.0	0.0
経済学科	293	5.8	5.8	26.6	48.5	10.2	2.4	0.7
経済ネットワーク学科	180	3.3	12.8	32.8	33.9	10.0	5.6	1.7
経営学科	151	1.3	4.6	21.2	49.0	17.9	5.3	0.7
神道文化学科	245	0.4	4.9	40.4	44.1	6.9	2.9	0.4
初等教育学科	213	2.8	2.8	33.8	43.2	11.3	3.8	2.3
健康体育学科	222	9.9	7.7	31.5	41.0	6.3	2.3	1.4
子ども支援学科	93	1.1	0.0	16.1	64.5	11.8	6.5	0.0

【4年生】

- 下の図は、授業外学修時間の回答結果の分布を、アンケートを回答した学生の所属学科・専攻と学年別(4年生)で区分して示したものです。
- 全ての所属学科において、「学修あり(60分未満)」が最も多くの割合を占めています。また、中国文学科、史学科における「学修あり(60分以上)」の割合が、30%を超え、他と比べて高くなっています。また、初等教育学科における「学修無し」の割合が8%を超え、他と比べてやや高くなっています。



	n=	(%)						
日本文学科	183	2.7	7.7	29.0	39.3	9.8	6.6	4.9
中国文学科	42	4.8	7.1	16.7	40.5	16.7	9.5	4.8
外国語文化学科	86	4.7	8.1	30.2	41.9	15.1	0.0	
史学科	188	4.3	3.7	19.7	34.0	13.3	14.4	10.6
哲学科	30	0.0	3.3	40.0	40.0	6.7	6.7	3.3
法律専攻	145	2.8	4.1	32.4	42.8	11.7	4.8	1.4
法律専門職専攻	7	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0	14.3	0.0
政治専攻	22	0.0	0.0	18.2	63.6	13.6	4.5	0.0
経済学科	74	1.4	6.8	29.7	37.8	16.2	8.1	0.0
経済ネットワーク学科	69	7.2	1.4	42.0	30.4	14.5	4.3	0.0
経営学科	44	6.8	9.1	34.1	38.6	6.8	2.3	2.3
神道文化学科	148	7.4	9.5	30.4	42.6	5.4	3.4	1.4
初等教育学科	78	9.0	12.8	28.2	33.3	14.1	2.6	0.0
健康体育学科	82	4.9	6.1	20.7	51.2	12.2	2.4	2.4
子ども支援学科	19	0.0	10.5	52.6	31.6	5.3	0.0	0.0

9. 自由記述設問の検討(後期)

9-2 代表的な肯定的意見

【Q21 この授業についてとても良いと思ったこと】

- ・ 下記は、Q21「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- ・ たくさんの意見が寄せられましたが「授業内容」、「課題」、「実施形態」、「教員」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- ・ 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【授業内容について】

講義内容が課題・課題解説・それ以外で分けられ、受講生が選択できるのが良い
動画は内容が明確で、プリント、課題は情報豊富で知識が深まった
発表のときは、事前に内容や日時を提示して下さったので計画が立てやすかった
毎回出される小テストが理解の定着の助けになった
前回の授業の振り返りを丁寧に行っていた
関連動画があり興味がかなり広がった

【課題について】

課題の提出期間に余裕があったため取り組みやすかった
自分の考えを述べる課題が多くてとても良かった
毎回予習課題が出るが、絶対1時間以内に終わる内容なので負担にならない

【実施形態について】

学生同士で会話する機会がたくさん設けられていた
ハイブリット授業で初めて大学内で授業を受けることができ嬉しかった
動画配信だと繰り返し視聴が出来るので理解に繋がりやすい
Zoomを通じてやりとりをしながら、対面よりもより教授との関わりが持てる授業形式だった
オンラインだからこそいろいろなツールを使用できたのがよかった

【教員について】

チャット機能を有効に使い、先生との距離が近かったため、質問をしやすかった
質問や感想、課題に対してのフィードバックを毎授業行ってくれる
先生が説明に対し具体例や補足を入れ、理解を深めようとしてくれた

9-4 代表的な消極的意見

【Q22 この授業について改善したほうがよいと思ったこと】

- ・ 下記は、Q22「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」において、多くの学生から出された意見です。なお、記述の文言を一部変更して掲載しています。
- ・ たくさんの意見が寄せられましたが「教員」、「授業内容」、「学生」、「授業形態」の4項目について代表的な意見を掲載しました。
- ・ 自由記述の内容は、授業内容や実施条件にも強く影響されます。従ってここで記載した意見をどのように理解するかは、個々の先生方の裁量となります。

【教員について】

クラスフォーラムへの返信がなかった
口頭での説明が多かったので、その内容も資料に記載してほしかった
授業時間が延びることが何度かあった
録画配信の遅れやレジュメ配布忘れなどが気になりました
zoomを上手く使いこなせていなかった

【授業内容について】

1回の授業で学ぶ内容が多く、理解できないまま次に進んでしまうことがほとんどだった
時間通りに始まらない、課題があるのかわかりにくい
説明が簡略化されすぎてわからない
授業内容と課題が繋がらない授業が何回かあった

【学生について】

毎回誰かしらの学生のマイクがONになっているところ
授業内で発表する学生を、あらかじめ決めておけば、タイムロスが減らすことができたのではないか
グループワーク時に周りでオンライン授業を受けている学生に迷惑がかかる
発言する人しない人、予習している人していない人の差があり、対面でないとやりにくい

【実施形態について】

リアルタイムの授業だけでなく、その録画を公開し、オンデマンドでの授業を可能にしてほしい
グーグルクラスルームが使いにくい
資料と課題を学生に投げっぱなしな印象が強かった

10. 教員ベスト30
～専任及び兼任教員の「到達目標達成度」に基づく～

10-1 到達目標達成度(専任・兼任教員)上位者 30 名 [50 音順]

【算出方法】

1) 教員が担当した授業科目のアンケート結果を1つに集計。

[例]

教員名	授業科目名	回答数
國學 太郎	國學院の歴史	21
國學 太郎	神道精神	11
國學 太郎	日本の伝統	38
こくびよん	文学概論	14
こくびよん	日本文学入門	6



教員名	回答数
國學 太郎	70
こくびよん	20

2) 上記の集計をしたのち、合計回答数が 50 人以上の教員を対象とする。

[例]

教員名	回答数	
國學 太郎	70	← 対象
こくびよん	20	← 対象外

3) 到達目標達成度は、以下の設問の回答結果から、点数化。

◆「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。」(前期 Q18/後期 Q19)

[例] 「國學 太郎」先生の場合(到達目標達成度・総合満足度ともに同様の計算式とする)

教員氏名: 國學 太郎	回答数	配点	回答数 × 配点 = 点数
かなりそう思う	15 件	4 点	60 点
そう思う	30 件	3 点	90 点
あまりそう思わない	22 件	2 点	44 点
そう思わない	3 件	1 点	3 点
合計	70 件		197 点

総合点数： $197 \div 70 = 2.814$ 点

4) 上記の、「総合点数」の高い順に、ベスト 30 教員を選出。

※本「分析報告書」では順位掲載は行わず、上位 30 名を 50 音順に掲載しています

到達目標達成度に基づく「教員ベスト30」一覧表（50音順掲載）

令和2年度「教員ベスト30」は、到達目標達成度「あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか」(前期 Q18/後期 Q19)回答結果に基づき、前期・後期の回答結果を総合して抽出した。

【専任教員】

教員氏名	所属	達成度総合点数
青木 敬	文学部	3.268
甘利 航司	法学部	3.257
飯倉 義之	文学部	3.336
伊藤 英之	人間開発学部	3.251
大矢 隆二	人間開発学部	3.267
川合 敏樹	法学部	3.257
木村 秀史	経済学部	3.288
近藤 良彦	人間開発学部	3.348
齋藤 智哉	文学部	3.291
齊藤 智朗	神道文化学部	3.288
坂本 一登	法学部	3.282
坂本 正徳	人間開発学部	3.340
澤田 浩一	文学部	3.343
塩谷 香	人間開発学部	3.294
神事 努	人間開発学部	3.314
杉田 洋	人間開発学部	3.260
高橋 信行	法学部	3.305
高屋 景一	文学部	3.281
多和田 真理子	文学部	3.276
辻 和洋	経済学部	3.329
中川 孝博	法学部	3.337
野中 哲照	文学部	3.281
針谷 壮一	文学部	3.277
備前 嘉文	人間開発学部	3.258
藤澤 紫	文学部	3.309
松谷 容作	文学部	3.286
宮下 雄治	経済学部	3.348
矢部 健太郎	文学部	3.316
山西 治男	文学部	3.271
渡邊 雅俊	人間開発学部	3.256

【兼任教員】

教員氏名	所属	達成度総合点数
梅村 玲美	兼任教員	3.250
桶田 和子	兼任教員	3.302
角屋 明彦	兼任教員	3.241
門脇 一彦	兼任教員	3.350
川崎 佳哉	兼任教員	3.230
川淵 竜也	兼任教員	3.266
川村 信郎	兼任教員	3.247
久保 哲也	兼任教員	3.375
久保田 るり子	兼任教員	3.304
孔 令 敬	兼任教員	3.196
佐々木 雄一	兼任教員	3.371
芝崎 祐典	兼任教員	3.193
洪澤 寿一	兼任教員	3.294
白鳥 和生	兼任教員	3.350
駿河 昌樹	兼任教員	3.237
関口 武	兼任教員	3.259
立石 展大	兼任教員	3.234
種稻 秀司	兼任教員	3.391
津島 昭宏	兼任教員	3.206
長浜 尚史	兼任教員	3.316
長嶺 宏作	兼任教員	3.182
速水 大	兼任教員	3.197
福井 一喜	兼任教員	3.305
町田 なほみ	兼任教員	3.250
松浦 里彩	兼任教員	3.333
松下 哲也	兼任教員	3.246
持田 叙子	兼任教員	3.268
森田 聡	兼任教員	3.289
米倉 立子	兼任教員	3.185
李 太喜	兼任教員	3.254

11. 全体総括(まとめ)

これまで、令和2年度授業評価アンケートについて、設問別にいくつかの観点から集計と分析を試みました。この節では、「まとめ」としてこれまでの集計結果を簡潔に整理しておきたいと思います。

【2. 前期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「K-SMAPY II + 課題」の実施形態が共通教育科目、文学部(専門)、教職・資格課程科目で2割を上回る結果となっています。Q2「この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Web サービス等)を、すべて選択してください」では、学士課程全体で「K-SMAPY II」が 79.6%、「ZOOM」が 73.9%のツール利用率であった。所属別集計をみてもこの傾向は変わらず、「K-SMAPY II」の利用率が極めて高い結果となりました。Q3「教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか」では、学士課程全体での肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)が 90.4%で、高い結果となりました。所属別では、教職・資格課程科目の肯定回答率が 88.6%であったが、それ以外の所属は9割を上回る結果となっています。Q6「教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか」では、共通教育科目、神道文化学部(専門)で肯定回答が9割を上回る結果となりました。Q7「リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか」では、文学部(専門)、教職・資格課程科目で肯定回答が9割を上回る結果となりました。Q9「教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか」では、経済学部(専門)以外の所属はすべて肯定回答が9割を上回る結果となりました。Q11「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」では、平均 75 分以上と回答した割合が文学部(専門)および経済学部(専門)で3割を上回る結果となっています。Q12「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」では、「ちょうどよい」の肯定回答が学士課程全体で6割を上回る結果となっています。Q13「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、すべての所属で「ちょうどよい」の肯定回答が7割を上回る結果となっています。

以上のとおり、Q17の授業外学修時間とQ20、Q21の自由記述を除く新設問項目について検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属がほとんどであったが、授業到達目標の達成度では、すべての所属で肯定回答が8割を上回っており、高い結果となっているものの、9割を上回ったのは人間開発学部(専門)のみでした。また、学生の満足度で肯定回答が9割を上回ったのは、神道文化学部(専門)のみでした。引き続き、この点に注力する必要があると考えられます(2-1)。

【3. 考察(1)設問間のクロス表分析について(前期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。

- 3-1-1では、授業形態ごとに授業到達目標達成度・満足度について検討しました。学部別の授業到達目標達成度では、「K-SMAPY II + 課題」における肯定回答が法学部および経済学部生のみ8割を下回る結果となったものの、その他は8割を上回る結果となりました。学年別では、3年生および4年生の「K-SMAPY II + 課題」における肯定回答が8割を下回る結果となっています。また満足度では、経済学部生のみ「K-SMAPY II + 課題」における肯定回答が8割を下回る結果となりました。対面授業に近い学修環境の方が授業到達目標達成度や満足度が高くなる傾向にあると言えます。
- 3-1-2では、遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応について検討しました。その結果、30 分以

上～40分未満及び40分以上～50分未満では、「ちょうどよい」の回答が8割を上回る結果となりました。

一方で、60分以上75分未満では「ちょうどよい」の割合が62.4%となり、75分以上では、44.0%に減ることから、おおむね60分程度が履修学生にとって「ちょうどよい」と感じる配信の長さであると言えます。

- 3-1-3では、遠隔授業・動画配信の長さが学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。遠隔授業・動画配信の長さが「ちょうどよい」と回答した場合は、授業到達目標達成度・満足度が9割以上の高い結果となっています。

一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が65.9%、満足度が58.3%と低い結果となっています。授業到達目標達成度や満足度が、遠隔授業・動画配信の長さの適切性に大きく影響することがわかりました。
- 3-1-4では、課題の量の多さが学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題等の分量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が60.9%、満足度が52.9%と低い結果となっています。つまり、提出物・課題等の分量が適切ではないと授業到達目標達成度や満足度が下落しやすい傾向にあることがわかりました。
- 3-1-5では、予復習・課題にかけた時間が学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。その結果、学修ありの場合には、時間の長さに関わらず7割以上が授業到達目標度を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、学修無しの場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、6割程度という結果となっています。予復習・課題にかけた時間が学生の授業到達目標達成度・満足度の向上につながるということがわかりました。
- 3-2-1では、教員による授業前の明確な説明・指示が学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員から授業前に明確な指示・説明がなされた場合は9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から授業前に明確な指示・説明指示がなされていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。教員が積極的に実施方針や受講方法を明確に説明・指示を行うことで、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 3-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員から明確な説明がなされた場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から明確な説明がなされていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。教員が積極的に授業計画・変更・評価方法を明確に説明することで、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

- 3-2-3では、教員によるスムーズなオンライン授業の進行が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。機器・ツールを使ってスムーズにオンライン授業を進行できた場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、スムーズに進行できなかった場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。機器・ツールを使った教員のスムーズなオンライン授業の進行が、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 3-2-4では、遠隔授業・配信動画における教員の説明が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすい場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、わかりやすい説明でなかった場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割未満という結果となっています。遠隔授業・配信動画における教員の説明のわかりやすさが、学生の到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 3-2-5では、教員が提供した教材・資料が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材・資料がわかりやすかった場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員が提供した教材・資料がわかりやすくなかった場合は、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割未満という結果となっています。教員が提供した教材・資料のわかりやすさが、学生の授業到達目標達成度・満足度に、大きく影響することがわかりました。
- 3-2-6では、課題や小テスト等が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行った場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行っていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が5割未満という結果となっています。教員が課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行うことが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 3-2-7では、積極的な対話・フィードバックが学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が6割程度という結果になっています。教員が学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うことが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 3-2-8では、授業ごとの単元の整理が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されている場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割未満という結果になっています。教員が1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されているかどうか、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

- 3-2-9では、毎回の授業内容の関連付けが学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が、毎回の授業内容を関連付けて進行した場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割程度という結果になっています。教員が、毎回の授業内容を関連付けて授業を進めることが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

以上のとおり、オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。遠隔授業・動画配信の長さや課題の量の適切性、あるいは、学生が予復習にかけ時間が、大きく影響することがわかりました。

また、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、授業前の明確な指示や説明、スムーズなオンライン授業の進行、あるいは、説明のわかりやすさが学生の達成度や満足度に大きく影響を与えていることが示されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると考えられます。

【4. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(前期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

- 本学の令和2年度前期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが2.4%、60分未満の学修ありが71.3%、60分以上の学修ありが26.2%という結果になっています。
- 学部(4-2)、学科・専攻別(4-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で60分未満と回答した割合がもっとも多い結果となっています。法律専攻、初等教育学科、子ども支援学科では、60分以上の学修が3割を超えており、他学科と比べ高い割合となっています。
- 学年と所属学部(4-4)、学年と所属学科・専攻別(4-5)に分布をみると、中国文学科2年生、法律専門職専攻4年生、神道文化学科4年生において、学修無しの割合が1割前後となっており、他と比べて学修時間が少ない傾向となっています。

【5. 自由記述設問の検討(前期)】

ここでは、学生コメント分析を行いました。

- 5-1では、Q20「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「わかりやすい授業で、受けるのが楽しい」「毎回の課題で理解が深まった」「質問にも丁寧に対応」「いろんな人とグループワークできてコミュニケーションがとれた」といった意見が多くあげられています。その他にも「オンデマンドと、ライブ配信の併用をしている」「zoomの機能を使った授業

が新鮮」といった意見もみられました。

- 5-2では、Q20「この授業について、とても良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目をあげています。授業内容については、「予習課題・予習動画があることで、授業内容の理解がスムーズにできた」「毎回の授業でやることが明確に記載されていた」など、学生にとってわかりやすい授業運営が満足度につながっていることがわかります。課題については、「自分で調べるという課題形式については、勉強になるので良いと思った」「提出課題にコメントをもらえるので、モチベーションを維持できた」など、学生が主体的に学ぶための工夫を感じることができる点を評価する意見がありました。実施形態については、「録画配信のアップロードが早く、見逃した部分や分かりにくかった部分をすぐに見直せた」「録画動画や課題提出フォームをまとめて掲示いただいたので、自分のペースで進められた」などの意見がありました。教員については、「違った部分を指摘や参考文献を掲示などとても丁寧に見てくれた」など、オンラインでも学生に寄り添う姿勢を評価する意見がみられました。
- 5-3では、Q21「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「課題が多かったように感じる」「もう少し授業時間を長くし、より深く学べたらよかった」「資料配布が不十分」「レジュメだけで理解することは難しい」「動画を配信してほしい」「アンケート機能の課題提出だと、回答の確認ができない」などの意見が多くあげられています。
- 5-4では、Q21「この授業について、改善したほうが良いと思ったことを書いてください」について、代表的な意見として、「教員」「授業内容」「学生」「実施形態」の4項目をあげています。教員については、「顔を一度も見たことがないので、心が開けず、質問したいことがあっても出来なかった」「お知らせや課題に関する情報が急に出されて、学生同士混乱することもあった」など、対面でないことによる問題点を述べる意見がありました。授業内容については、「学生との対話がなく、深い学びが出来なかった」「話が整理されていなくて全体的に分かりづらかった」などの意見がありました。学生については、「zoom でミュートにせず雑音を流す学生がいた」など、受講環境の配慮を求める意見もみられました。実施形態については、「対面授業で受講したらもっと楽しいと思うので、機会を作って欲しい」「毎回課題もあるのに、一回の授業時間が長い」などの意見がみられました。

以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、授業内に関するコメントからは、課題や毎回の授業方針等の指示の明確さが理解を助けるといった意見が多くみられました。

一方で、教員に関するコメントでは、質問のしやすさや静寂性の管理を求める意見もあり、授業環境の配慮の重要性も見受けられました。

【6. 後期集計結果について】

- 各開講科目の所属別集計をみると、Q1「この授業の実施形態を、ひとつ選択してください」では、「K-SMAPYⅡ＋課題」の実施形態が2割を上回る所属はなく、教職・資格課程科目で18.0%という結果となりました。Q2「この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください」では、ほとんどの所属で「自宅」が9割を上回る結果でしたが、人間開発学部(専門)のみ「自宅」が7割程度で他所属と比べてもっとも低い結果となっています。Q3「この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください」では、学士課程全体で「K-SMAPYⅡ」が81.6%、「ZOOM」が79.4%のツール利用率でした。所属別集計をみてもこの傾向は変わらず、「K-SMAPYⅡ」の利用率が極めて高い結果となりました。Q4「この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか」では、学士課程全体での肯定回答(「強くそう思う」と「そう思う」の合計)が94.4%で、すべての所属で9割を上回る高い結果となっています。Q7「教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか」では、教職・資格課程科目の肯定回答がわずかに9割を下回ったものの、ほぼすべての所属で9割を上回る高い結果となりました。Q8「授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか」では、経済学部(専門)、教職・資格課程科目の肯定回答がわずかに9割を下回ったものの、ほぼすべての所属で9割を上回る高い結果となりました。Q12「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか」では、平均75分以上と回答した割合が共通教育科目以外の所属で3割を上回る結果となっています。Q13「この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか」では、学士課程全体で「ちょうどよい」が7割の肯定回答となっています。Q14「この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか」では、経済学部(専門)、人間開発学部(専門)を除くすべての所属で「ちょうどよい」の肯定回答が8割を上回る高い結果となっています。

以上のとおり、Q18の授業外学修時間とQ21、Q22の自由記述を除く新設問項目について検討しました。全体的な傾向として、ほとんどの設問で肯定回答が9割を上回る所属がほとんどでしたが、授業到達目標の達成度では、すべての所属で肯定回答が8割を上回っており、高い結果となっているものの、9割を上回ったのは法学部(専門)、人間開発学部(専門)のみでした。引き続き、授業到達目標の達成度には、引き続き注力する必要があると考えられます。

一方で、学生の満足度では、共通教育科目、経済学部(専門)以外のすべての所属で肯定回答が9割を上回る高い結果となっています。(6-1)

【7. 考察(1)設問間のクロス表分析について(後期)】

ここでは、属性や設問項目間との関係性を検討するために、クロス集計による分析を行いました。

- 7-1-1では、授業形態ごとに到達目標達成度・満足度について検討しました。授業到達目標達成度では、「K-SMAPYⅡ＋課題」における肯定回答が法学部および経済学部のみ、8割を下回る結果となったものの、その他は8割を上回る結果となりました。学年別では、3年生および4年生の「K-SMAPYⅡ＋課題」における肯定回答が8割を下回る結果となっています。また満足度では、経済学部生のみ「K-SMAPYⅡ＋課題」における肯定回答が8割を下回る結果となりました。対面授業に近い学修環境の方が授業到達目標達成度や満足度が高くなる傾向にあると言えます。
- 7-1-2では、遠隔授業・動画配信の長さに対する学生の反応について検討しました。その結果、30分以

上～40分未満、40分以上～50分未満、50分以上～60分未満では、「ちょうどよい」の回答が8割を上回る結果となりました。

一方で、60分以上75分未満では「ちょうどよい」の割合が74.2%となり、75分以上では、55.2%に減ることから、おおむね60分程度が履修学生にとって「ちょうどよい」と感じる配信の長さであると言えます。

- 7-1-3では、遠隔授業・動画配信の長さが学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。遠隔授業・動画配信の長さが「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、「長すぎる、短すぎる」と回答した場合は、授業到達目標達成度が67.7%、満足度が62.6%と低い結果となっています。授業到達目標達成度や満足度が、遠隔授業・動画配信の長さの適切性に大きく影響することがわかりました。
- 7-1-4では、課題の量の多さが学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。提出物・課題等の分量が「ちょうどよい」と回答した場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、「多すぎる、少なすぎる」と回答した場合は、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、6割程度という結果となっています。提出物・課題等の分量が適切ではないと授業到達目標達成度や満足度が下落しやすい傾向にあることがわかりました。
- 7-1-5では、予復習・課題にかけた時間が学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。その結果、学修ありの場合には、時間の長さに関わらず8割以上が授業到達目標度を達成したと認識、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。特に、予復習・課題にかけた時間が30分以上60分未満の学生は、授業到達目標達成度が91.2%でもっとも高い結果となっています。

一方で、学修無しの場合は、授業到達目標達成度が8割未満ですが、この授業を履修して良かったと回答した割合は、8割を超える結果となっています。予復習・課題にかけた時間が学生の授業到達目標達成度の向上につながることをわかりました。
- 7-2-1では、教員による授業前の明確な説明・指示が学生の授業到達目標達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員から授業前に明確な指示・説明がなされた場合は9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から授業前に明確な指示・説明指示がなされていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割未満という結果となっています。教員が積極的に実施方針や受講方法を明確に説明・指示を行うことで、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 7-2-2では、教員による授業計画・変更・評価方法の明確な説明が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員から明確な説明がなされた場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、教員から明確な説明がなされていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。教員が積極的に授業計画・変

更・評価方法を明確に説明することで、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

- 7-2-3では、教員によるスムーズなオンライン授業の進行が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。機器・ツールを使ってスムーズにオンライン授業を進行できた場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、スムーズに進行できなかった場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。機器・ツールを使った教員のスムーズなオンライン授業の進行が、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 7-2-4では、遠隔授業・配信動画における教員の説明が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。遠隔授業・配信動画における教員の説明がわかりやすい場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、わかりやすい説明でなかった場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割程度という結果となっています。遠隔授業・配信動画における教員の説明のわかりやすさが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 7-2-5では、教員が提供した教材・資料が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が提供した教材・資料がわかりやすかった場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、教員が提供した教材・資料がわかりやすくなかった場合は、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合は、5割以内という結果となっています。教員が提供した教材・資料のわかりやすさが、学生の授業到達目標達成度・満足度に、大きく影響することがわかりました。
- 7-2-6では、課題や小テスト等が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行った場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行っていない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が6割未満という結果となっています。教員が課題や小テスト等を出題して理解の定着を図る工夫を行うことが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。
- 7-2-7では、積極的な対話・フィードバックが学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行った場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。
一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が7割程度という結果になっています。教員が学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行うことが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

- 7-2-8では、授業ごとの単元の整理が学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されている場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割程度という結果になっています。教員が1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されているかどうか、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

- 7-2-9では、毎回の授業内容の関連付けが学生の達成度・満足度に与える影響について検討しました。教員が、毎回の授業内容を関連付けて進めた場合は、9割以上の学生が授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答しています。

一方で、そうではない場合には、授業到達目標に達成した、あるいはこの授業を履修して良かったと回答した割合が4割程度という結果になっています。教員が、毎回の授業内容を関連付けて授業を進めることが、学生の授業到達目標達成度・満足度に大きく影響することがわかりました。

以上のとおり、オンライン授業の実施形態に対する学生の反応について検証を行いました。遠隔授業・動画配信の長さや課題の量の適切性、あるいは、学生が予復習にかける時間が、大きく影響することがわかりました。

また、学生の達成度・満足度にポジティブな影響をもたらすと想定される要素についての検証では、授業前の明確な指示や説明、スムーズなオンライン授業の進行、あるいは、説明のわかりやすさが学生の達成度や満足度に大きく影響を与えていることが示されました。これらの結果をもとに、教員の授業運営を検討する必要があると考えられます。

【8. 考察(2)本学学士課程教育の授業外学修時間の現状(後期)】

ここでは、授業外学修時間の現状分析を行いました。

- 本学の令和2年度後期授業科目における授業1回あたりの授業外学修時間は、学修無しが2.7%、60分未満の学修ありが74.3%、60分以上の学修ありが23.0%という結果になっています。
- 学部(8-2)、学科・専攻別(8-3)に分布をみると、ほぼ全ての集計区分で30分以上60分未満と回答した割合がもっとも多い結果となっています。中国文学科、法律専門職専攻が60分以上の学修が3割を超えており、他学科と比べて高い割合となっています。
- 学年と所属学部(8-4)、学年と所属学科・専攻別(8-5)に分布をみると、法学部1年生が60分以上の学修が3割を超えており、他と比べて高い割合となっています。

【9. 自由記述設問の検討(後期)】

ここでは、学生コメント分析を行いました。

- 9-1では、Q21「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「説明が丁寧で分かりやすい」「毎回の課題にコメントをもらえた」「グループワークで他の人の話を聞けた」「オンデマンド配信だったので、時間的な制約がなく、取り組みやすかつ

た」といった意見が多くあげられています。その他にも、「興味を引き出してきて、とても楽しい授業でした」「前期よりも全体的に改善されていた」といった意見もありました。

- 9-2では、Q21「この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください」について、代表的な意見として、「授業内容」「課題」「実施形態」「教員」の4項目をあげています。授業内容については、「講義内容が課題・課題解説・それ以外で分けられ、受講生が選択できるのが良い」「動画は内容が明確で、プリント、課題は情報豊富で知識が深まった」など、学生にとってわかりやすい授業運営が満足度につながっていることがわかります。課題については、「課題の提出期間に余裕があったため取り組みやすかった」「自分の考えを述べる課題が多くてとても良かった」などの意見がありました。実施形態については、「学生同士で会話する機会がたくさん設けられていた」「動画配信だと繰り返し視聴が出来るので理解に繋がりがやすい」など、学生にとって知的インパクトが感じられた点を評価する意見がみられました。教員については、「質問や感想、課題に対してのフィードバックを毎授業行ってくれる」「先生が説明に対し具体例や補足を入れ、理解を深めようとしてくれた」など、学生が主体的に学ぶための工夫を感じることができた点を評価する意見がみられました。
- 9-3では、Q22「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」でみられた共起関係や頻出単語等から分析しています。「無駄がほかの授業よりも多くあったように感じる」「提出課題にフィードバックがない」「配布資料が多く、どれが重要で課題や授業理解に必要なものかわからない」「オンデマンドの配信をしてほしい」などの意見が多くあげられています。
- 9-4では、Q22「この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください」について、代表的な意見として、「教員」「授業内容」「学生」「授業形態」の4項目をあげています。教員については、「クラスフォーラムへの返信がなかった」「録画配信の遅れやレジュメ配布忘れなどが気になりました」などの意見がありました。授業内容については、「説明が簡略化されすぎてわからない」「授業内容と課題が繋がらない授業が何回かあった」などの意見がありました。学生については、「毎回誰かしらの学生のマイクがONになっているところ」など、授業担当教員ではコントロールすることが必ずしも容易ではない領域について指摘する意見もみられました。実施形態については、「グーグルクラスルームが使いにくい」「資料と課題を学生に投げっぱなしな印象が強かった」などの意見がありました。

以上の結果について、より詳細な検討が必要ではありますが、学生コメントからは、授業内容のわかりやすさ、質問のしやすさ、課題の明確さについての意見、および私語に対する注意の有無など、学修環境に関する意見が多くみられました。

一方で、グループワークに関するコメントでは、主体的な学びにつながる意見もあり、他の学生との意見交換の重要性も見受けられました。

今年度前期および後期を通しては、Q19.満足度と、Q18.到達目標の達成度については、経済学部が他学部と比較して低い傾向を示しました。履修して良かったと感じる学生がやや少なく、その結果として到達目標の達成度も低くなることが考えられます。また、Q17.予習・復習・課題の取り組みと、Q18.到達目標の達成度については、学修時間なしの消極未到達型が前期 35.5%から後期は 22.4%に改善されたものの、依然として2割を超

える高い水準を示しています。また、遠隔授業・動画配信時間や課題の量の適切さ、及び予復習・課題に対する学生の授業に対する姿勢等は、目標達成度や授業満足度に大きく影響を与えていることが示唆されました。これらの結果をもとに、授業運営の方法やカリキュラムレベルでの検討が求められていることがうかがえます。

最後に令和2年度学生による授業評価アンケートへご協力いただいた先生方、そして真摯に回答してくださった学生の皆さんに心より御礼申し上げます。

以上

資料編

前期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	16,772	45.2%
2年生	10,037	27.1%
3年生	7,545	20.3%
4年生	2,726	7.4%
合計	37,080	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	12,998	35.1%
法学部	7,502	20.3%
経済学部	7,294	19.7%
神道文化学部	2,884	7.8%
人間開発学部	6,307	17.1%
合計	36,985	100.0%

● 所属学科

学部	回答件数	%
日本文学科	4,640	12.5%
中国文学科	933	2.5%
外国語文化学科	2,134	5.8%
史学科	4,206	11.4%
哲学科	1,085	2.9%
法律専攻	6,132	16.6%
法律専門職専攻	624	1.7%
政治専攻	746	2.0%
経済学科	3,324	9.0%
経済ネットワーク学科	1,238	3.3%
経営学科	2,732	7.4%
神道文化学科	2,884	7.8%
初等教育学科	2,046	5.5%
健康体育学科	2,322	6.3%
子ども支援学科	1,939	5.2%
合計	36,985	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		48.9%	25.2%	9.5%	16.3%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		79.6%	73.9%	2.9%	5.1%	6.4%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	12.3%	0.8%	5.0%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.2%	52.2%	7.6%	2.0%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.5%	54.2%	9.4%	1.8%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.2%	53.4%	8.4%	2.0%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.9%	48.8%	7.9%	3.4%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.4%	48.5%	8.6%	2.6%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.3%	48.1%	7.1%	2.5%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.8%	50.5%	6.6%	2.1%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.8%	44.9%	13.7%	4.6%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		11.4%	0.4%	1.0%	4.4%	7.8%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		14.2%	18.1%	18.1%	20.0%	4.5%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)					
		6.7%	24.3%	66.7%	2.0%	0.3%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.2%	15.7%	76.4%	2.2%	0.6%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.3%	57.7%	5.7%	1.3%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.8%	57.1%	5.0%	1.2%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.6%	52.7%	8.8%	2.9%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.4%	3.4%	7.9%	15.3%	21.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.5%	11.9%	11.6%	4.3%	4.2%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
2.7%	1.2%	1.1%	1.1%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		22.1%	64.8%	10.9%	2.2%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.8%	51.4%	7.6%	3.3%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		44.8%	23.8%	8.5%	22.9%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		82.6%	69.2%	2.3%	4.7%	6.4%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	11.6%	0.8%	5.6%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.9%	51.3%	8.0%	1.8%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.8%	54.3%	7.4%	1.4%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.9%	51.9%	8.5%	1.7%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.0%	47.5%	8.4%	3.1%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.6%	46.6%	7.8%	1.9%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.4%	46.7%	6.6%	2.3%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.8%	48.7%	6.7%	1.8%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.3%	41.9%	14.5%	4.2%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		16.1%	0.3%	0.9%	2.4%	5.8%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		13.9%	18.6%	17.3%	20.2%	4.5%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)					
		5.7%	21.1%	70.7%	2.3%	0.2%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.9%	12.0%	80.6%	2.9%	0.6%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.6%	55.7%	5.6%	1.1%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.3%	54.8%	4.8%	1.1%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.7%	50.3%	8.7%	2.4%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.4%	3.3%	7.5%	15.4%	20.6%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.7%	12.2%	11.0%	5.0%	4.7%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
3.1%	1.5%	1.1%	1.4%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		21.4%	65.1%	11.7%	1.9%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.2%	49.5%	7.6%	2.7%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		33.0%	37.6%	11.6%	17.8%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		80.9%	63.5%	3.4%	4.4%	7.5%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	10.6%	0.6%	8.3%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.7%	52.4%	7.4%	2.5%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.8%	53.8%	6.1%	1.2%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.2%	53.4%	8.0%	2.5%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.7%	49.9%	6.9%	3.5%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.4%	49.8%	6.8%	2.9%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.4%	47.6%	6.7%	3.2%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.7%	49.1%	5.5%	2.7%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.7%	47.5%	13.1%	4.7%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		11.1%	0.5%	1.0%	3.5%	11.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		15.7%	16.2%	14.3%	20.4%	6.0%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)					
		7.0%	22.3%	68.7%	1.8%	0.1%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		5.7%	15.2%	76.2%	2.2%	0.8%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.2%	57.1%	5.0%	1.8%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.4%	56.5%	4.5%	1.6%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.8%	53.5%	7.9%	3.8%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.1%	3.2%	6.9%	14.0%	21.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.1%	11.6%	12.3%	4.6%	4.7%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
3.3%	1.7%	1.9%	1.4%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		23.8%	63.5%	10.0%	2.7%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.8%	51.9%	7.1%	4.2%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		62.0%	23.0%	8.9%	6.1%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		71.4%	82.9%	3.0%	6.6%	5.1%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	13.0%	1.3%	3.2%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.2%	53.1%	6.7%	2.0%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		31.2%	51.9%	14.0%	3.0%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.7%	54.8%	7.5%	2.0%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.0%	48.4%	8.3%	3.3%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.2%	48.8%	10.5%	3.6%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.3%	49.9%	8.1%	2.7%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.8%	51.4%	7.9%	2.9%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.5%	47.5%	12.2%	4.8%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		5.1%	0.8%	1.3%	9.9%	8.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		11.9%	14.5%	18.1%	25.1%	4.5%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	8.3%	26.7%	62.1%	2.2%	0.6%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	6.0%	18.5%	72.7%	2.0%	0.7%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		31.5%	60.9%	6.3%	1.3%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		33.4%	60.0%	5.4%	1.2%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		30.9%	54.4%	10.8%	3.8%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.5%	4.9%	11.5%	18.7%	23.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.5%	8.9%	9.4%	3.1%	2.9%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
1.3%	0.8%	0.6%	0.8%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		23.5%	61.8%	12.1%	2.7%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.0%	52.0%	8.7%	4.3%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		48.7%	29.9%	7.9%	13.5%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		81.9%	79.6%	2.7%	6.8%	5.5%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	12.0%	0.6%	3.7%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.6%	56.1%	7.6%	1.7%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		32.4%	58.7%	7.6%	1.3%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.3%	57.0%	7.3%	1.4%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.2%	53.5%	7.5%	2.8%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.3%	52.4%	8.2%	2.1%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.1%	51.0%	7.1%	1.8%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.6%	54.4%	6.5%	1.5%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.6%	47.3%	14.6%	3.6%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		10.2%	0.6%	0.9%	2.6%	6.6%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		15.2%	20.9%	18.6%	20.8%	3.6%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	6.0%	25.8%	66.7%	1.3%	0.2%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	4.9%	16.6%	76.9%	1.2%	0.3%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		32.1%	61.1%	5.3%	1.5%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.7%	60.2%	4.0%	1.1%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		32.7%	56.7%	8.3%	2.3%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.9%	3.4%	8.0%	16.4%	20.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		13.5%	12.6%	11.4%	3.7%	3.3%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
1.7%	0.9%	0.5%	0.9%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		18.3%	67.1%	12.3%	2.3%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.6%	55.9%	7.2%	2.2%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		ライブ配信	オンデマンド	併用	K-SMAPY II	
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。					
		61.4%	13.9%	10.4%	14.2%	
Q2	この授業で、受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		80.7%	82.7%	3.5%	4.1%	6.8%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	14.8%	0.7%	2.4%	
Q3	教員は、授業開始期間前の段階で、授業の実施方針や受講方法等について、明確な説明・指示を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.5%	51.3%	8.1%	2.1%	
Q4	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		29.1%	55.4%	13.0%	2.4%	
Q5	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.1%	53.5%	10.0%	2.4%	
Q6	教員は、機器やツールを用いて、スムーズにオンライン授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.3%	48.5%	8.1%	4.2%	
Q7	リアルタイム授業、もしくは配信された動画における教員の説明は、わかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.5%	48.4%	9.6%	2.5%	
Q8	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.1%	48.4%	7.2%	2.3%	
Q9	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.8%	53.0%	6.5%	1.6%	
Q10	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.2%	44.0%	14.2%	5.7%	
Q11	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		10.1%	0.3%	0.9%	4.0%	6.8%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		15.2%	22.5%	24.0%	13.2%	2.9%

※Q7については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(動画配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)					
		6.7%	29.0%	62.7%	1.5%	0.2%
Q13	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。					
		6.4%	20.3%	71.8%	1.4%	0.2%
Q14	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.8%	57.8%	6.4%	1.1%	
Q15	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.6%	57.7%	5.7%	1.0%	
Q16	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.5%	53.4%	7.8%	2.3%	
Q17	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.0%	2.2%	5.5%	12.2%	21.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		14.0%	14.7%	14.4%	4.4%	4.6%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
3.2%	0.8%	0.9%	0.8%			
Q18	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		21.5%	68.4%	8.5%	1.5%	
Q19	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.4%	52.0%	7.2%	2.5%	
Q20	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q21	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q12については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

後期集計データ

● 学年

学年	回答件数	%
1年生	9,372	50.0%
2年生	5,013	26.7%
3年生	3,151	16.8%
4年生	1,217	6.5%
合計	18,753	100.0%

● 所属学部

学部	回答件数	%
文学部	7,271	38.9%
法学部	3,197	17.1%
経済学部	3,267	17.5%
神道文化学部	1,727	9.2%
人間開発学部	3,242	17.3%
合計	18,704	100.0%

● 所属学科

学部	回答件数	%
日本文学科	2,554	13.7%
中国文学科	486	2.6%
外国語文化学科	1,138	6.1%
史学科	2,567	13.7%
哲学科	526	2.8%
法律専攻	2,542	13.6%
法律専門職専攻	323	1.7%
政治専攻	332	1.8%
経済学科	1,574	8.4%
経済ネットワーク学科	467	2.5%
経営学科	1,226	6.6%
神道文化学科	1,727	9.2%
初等教育学科	1,093	5.8%
健康体育学科	1,212	6.5%
子ども支援学科	937	5.0%
合計	18,704	100.0%

● 単純集計表

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	2.5%	6.8%	42.4%	22.4%	15.2%
		K-SMAPY II				
		10.8%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		93.1%	4.8%	0.5%	0.4%	1.3%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		81.6%	79.4%	2.2%	5.6%	6.6%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	9.9%	1.2%	4.2%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.3%	49.1%	4.3%	1.3%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.4%	51.4%	6.8%	1.3%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.5%	51.2%	6.0%	1.3%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.6%	48.8%	5.9%	1.8%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.4%	47.8%	7.0%	1.9%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.2%	47.5%	6.3%	2.0%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.0%	49.0%	6.3%	1.7%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.3%	44.3%	12.4%	4.0%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【学士課程教育全体】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	8.8%	0.3%	0.8%	1.7%	7.0%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		8.8%	13.4%	23.1%	30.5%	5.6%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.1%	23.4%	70.0%	1.3%	0.2%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.3%	12.4%	81.4%	2.5%	0.5%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.8%	55.8%	4.6%	0.9%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.2%	54.8%	4.2%	0.8%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.0%	51.1%	7.5%	2.3%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.7%	3.7%	7.8%	16.9%	23.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.3%	11.1%	10.7%	3.9%	3.4%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		2.1%	1.0%	0.8%	0.9%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		24.3%	64.8%	9.3%	1.6%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.9%	50.4%	6.4%	2.4%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	1.1%	4.2%	46.3%	20.2%	14.1%
		K-SMAPY II				
		14.0%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		96.5%	2.4%	0.3%	0.4%	0.4%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		83.3%	78.6%	2.1%	5.1%	5.6%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	10.9%	0.9%	4.4%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.6%	48.9%	4.3%	1.2%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.7%	51.6%	5.7%	0.9%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.8%	51.0%	6.0%	1.3%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.4%	48.9%	6.2%	1.5%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.1%	47.5%	6.9%	1.6%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.1%	46.5%	6.6%	1.7%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.4%	48.2%	6.8%	1.7%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	41.7%	13.2%	3.9%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【文学部学生】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	10.2%	0.2%	0.8%	1.5%	4.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		7.2%	13.0%	24.8%	32.3%	5.5%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		3.8%	20.1%	74.5%	1.4%	0.3%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		2.4%	10.4%	83.6%	3.1%	0.6%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.6%	55.6%	5.0%	0.8%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.7%	54.0%	4.7%	0.6%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.4%	50.1%	7.6%	1.9%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		2.0%	3.4%	7.3%	16.6%	23.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		10.8%	11.7%	10.9%	4.0%	3.9%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		2.7%	1.5%	0.9%	1.2%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		22.3%	66.4%	9.8%	1.5%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.4%	50.3%	6.4%	1.9%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	0.5%	3.9%	30.3%	31.6%	22.5%
		K-SMAPY II				
		11.2%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		98.6%	0.3%	0.0%	0.5%	0.5%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		84.2%	75.9%	2.8%	3.9%	9.2%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	9.5%	0.8%	5.8%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.2%	49.0%	3.3%	1.5%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		47.5%	47.7%	3.6%	1.2%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.9%	50.0%	4.6%	1.4%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.5%	49.1%	4.7%	1.8%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.6%	47.3%	5.1%	1.9%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.1%	48.0%	4.9%	2.0%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.0%	47.9%	4.2%	1.9%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.9%	45.7%	11.5%	3.8%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【法学部学生】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	8.1%	0.3%	1.2%	1.4%	6.9%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		11.6%	15.2%	22.1%	26.3%	6.9%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.2%	23.2%	70.3%	1.1%	0.2%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		2.9%	13.5%	80.6%	2.4%	0.6%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.8%	55.4%	2.8%	1.1%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.1%	54.1%	2.8%	0.9%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.5%	51.5%	6.6%	2.4%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		1.8%	2.2%	6.5%	14.5%	23.2%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.6%	11.9%	12.6%	5.0%	4.4%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		2.7%	1.2%	1.5%	1.0%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.1%	64.2%	7.1%	1.7%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		43.0%	49.6%	4.8%	2.5%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	1.5%	4.4%	44.6%	28.8%	15.0%
		K-SMAPY II				
		5.6%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		97.5%	1.0%	0.9%	0.2%	0.4%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		72.8%	82.5%	1.7%	7.1%	6.4%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.0%	9.5%	2.8%	3.3%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.0%	50.6%	4.2%	1.2%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.8%	52.4%	7.6%	1.2%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.0%	53.6%	5.6%	0.8%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.6%	49.6%	5.7%	2.2%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.5%	50.2%	7.7%	2.6%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.5%	49.3%	6.9%	2.3%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.2%	51.1%	6.9%	1.8%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.5%	48.5%	10.9%	4.0%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【経済学部学生】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	4.7%	0.4%	1.0%	2.8%	16.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		12.0%	13.2%	18.1%	25.3%	6.2%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		6.3%	26.6%	65.5%	1.4%	0.3%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.5%	13.5%	79.2%	2.2%	0.6%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.0%	57.7%	5.4%	1.0%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.6%	56.9%	4.6%	0.9%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.1%	53.1%	8.3%	3.5%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.2%	4.6%	8.8%	19.4%	26.1%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.2%	8.6%	9.5%	2.9%	2.3%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.5%	0.6%	0.5%	0.7%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		24.4%	63.1%	10.4%	2.1%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.2%	51.5%	8.4%	2.9%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	0.8%	9.4%	43.0%	20.3%	17.4%
		K-SMAPY II				
		9.1%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		95.5%	3.1%	0.5%	0.2%	0.6%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		84.0%	85.0%	2.7%	5.5%	5.9%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	10.9%	0.8%	2.7%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.8%	55.5%	5.5%	1.2%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		34.6%	56.4%	8.6%	0.4%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.5%	56.3%	5.7%	1.6%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.8%	52.8%	6.7%	1.7%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		40.1%	51.7%	6.6%	1.6%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.6%	49.8%	6.0%	2.5%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		38.3%	53.4%	6.5%	1.7%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.9%	49.7%	11.4%	3.0%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【神道文化学部学生】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	8.2%	0.3%	0.8%	1.8%	3.4%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		5.6%	13.1%	23.8%	36.5%	6.6%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		5.6%	26.4%	66.9%	1.0%	0.1%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		3.8%	13.0%	81.8%	1.3%	0.2%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.2%	59.8%	3.8%	1.3%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		36.0%	59.2%	3.6%	1.2%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.3%	53.9%	7.9%	2.8%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		3.4%	4.8%	9.3%	18.6%	22.5%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		12.4%	11.3%	10.1%	3.6%	1.5%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		0.8%	0.6%	0.5%	0.6%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		21.5%	63.5%	13.3%	1.7%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		37.2%	53.5%	6.3%	3.0%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		対面のみ	対面・遠隔	ライブ配信	オンデマンド	併用
Q1	この授業の実施形態を、ひとつ選択してください。	9.6%	16.2%	42.8%	13.2%	8.9%
		K-SMAPY II				
		9.3%				
Q2	この授業を受講した場所について、最も多かった所をひとつ選択してください。	自宅	大学 (一般教室)	大学 (PC教室)	Wi-Fiのある 商業施設	その他
		74.4%	19.2%	0.9%	0.3%	5.2%
Q3	この授業で、あなたが受講・動画視聴のために利用したツール(ソフト・Webサービス等)を、すべて選択してください。	K-SMAPY II	ZOOM	Microsoft Teams	Google	YouTube
		82.9%	78.3%	2.0%	6.9%	7.0%
		Skype	メール	LINE	その他	
		0.1%	7.6%	0.7%	4.0%	
Q4	この授業の実施形態や、具体的な受講方法について、教員から事前に明確な説明や指示がありましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		49.0%	44.8%	5.0%	1.3%	
Q5	あなたはシラバスを読んだ上で授業に臨みましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		35.5%	51.0%	10.7%	2.7%	
Q6	教員は、学生に対して、授業計画(シラバス)や評価の方法について(変更がある場合も含めて)明確な説明を行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.6%	47.7%	7.8%	1.9%	
Q7	教員は、スムーズに授業を進行することができていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		46.7%	45.4%	6.1%	1.9%	
Q8	授業における教員の講義・解説はわかりやすかったですか。(※)	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		45.3%	44.7%	8.3%	1.7%	
Q9	教員が提供した教材(スライド・レジュメなどの配付資料)は、理解の助けになりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.9%	46.5%	6.6%	2.0%	
Q10	教員は、課題や小テスト等を出題することで、理解の定着を図る工夫をしていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		44.6%	47.6%	6.3%	1.5%	
Q11	教員は、学生との対話や、課題・質問・コメント等へのフィードバック(添削・回答など)を積極的に行っていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		39.4%	42.1%	13.3%	5.2%	

※Q8については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

【人間開発学部学生】

No.	設問	回答率				
		配信なし	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
Q12	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、平均して何分くらいでしたか。	10.8%	0.2%	0.6%	1.3%	5.3%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上
		8.0%	13.1%	25.0%	32.5%	3.4%
Q13	この授業の、1回あたりの授業時間(配信時間)は、適切な長さだったと思いますか。(※)	長すぎる	やや長い	ちょうどよい	やや短い	短すぎる
		6.3%	26.0%	66.3%	1.3%	0.0%
Q14	この授業の、1回あたりの提出物・課題等は、適切な分量だったと思いますか。	多すぎる	やや多い	ちょうどよい	やや少ない	少なすぎる
		4.1%	14.4%	79.0%	2.1%	0.4%
Q15	1回1回の授業ごとに、学ぶべき内容(単元)が整理されていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.6%	52.8%	4.8%	0.7%	
Q16	毎回の授業内容が関連付けられて授業が進められていましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.9%	53.1%	4.1%	1.0%	
Q17	この授業のテーマや、関連するテーマへの関心が高まりましたか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		41.3%	49.9%	7.2%	1.6%	
Q18	あなたはこの授業1回あたり、予習・復習・課題に、平均して何分くらいの時間をとりましたか。	学修時間 ゼロ	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 40分未満
		4.6%	4.5%	8.6%	16.7%	22.7%
		40分以上 50分未満	50分以上 60分未満	60分以上 75分未満	75分以上 90分未満	90分以上 120分未満
		11.5%	11.3%	10.0%	3.4%	3.4%
		120分以上 150分未満	150分以上 180分未満	180分以上 240分未満	240分以上 300分	
		1.6%	0.6%	0.5%	0.7%	
Q19	あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		27.5%	64.2%	7.3%	1.1%	
Q20	あなたは、この授業を履修して良かったと思いますか。	強く そう思う	そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	
		42.9%	48.9%	6.0%	2.2%	
Q21	この授業について、とても良いと思ったことを自由に書いてください。					
Q22	この授業について、改善したほうがよいと思ったことを自由に書いてください。					

※Q13については、Q1 実施形態が「K-SMAPY II + 課題(資料配布と課題提出のみ)」の回答者を除外して集計しています。

令和2（2020）年度 教育開発センター委員

（委員長）	野呂 健	教育開発センター長
	原田 佳昌	教育開発センター副センター長（教育開発推進機構事務課次長）
	山田 佳弘	教務部長
	笠間直穂子	文学部准教授
	藤嶋 亮	法学部准教授
	大西 祥恵	経済学部教授
	柏木 亨介	神道文化学部助教
	坂本 正徳	人間開発学部教授
	新井 大祐	教育開発推進機構准教授
	小濱 歩	教育開発推進機構准教授
	仙北谷穂高	教学事務部長
（幹 事）	中條 豊	教育開発推進機構事務課主幹
（幹 事）	高橋 和枝	教育開発推進機構事務課主査

* 職名は当時のもの

令和2（2020）年度
学生による授業評価アンケート分析報告書

編集・発行 國學院大學 教育開発推進機構
教育開発センター

分析・執筆 株式会社 教育ソフトウェア

刊行年月日 令和4年1月31日